個別施設計画(個票)

県庁・合庁№　1①

施設名／棟名	岩手県庁舎(知事局棟)	財産区分	行政財産
所在地	盛岡市内丸10－1	施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内　防火地域　防火地域	用途地域	商業地域
その他区域			
敷地面積	13,037.79㎡　建築面積　5,690.16㎡	延床面積	31,027.70㎡
構　造	SRC　階　数　地上12階　地下1階		
竣工年度(建築年月)	1965年4月	経過年数 R2.4.1現在	55年

利用状況	執務室の不足に伴い本庁内部組織の一部を盛岡合庁や民間賃貸ビルに移転しており狭隘化が著しい。 2000年　2154人　→2011年　1929人　→2012年　2030人　→2020年　2148人
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	一人当たり25m2程度のスペースと限られており、これ以上有効活用することが困難になってきている。

	①建築設備	②電気設備	③機械設備
主な設備	・屋根シート防水 ・屋根塗膜防水 ・外壁コンクリート打放	・受変電キュービクル ・自家発電機 ・無停電電源装置 ・電話交換機設備 ・構内放送設備 ・監視カメラ設備 ・エレベーター	・直吸収冷温水機 ・ファンコイルユニット ・各種ポンプ類 ・各種タンク類 ・温水発生機 ・都市ガス ・消火設備
劣化度調査	①建築設備 屋上防水や外壁の老朽化が著しく進行しているが、構造躯体は概ね健全であり、長寿命化対策の実施により、さらに長期間の使用が可能。	②電気設備 経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。	③機械設備 経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。
定期点検	①建築設備 ・既存不適格　・雨漏り跡 ・コーキング剥離 ・排水溝詰まり	②電気設備	③機械設備 ・火気使用室に換気設備なし
修繕工事履歴	①建築設備 ・防水改修工事(2000) ・外壁改修工事(2016) ・エレベーター改修工事(1991)	②電気設備 ・受変電設備(2003) ・放送用設備(2018) ・監視カメラ設備(2019)	③機械設備 ・屋外排水設備(2001) ・トイレ(2016) ・自動制御設備(2018)

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	102,924	102,924			28,692			28,692				
H30												
H29					57,856			57,856	32,368			32,368
H28	35,882	35,882										
H27									13,176		13,176	
計	138,806	138,806			86,548			86,548	45,544		13,176	32,368

【優先度評価】

建物性能	低(旧)		
劣化度診断	A		
利用度	高		
1次評価	修繕・改修		
重要性	高		
見通し	無		
2次評価	Ⅰ		

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修　優先度1
評価結果(コメント)	耐震改修が未実施であり、築後55年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化して継続使用する場合には、施設サービスの重要性が高いことから今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくものとする。

長寿命化等対策の方向性	耐震改修が未実施であり、築後55年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化して継続使用する場合には、施設サービスの重要性が高いことから今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくものとする。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・屋上防水修繕工事設計 ・執務環境調査 ・エアコン更新工事	・屋上防水修繕 ・執務環境調査 ・整備方針検討 ・電話更新工事 ・自家発電設備修繕	・整備方針検討	・基本計画策定 ・自家発電設備電池更新 ・照明設備更新(設計)	・長寿命化整備基本設計 ・照明設備更新　工事 ・昇降機長寿命化　工事	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:101,152千円 内訳 防水修繕設計(2,332千円) 執務環境調査(15,400千円) エアコン更新工事(62,590千円) 熱源設備OH(5,060千円) 維持修繕費(15,204千円) 緊急通報装置更新(566千円) 財源:一般財源	計:358,216千円 内訳 防水修繕工事(63,260千円) 執務環境調査(8,294千円) 整備手法検討(11,814千円) 電話交換設備更新工事(225,016千円) 自家発電設備修繕(29,095千円) 時計設備蓄電池更新(473千円) 熱源設備OH(5,060千円) 維持修繕費(15,204千円) 財源:一般財源	計:30,204千円 内訳 整備方針検討(15,000千円) 維持修繕費(15,204千円) 財源:一般財源	計:40,026千円 内訳 基本計画(15,000千円) 自家発蓄電池更新(2,007千円) 照明設備更新(設計)(1,815千円) 昇降機長寿命化設計(6,000千円) 維持修繕費(15,204千円) 財源:一般財源	計:586,978千円 内訳 基本設計(50,000千円) 受変電蓄電池更新(990千円) 照明設備更新(工事)(83,490千円) 昇降機長寿命化工事(431,794千円) テレビ共聴設備更新(5,500千円) 維持修繕費(15,204千円) 財源:一般財源	合計:1,116,576千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁№　1②

施設名／棟名	岩手県庁舎（議会棟、渡り廊下棟）	財産区分	行政財産
所在地	盛岡市内丸10－1	施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画域内　防火地域：防火地域	用途地域	商業地域
その他区域			
敷地面積	13,037.79㎡　建築面積：2,599.99㎡	延床面積	6,612.10㎡
構　造	SRC	階　数	地上3階
竣工年度（建築年月）	1965年4月	経過年数 R2.4.1現在	55年

利用状況	2020年の議員数は48名、一人当たり面積は114m2
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	人口の減少に伴い、利用者数に変化が生じる可能性がある。

	①建築設備	②電気設備	③機械設備
主な設備	・屋根塗膜防水 ・外壁ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	・受変電キュービクル ・自家発電機 ・無停電電源装置 ・電話交換機設備 ・構内放送設備 ・監視カメラ設備 ・エレベーター	・直吸収冷温水機 ・ファンコイルユニット ・各種ポンプ類 ・各種タンク類 ・温水発生機 ・都市ガス ・消火設備
劣化度調査	屋上防水や外壁の老朽化が著しく進行しているが、構造躯体は概ね健全であり、長寿命化対策の実施により、さらに長期間の使用が可能。	経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。	経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。
定期点検	・軒天コンクリート浮き ・既存不適格　・雨漏り跡 ・コーキング剥離		
修繕工事履歴	・防水改修工事（2003） ・外壁改修工事（1993） ・エレベーター設置工事（1994）	・監視カメラ設備（2019）	・機械設備改修工事 （エアコン設置）（1987） ・自動制御設備（1990）

直近5年の維持修繕・改修費	①計	①維持修繕	①改修	①更新	②計	②維持修繕	②改修	②更新	③計	③維持修繕	③改修	③更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	低（旧）		
劣化度診断	A		
利用度	高		
1次評価	修繕・改修		
重要性	高		
見通し	無		
2次評価	Ⅰ		

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修　優先度1
評価結果（コメント）	耐震改修が未実施であり、築後55年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化して継続使用する場合には、通常の施設サービスに属する施設ではないが、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくものとする。

長寿命化等対策の方向性	耐震改修が未実施であり、築後55年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化については、必要な修繕・改修を行いながら、建て替えも含めて検討を行うものとする。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・屋根外壁修繕工事	・空調設備更新設計	・照明設備更新設計 ・空調設備更新工事	・照明設備更新工事		
	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：130,444千円 内訳 修繕工事 （127,204千円） 維持修繕費 （3,240千円） 財源：一般財源	計：4,912千円 内訳 執務環境調査 整備手法検討 （費用は知事局棟に含む） 空調設備更新工事設計 （1,672千円） 維持修繕費 （3,240千円） 財源：一般財源	計：84,419千円 内訳 整備方針検討 （費用は知事局棟に含む） 照明設備更新設計 （1,815千円） 空調設備更新工事 （79,364千円） 維持修繕費 （3,240千円） 財源：一般財源	計：31,354千円 内訳 基本計画 （費用は知事局棟に含む） 照明設備更新工事 （28,114千円） 維持修繕費 （3,240千円） 財源：一般財源	計：3,240千円 内訳 基本設計 （費用は知事局棟に含む） 維持修繕費 （3,240千円） 財源：一般財源	合計：254,369千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁№　2～4

施設名／棟名	盛岡地区合同車庫（1～5号棟）			財産区分	行政財産
所在地	岩手県盛岡市北山一丁目213番4			施設類型	車庫
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	6,887.36㎡	建築面積	2,038.27㎡	延床面積	2,242.01㎡
構　　造	鉄骨造り	階　数	1階（4号棟のみ2階）		
竣工年度（建築年月）	1962年９月、1968年11月（大型車庫１棟）	経過年数 R2.4.1現在	57年、大型車庫１棟のみ51年		
利用状況	車庫として使用中である。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	施設の劣化が見られることから設備のリニューアルあるいは移転等の車庫機能の改善が望まれる。				

	建築		電気		機械	
主な仕様・設備	屋根	金属	受変電	屋内型	冷暖房	
	外壁	その他	発電		熱源	
	床	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し等	電灯	一般形	空調	
	壁	石膏ボード	警報	P型	換気	
	天井		構内交換		ﾎﾟﾝﾌﾟ	
			EV		自動制御	
			その他		給排水	水道直結方式
					給湯	
					ｶﾞｽ	
					消火	粉末消火器
劣化度調査						
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴	2019.3	車庫木塀新設工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	2,776		2,776		0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	2,776	0	2,776	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	低
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	利用状況は横ばいの見通し
2次評価	Ⅲ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度4
評価結果（コメント）	施設の劣化が見られることから、修繕・改修が必要である。 改修実施の前に施設の利用方法・改修方法について検討が必要である。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	計：1,099千円 内訳 維持修繕費（1,099千円） 財源：一般財源	計：1,099千円 内訳 維持修繕費（1,099千円） 財源：一般財源	計：1,099千円 内訳 維持修繕費（1,099千円） 財源：一般財源	計：1,099千円 内訳 維持修繕費（1,099千円） 財源：一般財源	計：1,099千円 内訳 維持修繕費（1,099千円） 財源：一般財源	合計：5,495千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No.　5

施設名／棟名	盛岡地区合同庁舎／本庁舎	財産区分	行政財産
所在地	岩手県盛岡市内丸11番1号	施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内　防火地域：防火地域	用途地域	商業地域
その他区域			
敷地面積	4,893.54㎡　建築面積：1,240.57㎡	延床面積	14,866.5㎡
構　　造	SRC　階数：地上8階、地下1階		
竣工年度（建築年月）	1969年11月	経過年数 R2.4.1現在	51

項目	内容
利用状況	勤務する職員数規模は振興局再編前の2000年と比較すると縮小しているが、当面は横ばいの見込みである。 2000年　768人　→2011年　598人　→2012年　638人　→2020年　676人
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	本来県庁舎内に設置すべき組織の受け入れ先として活用していることもあり、余剰スペース等はあまり無いことから、既存のままの有効活用は難しい。 （権限委譲により保健所関係のスペースに余裕があるようにも考えられるが、有効活用が可能かどうかは不明）

主な設備

建築		電気		機械	
屋根	ｼｰﾄ防水	受変電	屋内ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式	冷暖房	冷温水方式、エアコン
外壁	ﾓﾙﾀﾙ+吹付、ﾀｲﾙ貼、金属板貼	発電	ディーゼル	熱源	直吸収冷温水機
床	ﾓﾙﾀﾙ直均し等、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ類、ｶｰﾍﾟｯﾄ類、木製ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、OAﾌﾛｱ	電灯	省エネ型	空調	ﾕﾆｯﾄ形、ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形、FC
		警報	R/G型、副受信機、非常放送	換気	三種
壁	吹付類、塗装類、壁紙、ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	構内交換	電子交換機	ﾎﾟﾝﾌﾟ	空調用ﾎﾟﾝﾌﾟ、ｵｲﾙﾎﾟﾝﾌﾟ
天井	石こうﾎﾞｰﾄﾞ、吹付類、岩綿吸音板、塗装類	EV	常用EV	自動制御	中央式監視
		その他	電気時計、拡声、映像・音響、TV	給排水	高置水槽、公共下水
				給湯	中央式、真空式温水発生貴器
				ｶﾞｽ	都市ガス
				消火	屋内消火栓、、連結送水管、泡消火

項目	建築	電気	機械
劣化度調査	舗装の不陸、塀のクラック、塗装の剥離、内装材の劣化	特になし	冷温水配管劣化、空調設備（エアコン）フロン不適合
定期点検	同上	同上	同上

修繕工事履歴

建築		電気		機械	
1997.11	外部建具改修工事	2000.1	幹線設備改修工事	1994.3	冷房機器設置工事（エアコン）
2006	屋上防水改修工事	2002.3	照明器具改修工事	1997.2	機械設備改修工事
2010.3	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ改修工事	2014.3	自家発、高圧受電設備更新工事	1998.12	冷房設置工事（冷温水発生機等）
2014	外壁修繕	2019.3	放送設備更新工事	2010.2	中央監視装置ほか改修工事
2020	耐震改修工事、屋上防水改修工事	2020.3	自火報設備受信機更新	2020.7	冷温水配管修繕工事

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	55,202		55,202		14,304	143		14,161	0			
H30	1,177,200		1,177,200		10,163			10,163	0			
H29	1,059		1,059		0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	1,233,461	0	1,233,461	0	24,467	143	0	24,324	0	0	0	0

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】

項目	内容
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果（コメント）	2020年に震改修工事は完了するが、電気設備、機械設備の改修工事から20年以上が経過し、既に標準耐用年数を超過している設備・機器もあることから適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 また、機器等更新に伴い受電容量の見直し等も含め検討が必要。

項目	内容
長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・耐震改修（工事）	・空調設備更新（設計） ・自動制御設備更新（設計）	・電灯設備更新（設計） ・自火報設備更新（設計） ・空調設備更新（工事） ・熱源設備（OH）	・電力中央監視装置改修（工事） ・電灯設備更新（工事） ・自火報設備更新（工事） ・熱源設備（OH）	・自動制御設備改修（設計）	
	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：1,029,071千円 内訳 耐震改修工事 （1,021,786千円） 維持修繕費（7,285千円） 財源：一般財源	計：12,862千円 内訳 空調設備更新工事　設計 （3,674千円） 自動制御設備更新工事　設計 （1,903千円） 維持修繕費（7,285千円） 財源：一般財源	計：169,988千円 内訳 電灯設備更新工事　設計 （1,815千円） 自火報設備更新工事　設計 （902千円） 空調設備更新工事 （118,508千円） 熱源設備OH （13,000千円） 自動制御設備更新工事 （28,478千円） 維持修繕費（7,285千円） 財源：一般財源	計：87,932千円 内訳 電力中央監視装置改修工事（2,037千円） 電灯設備更新工事 （50,336千円） 自火報設備更新工事 （15,274千円） 熱源設備OH （13,000千円） 維持修繕費（7,285千円） 財源：一般財源	計：10,285千円 内訳 自動制御設備改修設計 （3,000千円） 維持修繕費 （7,285千円） 財源：一般財源	合計：1,310,138千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁№　6

施設名／棟名	盛岡地区合同庁舎／別館			財産区分	行政財産
所在地	岩手県盛岡市内丸11番1号			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	防火地域	用途地域	商業施設
その他区域					
敷地面積	4,893.54㎡	建築面積	280㎡	延床面積	1,135.71㎡
構　造	RC	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1969年11月	経過年数 R2.4.1現在	51		
利用状況	勤務する職員数に増減はあるが、横ばいの見込みである。 ※庁内保育人数要確認				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	1階を庁内保育スペースとして利用				

	建築		電気		機械	
主な設備	屋根	シート防水	受変電	屋内キュービクル式	冷暖房	冷温水方式、エアコン
	外壁	モルタル+吹付、金属板貼	発電	屋外ディーゼル	熱源	直吸収冷温水機
	床	ビニル床タイル類、カーペット類、OAフロア	電灯	省エネ型	空調	ユニット、パッケージ、FC
	壁	吹付類、塗装類、パーテイション、ケイカル板	警報	R/G形、副受信機、非常放送	換気	三種、一種
	天井	吹付類、岩綿吸音板	構内交換	電子交換機、VoIPシステム	ポンプ	空調用ポンプ、オイルポンプ
			EV		自動制御	中央式監視、個別制御
			その他	電気時計、拡声、映像・音響、誘導支援、TV、監視カメラ	給排水	高置水槽、公共下水、井水
					給湯	局所式、貯湯式電気温水器
					ガス	都市ガス
					消火	屋内消火栓、連結送水監、粉末消火
劣化度調査	階段天井漏水跡		特になし		特になし	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴						

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	104,577		104,577		40,700		40,700		60,390		60,390	
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	104,577	0	104,577	0	40,700	0	40,700	0	60,390	0	60,390	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果（コメント）	1階庁内保育の整備、2～4階の内装更新、躯体補修、屋上防水改修、空調、衛生設備更新済みである。 ただし、冷温水配管や給排水管は既存のままとなっており、既に標準耐用年数を経過していることから計画的な改修等が必要思われる。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・庁内保育設置 ・2～4階内装改修 日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：247,858千円 内訳 改修工事 （247,302千円） 維持修繕費 （556千円） 財源：一般財源	計：556千円 内訳 維持修繕費　（556千円） 財源：一般財源	計：556千円 内訳 維持修繕費 （556千円） 財源：一般財源	計：556千円 内訳 維持修繕費 （556千円） 財源：一般財源	計：556千円 内訳 維持修繕費 （556千円） 財源：一般財源	合計：250,082千円 ※機電は本館に含む

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 7

施設名／棟名	花巻地区合同庁舎			財産区分	行政財産
所在地	岩手県花巻市花城1-41			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域
その他区域					
敷地面積	4,060.95㎡	建築面積	1,453.59㎡	延床面積	3,766.5㎡
構　造	鉄筋コンクリート造		階　数		3
竣工年度 （建築年月）	1964年1月		経過年数 R2.4.1現在		56
利用状況	職員規模は年度により若干の変動はあるが、地方振興局再編前の2000年と比較してもほぼ同じ規模である。 2000年　224人　→2011年　210人　→2012年　214人　→2020年　202人				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。				

	建築		電気		機械	
主な仕様・設備	屋根	ｼｰﾄ防水	受変電	キュービクル式	冷暖房	温水方式、エアコン
	外壁	ﾓﾙﾀﾙ+吹付	発電	ディーゼル	熱源	真空式温水発生器、鋳鉄製ﾎﾞｲﾗｰ
	床	Pタイル、木等	電灯	省エネ型	空調	ﾌｧﾝｺﾝﾍﾞｸﾀｰ、ﾊﾟｯｹｰｼﾞ
	壁	石膏ボード、木等	警報	P型	換気	三種、一種
	天井	岩綿吸音板等	構内交換	電子交換機	ﾎﾟﾝﾌﾟ	空調、オイル
			その他	電気時計設備	自動制御	中央監視
				テレビ共同受信設備等	給排水	加圧送水、自動給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ
					給湯	中央、局所併用
					ｶﾞｽ	
					消火	屋内消火栓、粉末消火
劣化度調査	壁クラック、フェンス発錆支柱ぐらつき、窓ガラス亀裂、屋外階段発錆		架台の錆、中継端子箱腐食		冷媒配管化粧カバー破損、室外機パネルねじ不良	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴	1995.10	防水改修工事	1977	電話交換設備取替工事	1996.12	ボイラー改修工事
	1998.10	外壁改修工事	1992.3	照明器具改修工事	2000	冷房機器設置工事
	2011.12	耐震改修工事	2003	電話交換設備更新工事	2003.10	機械設備改修工事
	2018.3	外壁等改修工事	2012.9	自家用発電設備設置工事	2019.8	エアコン改修工事
			2018.2	自火報設備更新工事		
			2019.3	電話交換設備更新工事		

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				21,360			21,360
H30	0				12,290			12,290	0			
H29	99,900		99,900		0				0			
H28	0				4,658			4,658	0			
H27	0				0				0			
計	99,900	0	99,900	0	16,948	0	0	16,948	21,360	0	0	21,360

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果 （コメント）	耐震改修は実施済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと築後56年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には外壁改修、エアコン更新実施済みであるがその他設備・機器も改修工事等から20年程度経過し、既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 (令和2年度～令和6年度)		・空調設備更新（設計）	・自家j発電設備（OH） ・受変電設備改修　（工事） ・高圧区分開閉器改修（工事）	・照明設備改修（設計）	
概算費用 【充当財源（見込）】	計：1,846千円 内訳 維持修繕費（1,846千円） 財源：一般財源	計：1,846千円 内訳 維持修繕費（1,846千円） 財源：一般財源	計：3,848千円 内訳 空調設備更新工事　設計（2,002千円） 維持修繕費（1,846千円） 財源：一般財源	計：114,203千円 内訳 自家発電設備OH（6,225千円） 受変電設備改修工事（5,993千円） 高圧区分開閉器改修工事（968千円） 空調設備更新工事（99,171千円） 維持修繕費（1,846千円） 財源：一般財源	計：3,661千円 内訳 照明設備改修工事　設計（1,815千円） 維持修繕費（1,846千円） 財源：一般財源	合計：125,404千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 8

施設名／棟名	花巻地区合同庁舎(付属棟)	財産区分	行政財産
所在地	岩手県花巻市花城1-41	施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内 / 防火地域：指定なし	用途地域	第二種住居地域
その他区域			
敷地面積	4,060.95㎡ / 建築面積：174.94㎡	延床面積	345.89㎡
構　造	鉄骨造	階　数	2
竣工年度（建築年月）	2002年3月	経過年数 R2.4.1現在	18
利用状況	文書庫、物置等として使用を継続している。		
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	文書庫としてのニーズは継続するものと思われる。		

	建築		電気		機械	
主な仕様・設備	屋根	金属	受変電	－	冷暖房	－
	外壁	吹付	発電	－	熱源	－
	床	土間ﾓﾙﾀﾙ	電灯	一般形	空調	－
	壁	石膏ボード	警報	－	換気	－
	天井	岩綿吸音板等	構内交換	－	ﾎﾟﾝﾌﾟ	－
			その他	－	自動制御	－
					給排水	－
					給湯	－
					ｶﾞｽ	－
					消火	－
劣化度調査	内壁一部破損、床クラック					
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴						

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】

項目	内容
総合判定／優先度	維持管理　／　優先度３
評価結果（コメント）	建築より18年経過しているおり、一部クラックなどが見られるが、文書庫、物置としての利用に影響はないもの。今後も継続使用するため、適切な維持管理が求められる。

項目	内容
長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：169千円 内訳 維持修繕費（169千円） 財源：一般財源	計：169千円 内訳 維持修繕費（169千円） 財源：一般財源	計：169千円 内訳 維持修繕費（169千円） 財源：一般財源	計：169千円 内訳 維持修繕費（169千円） 財源：一般財源	計：169千円 内訳 維持修繕費（169千円） 財源：一般財源	合計：845千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 9

施設名／棟名	北上地区合同庁舎／本庁舎			財産区分	行政財産
所在地	岩手県北上市芳町２－８			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	5,093.43㎡	建築面積	939.49㎡	延床面積	2,422.98㎡
構　造	RC	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1966年3月	経過年数 R2.4.1現在	54		
利用状況	勤務する職員規模は、地方振興局再編前の2000年に比較大幅に縮小されている。 2000年　230人　→2011年　104人　→2012年　102人　→2020年　86人				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	振興局再編前と比較すると職員数は約37%であり余剰スペースは見込めるためスペースの有効活用は可能と考えられるが、老朽化対策が必要と思われる。				

主な設備	建築		電気		機械	
	屋根	金属、塗膜防水	受変電	屋外キュービクル式	冷暖房	温水方式、FFストーブ、エアコン
	外壁	モルタル+吹付、タイル貼	発電	屋外ディーゼル	熱源	真空式温水発生機
	床	ビニル床タイル類、タイル・石貼	電灯	省エネ型	空調	コンベクター、ファンコンベクター、パッケージ
	壁	塗装類、木製、パーテイション、石こうボード	警報	P形、非常ベル	換気	三種、一種
			構内交換	電子交換機、VoIPシステム	ポンプ	空調用ポンプ、温水循環ポンプ
	天井	岩綿吸音板等	EV		自動制御	中央式監視、個別
			その他	電気時計、拡声、誘導支援、TV	給排水	加圧送水、公共水道
					給湯	中央式、局所式
					ガス	液化石油ガス
					消火	屋内消火栓、不活性ガス消火、粉末
劣化度調査	クラック、塗装剥離、天井漏水跡		特になし		架台等発錆あり	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴			1990.11	放送設備改修工事	1997.11	ボイラー改修工事
	1988.8	煙突等屋上防水改修	1991.10	電気設備改修工事	2000	冷房機器設置工事
	1992	改修工事	2004	電話交換機更新	2002.3	機械設備改修工事
	1993.11	玄関改修	2012.9	自家用発電設備設置	2004.10	
	2014.2	耐震、外壁改修・置屋根塗装・一部建具改修	2015	電話交換設備更新	2018.2	ガス系消火設備更新

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				7,452		7,452	
H28	0				0				0			
H27	0				11,347			11,347	0			
計	0	0	0	0	11,347	0	0	11,347	7,452	0	7,452	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度２
評価結果（コメント）	耐震改修は実施済であるが、２次部材及び設備の地震対策がとられていないこと築後54年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には設備・機器の改修工事等から20年程度経過し、既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・放送設備改修（設計）	・空調設備更新（設計）	・受変電設備改修　（工事） ・放送設備更新（工事） ・空調設備更新（工事）	・　自火報設備改修　設計 ・自家発電設備（OH） ・電話交換機停電用蓄電池更新工事	・照明設備改修（設計） ・自火報設備改修（工事）	
	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	計：2,089千円 内訳 放送設備改修工事　設計 （902千円） 維持修繕費 （1,187千円） 財源：一般財源	計：4,542千円 内訳 空調設備更新工事　設計 （3,355千円） 維持修繕費 （1,187千円） 財源：一般財源	計：48,310千円 内訳 受変電設備改修工事 （6,295千円） 放送設備更新工事 （7,986千円） 空調設備更新工事 （32,842千円） 維持修繕費 （1,187千円） 財源：一般財源	計：9,139千円 内訳 自火報設備改修　設計 （902千円） 自家発電設備OH （6,225千円） 電話交換機停電用蓄電池更新工事　（825千円） 維持修繕費 （1,187千円） 財源：一般財源	計：13,463千円 内訳 照明設備改修工事　設計 （1,815千円） 自火報設備改修工事 （10,461千円） 維持修繕費 （1,187千円） 財源：一般財源	合計：77,543千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 10

施設名／棟名	北上地区合同庁舎／倉庫棟			財産区分	行政財産
所在地	岩手県北上市芳町2－8			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	5,093.43㎡	建築面積	285.3㎡	延床面積	285.3㎡
構　造	CB	階　数	1		
竣工年度（建築年月）	1966年3月	経過年数 R2.4.1現在	54		
利用状況	北上地区合同庁舎における倉庫として利用している。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	当面は、継続して倉庫として利用する見通し				

	建築	電気	機械
主な設備			
劣化度調査	クラック、剥離	特になし	室外機カバー破損
定期点検	同上	同上	同上
修繕工事履歴			

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	建築 維持修繕	建築 改修	建築 更新	電気 計	電気 維持修繕	電気 改修	電気 更新	機械 計	機械 維持修繕	機械 改修	機械 更新
RI	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果（コメント）	長寿命化で継続使用する場合には、建築後54年経過しており外壁にクラックや剥離が見られること等から、適宜修繕・改修や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	計：140千円 内訳 維持修繕費（140千円） 財源：一般財源	計：140千円 内訳 維持修繕費（140千円） 財源：一般財源	計：140千円 内訳 維持修繕費（140千円） 財源：一般財源	計：140千円 内訳 維持修繕費（140千円） 財源：一般財源	計：140千円 内訳 維持修繕費（140千円） 財源：一般財源	合計：700千円

個別施設計画(個票)

県庁・合庁No. 11

施設名／棟名	北上地区合同庁舎／車庫棟			財産区分	行政財産
所在地	岩手県北上市芳町2－8			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	5,093.43㎡	建築面積	623.99㎡	延床面積	1,253.12㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　数	2		
竣工年度 (建築年月)	1979年3月	経過年数 R2.4.1現在	41		
利用状況	北上地区合同庁舎に配備する公用車車庫及び実験室として利用している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	当面は、継続して車庫・実験室として利用する見通し				

	建築	電気	機械
主な設備			
劣化度調査	クラック、塗装剥離	特になし	エアコン故障
定期点検	同上	同上	同上
修繕工事履歴			

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	建築 維持修繕	建築 改修	建築 更新	電気 計	電気 維持修繕	電気 改修	電気 更新	機械 計	機械 維持修繕	機械 改修	機械 更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果 (コメント)	長寿命化で継続使用する場合には、建築から40年経過しており損傷している箇所、故障している機器があることから、適宜修繕・改修や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 (令和2年度～令和6年度)					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:614千円 内訳 維持修繕費(614千円) 財源:一般財源	計:614千円 内訳 維持修繕費(614千円) 財源:一般財源	計:614千円 内訳 維持修繕費(614千円) 財源:一般財源	計:614千円 内訳 維持修繕費(614千円) 財源:一般財源	計:614千円 内訳 維持修繕費(614千円) 財源:一般財源	合計:3,070千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No.　12

施設名／棟名	北上地区合同庁舎／附属棟			財産区分	行政財産
所在地	岩手県北上市芳町2－8			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	5,093.43㎡	建築面積	164.03㎡	延床面積	328.06㎡
構　造	S	階　数	2		
竣工年度（建築年月）	2000年12月	経過年数 R2.4.1現在	20		

利用状況	勤務する職員規模は、地方振興局再編前の2000年に比較大幅に縮小されている。 2000年　230人　→2011年　104人　→2012年　102人　→2020年　86人
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	振興局再編前と比較すると職員数は約37%であり余剰スペースは見込めるためスペースの有効活用は可能と考えられる。

主な設備	建築		電気		機械	
	屋根		受変電		冷暖房	温水方式、FFｽﾄｰﾌﾞ、ｴｱｺﾝ
	外壁		発電		熱源	真空式温水発生機
	床	Co直均し等、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ類	電灯		空調	ﾌｧﾝｺﾝﾍﾞｸﾀｰ、ﾊﾟｯｹｰｼﾞ
	壁	吹付類、塗装類、木製、ﾊﾟｰﾃｲｼｮﾝ	警報		換気	三種
			構内交換		ﾎﾟﾝﾌﾟ	ｵｲﾙﾎﾟﾝﾌﾟ、温水循環ﾎﾟﾝﾌﾟ
	天井	岩綿吸音板等	EV		自動制御	中央式監視、個別
			その他		給排水	加圧送水、公共水道
					給湯	中央式、局所式
					ｶﾞｽ	液化石油ｶﾞｽ
					消火	屋内消火栓、不活性ｶﾞｽ消火、粉末
劣化度調査	クラック、塗装剥離		特になし		エアコン故障	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴						

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
RI	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度3
評価結果（コメント）	長寿命化で継続使用する場合には、建築から20年経過しており故障している機器があることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源（見込）】	計：161千円 内訳 維持修繕費（161千円） 財源：一般財源	計：161千円 内訳 維持修繕費（161千円） 財源：一般財源	計：161千円 内訳 維持修繕費（161千円） 財源：一般財源	計：161千円 内訳 維持修繕費（161千円） 財源：一般財源	計：161千円 内訳 維持修繕費（161千円） 財源：一般財源	合計：805千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 13

施設名／棟名	北上地区合同庁舎／犬抑留所			財産区分	行政財産
所在地	岩手県北上市芳町2－8			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	5,093.43㎡	建築面積	130.15㎡	延床面積	130.15㎡
構　造	W	階　数	1		
竣工年度（建築年月）	2000年12月	経過年数 R2.4.1現在	20		
利用状況	所管区域内の犬抑留所として利用				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	当面、継続して犬抑留所として利用する見通し				

	建築				電気				機械			
主な設備												
劣化度調査	特になし				特になし				特になし			
定期点検	同上				同上				同上			
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理　／　優先度3
評価結果（コメント）	長寿命化で継続使用する場合には、建築から20年経過しており適宜修繕しながら維持管理していく必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：64千円 内訳 維持修繕費（64千円） 財源：一般財源	計：64千円 内訳 維持修繕費（64千円） 財源：一般財源	計：64千円 内訳 維持修繕費（64千円） 財源：一般財源	計：64千円 内訳 維持修繕費（64千円） 財源：一般財源	計：64千円 内訳 維持修繕費（64千円） 財源：一般財源	合計：320千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 14

施設名／棟名	奥州地区合同庁舎　本庁舎			財産区分	行政財産
所在地	奥州市水沢区大手町1－2			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	近隣商業地域
その他区域					
敷地面積	5,703.77㎡	建築面積	1,039.25㎡	延床面積	3,010.15㎡
構　造	鉄筋コンクリート造		階　数		3
竣工年度（建築年月）	1967年5月		経過年数 R2.4.1現在		53
利用状況	職員数は振興局再編前とほぼ同じ規模である。 2000年　175人　→2011年　189人　→2012年　203人　→2020年　180人				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。				

	建築		電気		機械	
主な仕様・設備	屋根	ｼｰﾄ防水	受変電	キュービクル式	冷暖房	温水方式、エアコン
	外壁	ﾓﾙﾀﾙ+吹付	発電	ディーゼル	熱源	真空式温水発生器
	床	Pタイル	電灯	省エネ型	空調	ﾌｧﾝｺﾝﾍﾞｸﾀｰ、ﾕﾆｯﾄ、ﾊﾟｯｹｰｼﾞ
	壁	ブロック、木等	警報	P型	換気	三種
	天井	岩綿吸音板等	構内交換	電子交換機	ﾎﾟﾝﾌﾟ	空調、オイル
			EV	乗用	自動制御	中央監視
			その他		給排水	加圧送水、自動給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ
					給湯	中央、局所併用
					ｶﾞｽ	都市ガス
					消火	屋内消火栓、不活性ガス消火
劣化度調査	壁クラック、天井材のずれ、側溝の破損、ドレーンの汚れ		外部コンセントカバー外れ		未使用配管の破断、ダクト内に水	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴	1992.12	外壁改修	2017.3	電話交換機更新	2001.12	空調・衛生・ガス設備改修工事
	1996.3	屋上防水改修	2018.2	自動火災報知設備更新	2018.3	ｶﾞｽ消火ﾎﾞﾝﾍﾞ更新
	2012	（震災復旧）改修工事	2018.3	放送設備更新	2020.2	自動制御設備更新
	2014.3	耐震改修工事	2018.12	高圧区分開閉器更新工事		
	2018.6	屋根外壁改修工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				17,600			17,600
H30	93,651	93,651			0				0			
H29	0				17,855			17,855	12,366			12,366
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	93,651	93,651	0	0	17,855	0	0	17,855	29,966	0	0	29,966

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度２
評価結果（コメント）	耐震改修は実施済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと、築後53年が経過していることから建替えや大規模改修等検討の時期である。 建替え等の際には、職員数の少ない分庁舎や江刺分庁舎との複合化などの検討が必要である。

長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・受電設備更新 ・地下ﾀﾝｸﾗｲﾆﾝｸﾞ	・空調更新設計	・空調更新工事		・自家発分解整備	
	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：12,486千円 内訳 受電設備更新 （4,807千円） 地下ﾀﾝｸﾗｲﾆﾝｸﾞ （6,204千円） 維持修繕費 （1,475千円） 財源：一般財源	計：4,170千円 内訳 空調更新設計 （2,695千円） 維持修繕費 （1,475千円） 財源：一般財源	計：55,812千円 内訳 空調更新工事 （54,337千円） 維持修繕費 （1,475千円） 財源：一般財源	計：1,475千円 内訳 維持修繕費 （1,475千円） 財源：一般財源	計：16,925千円 内訳 自家発整備 （12,450千円） 昇降機改修設計 （3,000千円） 維持修繕費 （1,475千円） 財源：一般財源	合計：90,868千円 ※分庁舎費用含む

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 15

施設名／棟名	奥州地区合同庁舎 分庁舎	財産区分	行政財産
所在地	奥州市水沢区大手町5-5	施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内 / 防火地域：指定なし	用途地域	近隣商業地域
その他区域			
敷地面積	1,182.96㎡ / 建築面積：492.2㎡	延床面積	2,078.12㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階 地下1階
竣工年度（建築年月）	1980年9月	経過年数 R2.4.1現在	40

利用状況	勤務する職員数に増減はあるが、横ばいの見込みである。 2000年 49人 →2011年 68人 →2012年 73人 →2020年 66人
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。

主な仕様・設備	建築		電気		機械	
	屋根	折板屋根 一部シート防水	受変電	キュービクル式	冷暖房	蒸気方式、エアコン
	外壁	ﾓﾙﾀﾙ+吹付	発電	ディーゼル	熱源	小型貫流ボイラー
	床	Pタイル	電灯	省エネ型	空調	FC、パッケージ型
	壁	RC、木等	警報		換気	三種、一種
	天井	岩綿吸音板等	構内交換		ﾎﾟﾝﾌﾟ	真空給水ポンプ、オイルポンプ
			EV		自動制御	中央式監視
			その他	電気時計、拡声、TV	給排水	高置水槽、公共下水
					給湯	局所式
					ｶﾞｽ	都市ガス
					消火	不活性ガス消火
劣化度調査	壁クラック、機械駐車パレットの腐食、天井漏水跡		誘導灯、非常用照明バッテリー切れ、プルボックス腐食		天井換気扇設置不良、受水槽劣化	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴	2000.9	外壁改修	2017.3	電話交換機更新	1999	冷房機器設置
	2019.2	屋根・外壁改修	2018.2	自動火災報知設備更新	2000	暖房用ボイラー移設
			2018.3	放送設備更新	2018.3	ｶﾞｽ消火ﾎﾞﾝﾍﾞ更新
			2018.12	高圧区分開閉器更新工事		

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	48,915		48,915		0				0			
H29	0				17,855			17,855	12,366			12,366
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	48,915	0	48,915	0	17,855	0	0	17,855	12,366	0	0	12,366

【優先度評価】

建物性能	高－
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度3
評価結果（コメント）	耐震改修は不要であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。建替え等の際には、本庁舎や職員数の少ない江刺分庁舎との複合化など検討も必要である。

長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・受電設備更新	・空調更新設計	・空調更新工事	・電話交換機停電用蓄電池更新工事		※維持修繕費を除き、本庁舎に費用計上
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源（見込）】	計：1,018千円 内訳 受電設備更新（※） 地下ﾀﾝｸﾗｲﾆﾝｸﾞ（※） 維持修繕費（1,018千円） 財源：一般財源	計：1,018千円 内訳 空調更新設計（※） 維持修繕費（1,018千円） 財源：一般財源	計：1,018千円 内訳 空調更新工事（※） 維持修繕費（1,018千円） 財源：一般財源	計：1,843千円 内訳 電話交換機停電用蓄電池更新工事 （825千円） 維持修繕費（1,018千円） 財源：一般財源	計：1,018千円 内訳 維持修繕費（1,018千円） 財源：一般財源	合計：5,915千円 ※本庁舎に費用計上 上記金額は維持修繕費計

個別施設計画（個票）

県庁・合庁№ 16

施設名／棟名	奥州地区合同庁舎 車庫			財産区分	行政財産
所在地	奥州市水沢区大手町1－2			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	近隣商業地域
その他区域					
敷地面積	5,703.77㎡	建築面積	404.8㎡	延床面積	363.8㎡
構　造	鉄骨造	階　数	1		
竣工年度（建築年月）	1980年10月	経過年数 R2.4.1現在	40		
利用状況	ニーズはあるが、駐車パレットの劣化により使用できない部分もある。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは継続するものと思われる。				

主な仕様・設備	建築		電気		機械	
	屋根	折板	受変電	－	冷暖房	－
	外壁	成型セメント板	発電	－	熱源	－
	床	土間モルタル	電灯	一般形	空調	－
	壁	－	警報	－	換気	－
	天井	－	構内交換	－	ポンプ	－
			EV	－	自動制御	－
			その他		給排水	水道直結
					給湯	－
					ガス	－
					消火	不活性ガス消火
劣化度調査	ガラスの割れ、軒天井の破損・劣化		特に無し		昇降式駐車設備のパレットの腐食	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴	2018.6	屋根外壁改修工事（塗装のみ）			2017	ガス系消火設備改修工事

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			0
H30	93,651		93,651		0				0			
H29	0				0			0	12,366			12,366
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	93,651	0	93,651	0	0	0	0	0	12,366	0	0	12,366

（本庁舎と一体）　　（本庁舎と一体）

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	Ⅰ

【総合判定】

項目	内容
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果（コメント）	軒天井などの外装材や駐車装置などの劣化が著しく、大幅な修繕が必要な状況である。庁舎を使用する限り車庫としてのニーズは継続するものと思われる。

項目	内容
長寿命化等対策の方向性	外装材の劣化や昇降式駐車設備の劣化が著しく、継続使用するためには全面的な修繕が必要となる。長寿命化については、庁舎の今後の整備方針に応じて検討する必要があるため、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	合計：890千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁№ 17

施設名／棟名	奥州地区合同庁舎 付属棟			財産区分	行政財産
所在地	奥州市水沢区大手町1－2			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	近隣商業地域
その他区域					
敷地面積	5,703.77㎡	建築面積	226.8㎡	延床面積	226.8㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	1		
竣工年度（建築年月）	1967年5月	経過年数 R2.4.1現在	53		
利用状況	物置等として使用を継続している。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	庁舎付属の物置として継続使用が想定される。				

主な仕様・設備	建築		電気		機械	
	屋根	塗膜防水	受変電	－	冷暖房	－
	外壁	吹付	発電	－	熱源	－
	床	土間ﾓﾙﾀﾙ	電灯	一般形	空調	－
	壁	仕上無し	警報	－	換気	－
	天井	仕上無し	構内交換	－	ﾎﾟﾝﾌﾟ	－
			EV	－	自動制御	－
			その他		給排水	－
					給湯	－
					ｶﾞｽ	－
					消火	－
劣化度調査	天井白華、クラック		特に無し		特に無し	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴	2018.6	屋根外壁改修工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			0
H30	93,651		93,651		0				0			
H29	0				0			0	0			0
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	93,651	0	93,651	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（本庁舎と一体）

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果（コメント）	築53年が経過し劣化が進行している。倉庫としての利用であるため大きな支障はないが、将来的に庁舎棟や分庁舎への集約も検討が必要と思われる。

長寿命化等対策の方向性	内装等の更新を行っていないため見た目には劣化しているが、H30年度に外装の修繕工事を実施しているため、物置として使用する分には支障がないと思われる。長寿命化については、庁舎の今後の整備方針に応じて検討する必要があるため、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源（見込）】	計：111千円 内訳 維持修繕費（111千円） 財源：一般財源	計：111千円 内訳 維持修繕費（111千円） 財源：一般財源	計：111千円 内訳 維持修繕費（111千円） 財源：一般財源	計：111千円 内訳 維持修繕費（111千円） 財源：一般財源	計：111千円 内訳 維持修繕費（111千円） 財源：一般財源	合計：555千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 18

項目	内容	項目	内容
施設名／棟名	奥州地区合同庁舎江刺分庁舎／旧館・新館	財産区分	行政財産
所在地	岩手県奥州市江刺区大通り148番	施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内　防火地域：指定なし	用途地域	商業地域
その他区域			
敷地面積	3,653.85㎡　建築面積：998.92㎡	延床面積	2,618.54㎡
構　　造	RC	階　　数	地上4階
竣工年度（建築年月）	1964年11月	経過年数 R2.4.1現在	56
利用状況	振興局再編前と比較すると職員数は約60%であり、今後増減はあるが、横ばいの見込みである。 2000年　106人　→2011年　64人　→2012年　58人　→2020年　62人		
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	執務室を新館若しくは旧館何れかに集約し、余剰スペースを文書庫として県南地区全体で活用する、民間への貸し出しなどが想定できるが、現状でも余剰スペースのほとんどが本庁舎の書庫として使用されていることから有効活用するにあたり書類の整理等が必要。		

主な設備

建築		電気		機械	
屋根	金属、シート防水	受変電	屋外キュービクル式	冷暖房	局所暖（FF等）、局所冷（エアコン等）
外壁	Co打放+吹付	発電	屋外ディーゼル	熱源	
床	ビニル床タイル類、タイル・石貼	電灯	省エネ型	空調	ユニット、パッケージ
壁	塗装類、壁紙、タイル・石貼、パーテイション、石こうボード	警報	P形、副受信機	換気	三種、一種
		構内交換	電子交換機	ポンプ	オイルポンプ
天井	岩綿吸音板等、石綿板	EV	常用EV	自動制御	中央式監視、個別
		その他	電気時計、拡声、TV	給排水	加圧送水、公共水道
				給湯	中央式（FF用）
				ガス	液化石油ガス
				消火	不活性ガス、粉末、消火ポンプ、

区分	建築	電気	機械
劣化度調査	クラック、塗装剥離、天井漏水跡	発錆	特になし
定期点検	同上	同上	同上
修繕工事履歴	1996.3 エレベーター設置 2000.1 外壁等補修 2015.1 耐震・外壁補修 2019.3 屋上防水等	2012.11 電気設備改修工事 2015.12 自家発設置 2017.3 電話交換機設備更新 2018.3 拡声設備更新 2019.2 自動火災報知設備更新	1997.11 ボイラー改修工事 2000.9 冷房機器設置工事 2012.12 機械設備改修工事 2018.2 ガス系消火設備更新 2020 エアコン更新

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	25,564		25,564		4,362			4,362	0			
H29	0				0				5,292		5,292	
H28	0				8,410			8,410	0			
H27	0				38,995			38,995	0			
計	25,564	0	25,564	0	51,767	0	0	51,767	5,292	0	5,292	0

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	中
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】

項目	内容
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果（コメント）	新館、旧館共に耐震改修済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。 執務室として利用率が低いことから本庁舎との集約の検討も必要である。 長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 有効活用にあたっては、本来の執務室の半分以上が空きスペースとなっている可能性があるが、奥州合庁の書庫となっていることから書類の整理等が必要。
長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・車庫棟改修（工事） ・空調設備改修（工事）			・電話交換機停電用蓄電池更新（工事）		
	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：44,579千円 内訳 空調設備改修工事（43,296千円） 維持修繕費（1,283千円） 財源：一般財源	計：1,283千円 内訳 維持修繕費（1,283千円） 財源：一般財源	計：1,283千円 内訳 維持修繕費（1,283千円） 財源：一般財源	計：2,108千円 内訳 電話交換機停電用蓄電池更新工事（825千円） 維持修繕費（1,283千円） 財源：一般財源	計：1,283千円 内訳 維持修繕費（1,283千円） 財源：一般財源	合計：50,536千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁№ 19

施設名／棟名	奥州地区合同庁舎江刺分庁舎／農林実験棟			財産区分	行政財産
所在地	岩手県奥州市江刺区大通り148番			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	商業地域
その他区域					
敷地面積	3,653.85㎡	建築面積	70.87㎡	延床面積	121㎡
構　　造	S	階　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1980年3月	経過年数 R2.4.1現在	40		
利用状況	実験室として利用している。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	庁舎の付属施設として必要な施設である。				

	建築	電気	機械
主な設備			
劣化度調査	雨樋腐食、壁クラック、軒天発錆	特になし	蛍光灯カバー破損
定期点検	同上	同上	同上
修繕工事履歴			

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	低
劣化度診断	A
利用度	中
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果（コメント）	長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。建替え等の際には、本庁舎や分庁舎との複合化など検討が必要と思われる。 ※令和2年度　車庫外壁等修繕工事の際に雨樋部分改修

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源(見込)】	計:59千円 内訳 維持修繕費(59千円) 財源:一般財源	計:59千円 内訳 維持修繕費(59千円) 財源:一般財源	計:59千円 内訳 維持修繕費(59千円) 財源:一般財源	計:59千円 内訳 維持修繕費(59千円) 財源:一般財源	計:59千円 内訳 維持修繕費(59千円) 財源:一般財源	合計:295千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 20

施設名／棟名	奥州地区合同庁舎江刺分庁舎／車庫A			財産区分	行政財産
所在地	岩手県奥州市江刺区大通り148番			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	商業地域
その他区域					
敷地面積	3,653.85㎡	建築面積	176.4㎡	延床面積	176.4㎡
構　造	S	階　数	地上1階		
竣工年度（建築年月）	1964年11月	経過年数 R2.4.1現在	56		
利用状況	江刺分庁舎に配備する公用車車庫として利用				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫として継続して利用				

	建築	電気	機械
主な設備			
劣化度調査	雨漏り跡あり、ブレース外れ、鉄部腐食、壁クラック、入口部モルタル破損	特になし	機械室駐車場床板鉄板腐食
定期点検	同上	同上	同上
修繕工事履歴			

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	建築 維持修繕	建築 改修	建築 更新	電気 計	電気 維持修繕	電気 改修	電気 更新	機械 計	機械 維持修繕	機械 改修	機械 更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	低
劣化度診断	B
利用度	中
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】

項目	内容
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度1
評価結果（コメント）	長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 ※車庫棟は令和2年度外壁等修繕工事実施

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・車庫棟改修（工事） 日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：33,724千円 内訳 車庫棟改修工事（33,638千円） 維持修繕費（86千円） 財源：一般財源	計：86千円 内訳 維持修繕費（86千円） 財源：一般財源	計：86千円 内訳 維持修繕費（86千円） 財源：一般財源	計：86千円 内訳 維持修繕費（86千円） 財源：一般財源	計：86千円 内訳 維持修繕費（86千円） 財源：一般財源	合計：34,068千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No.　21

施設名／棟名	一関地区合同庁舎	財産区分	行政財産
所在地	岩手県一関市竹山町7-5	施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内　防火地域：準防火地域	用途地域	商業地域
その他区域			
敷地面積	9,188.28㎡　建築面積：2,206.82㎡	延床面積	5,273.37㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　数	4
竣工年度（建築年月）	1981年6月	経過年数 R2.4.1現在	39
利用状況	振興局再編前と比較して職員数は約83%と減少しているが、15年前と比較すると横ばいである。 2000年　243人　→2011年　209人　→2012年　218人　→2020年　201人		
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。		

主な仕様・設備

建築		電気		機械	
屋根	金属、シート防水	受変電	キュービクル式	冷暖房	冷温水方式、局所暖房、エアコン
外壁	コンクリート打放+吹付	発電	ディーゼル	熱源	直吸収冷温水機
床	Pタイル	電灯	一般形	空調	ユニット、パッケージ、ファンコイルユニット
壁	パーティション	警報	P型	換気	三種、一種
天井	岩綿吸音板、石綿板等	構内交換	電子交換機	ポンプ	空調、オイル、揚水
		EV	乗用EV	自動制御	中央監視
		その他	電気時計設備	給排水	高置水槽方式
			テレビ共同受信設備等	給湯	中央、局所併用
				ガス	都市ガス
				消火	屋内消火栓、不活性ガス、粉末

区分	建築	電気	機械
劣化度調査	天井雨漏り跡、パーテーションずれ、地盤沈下（敷地内共通）	天井器具（灯具、ガラリ等）のずれ、ハンドホール雨水溜まり	冷却塔架台・配管発錆、換気扇廻り吹込み跡（機械室）
定期点検	同上	同上	同上
修繕工事履歴	1989.12 屋根塗装 1992.3 エレベーター設置他工事 2005.10 防水シート改修工事 2014.12 屋根塗装 2020.3 外壁屋根塗装	2004 電話交換設備更新工事 2012.3 自家用発電設備更新工事 2020.3 自火報設備更新工事	1995.3 冷房機器設置工事 2005 機械設備改修工事 2018.3 ガス系消火設備更新工事 2019.2 中央監視装置更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	136,861	136,861			0				0			
H30	0				0				25,563			25,563
H29	0				0				8,478			8,478
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	136,861	136,861	0	0	0	0	0	0	34,041	0	0	34,041

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

項目	内容
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果（コメント）	耐震改修は不要であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改等検討の時期である。長寿命化で継続使用する場合には設備・機器の改修工事等から20年程度経過し、既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

項目	内容
長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・受変電設備改修　（工事） ・高圧区分開閉器改修(工事) ・電話設備改修(工事) ・昇降機設備改修(工事) ・地下タンクライニング（工事）	・昇降機設備改修(工事)		・照明設備更新(工事)	・自家発電OH(工事)	
	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：32,625千円 内訳 高圧区分開閉器改修工事 （1,023千円） 受変電設備更新工事 （4,466千円） 電話設備改修工事 （17,875千円） 昇降機設備改修工事設計 （2,387千円） 地下タンクライニング工事 （4,290千円） 維持修繕費 （2,584千円） 財源：一般財源	計：27,620千円 内訳 昇降機設備改修工事 （25,036千円） 維持修繕費 （2,584千円） 財源：一般財源	計：2,584千円 内訳 維持修繕費 （2,584千円） 財源：一般財源	計：52,920千円 内訳 照明設備更新工事 （50,336千円） 維持修繕費 （2,584千円） 財源：一般財源	計：9,272千円 内訳 自家発電設備OH （6,688千円） 維持修繕費 （2,584千円） 財源：一般財源	合計： 125,021千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 22

施設名／棟名	一関地区合同庁舎　車庫			財産区分	行政財産
所在地	岩手県一関市竹山町7-5			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	商業地域
その他区域					
敷地面積	9,188.28㎡	建築面積	399.7㎡	延床面積	399.7㎡
構　造	鉄骨造	階　数	1		
竣工年度（建築年月）	1981年6月	経過年数 R2.4.1現在	39		
利用状況	車庫として継続して使用中である。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは継続するものと思われる。				

主な仕様・設備	建築		電気		機械	
	屋根	折板屋根	受変電	－	冷暖房	－
	外壁	ALC	発電	－	熱源	－
	床	土間コンクリート	電灯	一般形	空調	－
	壁	－	警報	－	換気	三種
	天井	－	構内交換	－	ﾎﾟﾝﾌﾟ	－
			EV	－	自動制御	－
			その他	－	給排水	－
					給湯	－
					ｶﾞｽ	－
					消火	泡消火設備
劣化度調査	－		－		－	
定期点検	－		－		－	
修繕工事履歴	2020.3	屋根・外壁改修			2020.3	泡消火設備修繕

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※工事費は庁舎に含む

【優先度評価】	
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理　／　優先度3
評価結果（コメント）	長寿命化で継続使用する場合には、適宜修繕を行い、維持管理していく必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源(見込)】	計：196千円 内訳 維持修繕費 （196千円） 財源：一般財源	計：196千円 内訳 維持修繕費 （196千円） 財源：一般財源	計：196千円 内訳 維持修繕費 （196千円） 財源：一般財源	計：196千円 内訳 維持修繕費 （196千円） 財源：一般財源	計：196千円 内訳 維持修繕費 （196千円） 財源：一般財源	合計：980千円

個別施設計画（個票）

施設名／棟名	一関地区合同庁舎　附属棟		財産区分	行政財産
所在地	岩手県一関市竹山町7-5		施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域 準防火地域	用途地域	商業地域
その他区域				
敷地面積	9,188.28㎡	建築面積 170.46㎡	延床面積	241.21㎡
構　　造	鉄骨造	階　数		2
竣工年度（建築年月）	2002年2月	経過年数 R2.4.1現在		18
利用状況	書庫、会議室、入札室として継続して使用中である。			
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	上記のニーズは継続するものと思われる。			

主な仕様・設備

建築		電気		機械	
屋根	金属	受変電	キュービクル式	冷暖房	局所暖房、エアコン
外壁	ACL	発電	-	熱源	-
床	Pタイル	電灯	一般形	空調	-
壁	ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	警報	P型	換気	三種、一種
天井	岩綿吸音板、石綿板等	構内交換	電子交換機	ﾎﾟﾝﾌﾟ	-
		EV	-	自動制御	-
		その他	-	給排水	-
			-	給湯	-
				ｶﾞｽ	-
				消火	粉末

	建築	電気	機械
劣化度調査	-	-	-
定期点検	-	-	-
修繕工事履歴	2020.3 外壁屋根塗装		

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
RI	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※工事費は庁舎に含む

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	I

【総合判定】

項目	内容
総合判定／優先度	維持管理　／　優先度3
評価結果（コメント）	書庫、会議室、入札室としてのニーズは継続するものと思われる。外壁改修を実施しており、特別不具合も発生していないことから、適切な維持管理が求められる。
長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	計：118千円 内訳 維持修繕費 （118千円） 財源：一般財源	計：118千円 内訳 維持修繕費 （118千円） 財源：一般財源	計：118千円 内訳 維持修繕費 （118千円） 財源：一般財源	計：118千円 内訳 維持修繕費 （118千円） 財源：一般財源	計：118千円 内訳 維持修繕費 （118千円） 財源：一般財源	合計：590千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 24

施設名／棟名	一関地区合同庁舎　千厩分庁舎　旧館	財産区分	行政財産
所在地	一関市千厩町千厩字北方85-2	施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内　防火地域：指定なし	用途地域	第二種住居地域
その他区域			
敷地面積	5,200.62㎡　建築面積：680.82㎡	延床面積	2,008.13㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	3
竣工年度（建築年月）	1964年12月	経過年数 R2.4.1現在	56
利用状況	振興局再編前と比較すると職員数は約47%であり、今後増減はあるが、横ばいの見込みである。 2000年　187人　→2011年　92人　→2012年　91人　→2020年　88人		
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	多くのスペースが倉庫スペースとして使用されており、余剰面積が発生している状態と思われる。		

主な仕様・設備	建築		電気		機械	
	屋根	シート防水	受変電	キュービクル式	冷暖房	蒸気方式、エアコン
	外壁	ﾀｲﾙ貼り、ﾓﾙﾀﾙ+吹付	発電	ディーゼル	熱源	鋳鉄製ボイラー
	床	Pタイル	電灯	一般型	空調	ﾌｧﾝｺﾝﾍﾞｸﾀｰ、ﾊﾟｯｹｰｼﾞ
	壁	ブロック、ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ等	警報	自火報P型、非常ベル	換気	一種
	天井	岩綿吸音板、石綿板等	構内交換	電子交換機、VoIPシステム	ﾎﾟﾝﾌﾟ	真空給水、オイル
			EV	乗用	自動制御	中央監視
			その他	電気時計、拡声、TV共同受信	給排水	加圧送水、自動給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ
					給湯	
					ｶﾞｽ	
					消火	屋内消火栓
劣化度調査	屋上ドレンに植生、防水シート劣化、内部仕上漏水跡		プルボックス発錆		水槽マンホール廻りモルタル割れ	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴	1988	改修工事	1988.9	受変電、照明、弱電更新	1988	空調、衛生設備
	2001.3	外部建具改修	2000.9	受変電増設	1996.1	空調、衛生設備
	2013.3	防水・外壁改修	2014.12	自家用発電設備設置	2000	冷房機器設置
	2015.12	耐震改修工事	2016.3	電話交換機更新	2014.1	下水道接続
			2020.3	自火報設備更新	2020.9	自動制御更新

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	0				14,233			14,233	0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	94,821		94,821		10,648			10,648	0			
計	94,821	0	94,821	0	24,881	0	0	24,881	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は減少傾向の見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果（コメント）	耐震改修が必要な旧館は耐震改修済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと、旧館は築後50年以上が経過していることから大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 執務室として利用率が低く、余剰面積があることから、新館・旧館どちらかを全面改修した上での集約なども検討課題である。

長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で旧館及び新館の今後の耐用年数を見極め、性能が高い棟に集中的に長寿命化工事を実施することで執務室の集約を検討する。 長寿命化する部分を選択することで、維持費用の低減に努める。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容		・屋根外壁修繕設計	・屋根外壁修繕工事			
	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：984千円 内訳 維持修繕費（984千円） 財源：一般財源	計：5,978千円 内訳 屋根外壁工事設計（4,994千円） 維持修繕費（984千円） 財源：一般財源	計：125,081千円 内訳 屋根外壁工事（124,097千円） 維持修繕費（984千円） 財源：一般財源	計：984千円 内訳 維持修繕費（984千円） 財源：一般財源	計：984千円 内訳 維持修繕費（984千円） 財源：一般財源	合計：134,011千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁№　25

施設名／棟名	一関地区合同庁舎　千厩分庁舎　新館	財産区分	行政財産
所在地	一関市千厩町千厩字北方85-2	施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内　防火地域　指定なし	用途地域	第二種住居地域
その他区域			
敷地面積	5,200.62㎡　建築面積　529.89㎡	延床面積	1,485.59㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　数	3
竣工年度（建築年月）	1988年9月	経過年数 R2.4.1現在	32
利用状況	振興局再編前と比較すると職員数は約47%であり、今後増減はあるが、横ばいの見込みである。 2000年　187人　→2011年　92人　→2012年　91人　→2020年　88人		
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	多くのスペースが倉庫スペースとして使用されており、余剰面積が発生している状態と思われる。		

	建築		電気		機械	
主な仕様・設備	屋根	ｼｰﾄ防水、折板屋根（渡り廊下）	受変電	キュービクル式	冷暖房	蒸気方式、エアコン
	外壁	ﾀｲﾙ貼り、ﾓﾙﾀﾙ+吹付	発電	ディーゼル	熱源	鋳鉄製ボイラー
	床	Pタイル	電灯	一般型	空調	ﾌｧﾝｺﾝﾍﾞｸﾀｰ、ﾊﾟｯｹｰｼﾞ
	壁	石こうﾎﾞｰﾄﾞ、ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ等	警報	自火報P型、非常ベル	換気	一種
	天井	岩綿吸音板、石綿板等	構内交換	電子交換機、VoIPシステム	ﾎﾟﾝﾌﾟ	真空給水、オイル
			EV	乗用	自動制御	中央監視
			その他	電気時計、拡声、TV共同受信	給排水	加圧送水、自動給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ
					給湯	
					ｶﾞｽ	
					消火	屋内消火栓
劣化度調査	屋上パラペット立上り凍害、防水シート劣化、内部仕上漏水跡		プルボックス発錆		水槽マンホール廻りモルタル割れ	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴			2000.9 2014.12 2016.3 2020.3	受変電増設 自家用発電設備設置 電話交換機更新 自火報設備更新	1996.1 2000 2014.1 2020.9	空調、衛生設備 冷房機器設置 下水道接続 自動制御更新

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				14,233			14,233	0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				10,648			10,648	0			
計	0	0	0	0	24,881	0	0	24,881	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は減少傾向の見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度3
評価結果（コメント）	長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 執務室として利用率が低く、余剰面積があることから、新館・旧館どちらかを全面改修した上での集約なども検討課題である。

長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で旧館及び新館の今後の耐用年数を見極め、性能が高い棟に集中的に長寿命化工事を実施することで執務室の集約を検討する。 長寿命化する部分を選択することで、維持費用の低減に努める。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容		・昇降機改修設計 ・空調設備更新設計	・電話交換機蓄電池更新 ・放送用設備更新 ・昇降機改修工事 ・空調設備更新工事	・受変電設備改修 ・放送用設備更新設計	・自家発OH ・放送用設備更新工事 ・空調設備更新計	
	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：728千円 内訳 維持修繕費 （728千円） 財源：一般財源	計：5,711千円 内訳 昇降機改修 （2,629千円） 空調設備更新設計 （2,354千円） 維持修繕費 （728千円） 財源：一般財源	計：63,310千円 内訳 電話交換機蓄電池更新 （825千円） 昇降機改修工事 （35,715千円） 空調設備更新 （26,042千円） 維持修繕費 （728千円） 財源：一般財源	計：6,674千円 内訳 受変電設備改修 （5,044千円） 放送用設備設計 （902千円） 維持修繕費 （728千円） 財源：一般財源	計：14,939千円 内訳 自家発OH （6,225千円） 放送用設備更新工事 （7,986千円） 維持修繕費 （728千円） 財源：一般財源	合計：91,362千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 26

施設名／棟名	一関地区合同庁舎 千厩分庁舎 車庫			財産区分	行政財産
所在地	一関市千厩町千厩字北方85-2			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域
その他区域					
敷地面積	5,200.62㎡	建築面積	231.99㎡	延床面積	231.99㎡
構造	鉄骨造		階数	1	
竣工年度（建築年月）	1988年9月		経過年数 R2.4.1現在	32	
利用状況	車庫として継続して使用中である。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは継続するものと思われる。				

主な仕様・設備	建築		電気		機械	
	屋根	折板屋根	受変電	－	冷暖房	－
	外壁	ALC	発電	－	熱源	－
	床	土間コンクリート	電灯	一般型	空調	－
	壁	－	警報	－	換気	三種
	天井	－	構内交換	－	ﾎﾟﾝﾌﾟ	－
			EV	－	自動制御	－
			その他	－	給排水	－
					給湯	－
					ｶﾞｽ	－
					消火	－
劣化度調査	鉄部発錆		－		－	
定期点検	同上		－		－	
修繕工事履歴			2020.3	自火報設備更新（庁舎工事に付随）		

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	0				14,233			14,233	0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	14,233	0	0	14,233	0	0	0	0

（庁舎工事含む）

【優先度評価】	
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度3
評価結果（コメント）	駐車場としてのニーズは継続すると思われる。鉄部等に発錆が見られるため、塗装等の改修を行えば、当面継続使用可能である。

長寿命化等対策の方向性	庁舎の今後の整備方針に応じて長寿命化を検討する必要があるため、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	計：114千円 内訳 維持修繕費 （114千円） 財源：一般財源	計：114千円 内訳 維持修繕費 （114千円） 財源：一般財源	計：114千円 内訳 維持修繕費 （114千円） 財源：一般財源	計：114千円 内訳 維持修繕費 （114千円） 財源：一般財源	計：114千円 内訳 維持修繕費 （114千円） 財源：一般財源	合計：570千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 27

施設名／棟名	大船渡地区合同庁舎　庁舎棟			財産区分	行政財産
所在地	大船渡市猪川町字前田６番１			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域
その他区域	土地区画整理事業区域				
敷地面積	8,584.3㎡	建築面積	1,142.76㎡	延床面積	4,764.34㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	4		
竣工年度 （建築年月）	1974年11月	経過年数 R2.4.1現在	46		
利用状況	職員数は振興局再編で規模縮小したものの、震災後一時期急増したのち減少傾向にあり、震災前とほぼ同じ規模にある 2000年　251人　→2011年　234人　→2012年　329人　→2020年　240人				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。				

	建築		電気		機械	
主な仕様・設備	屋根	ｼｰﾄ防水	受変電	キュービクル式	冷暖房	冷温水方式、エアコン
	外壁	ﾀｲﾙ貼り、ﾓﾙﾀﾙ+吹付	発電	ディーゼル	熱源	直吸収冷温水機
	床	Pタイル	電灯	一般型、非常用照明電池別置形	空調	
	壁	塗装、壁紙等	警報	自火報P型、非常ベル	換気	三種
	天井	岩綿吸音板、壁紙、塗装等	構内交換	電子交換機、VoIPシステム	ﾎﾟﾝﾌﾟ	空調用、オイル用
			EV	乗用	自動制御	中央監視
			その他	電気時計、拡声、TV共同受信	給排水	高置水槽
					給湯	中央式、真空式温水発生器
					ｶﾞｽ	液化石油
					消火	屋内消火栓
劣化度調査	舗装不陸、ｸﾛｽのはがれ、壁・床クラック、床タイル剥がれ		－		ｶﾞﾗﾘのずれ、エアコン室外機発錆	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴	1993.2	屋上防水、外壁改修	2003	電話交換設備更新	1995.1	冷房機器設置
	2009.5	耐震改修	2010.12	自家用発電設備設置	1999.12	空調、衛生設備改修
	2012	修繕工事(震災被災箇所)	2016.1	太陽光発電設備設置	2004	地下タンク更新
	2020.3	屋上防水、外壁改修工事	2015	放送設備更新	2019.2	中央監視更新
			2019.3	電話交換設備更新	2020.3	衛生設備接続

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	109,006	109,006			0				20,471		20,471	
H30	0				15,444			15,444	27,194			27,194
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				65,965		61,738	4,227	0			
計	109,006	109,006	0	0	81,409	0	61,738	19,671	47,665	0	20,471	27,194

【優先度評価】	
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
１次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	職員数は震災の影響で増加し、減少傾向であったが現在は震災前とほぼ同じ規模で今後減少の見込み。
２次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度３
評価結果 （コメント）	耐震改修や外装の改修は実施済であるが、２次部材及び設備の地震対策がとられていないこと、内装仕上げの劣化等が目立つことから大規模改修等を検討する時期である。 長寿命化で継続使用する場合には改修工事等から20年程度経過し、既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・自火報更新工事	・受電設備更新	・照明更新設計 ・昇降機改修設計	・照明更新工事 ・昇降機改修工事		
	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用 【充当財源(見込)】	計：9,430千円 内訳 自火報更新(7,095千円) 維持修繕(2,335千円) 財源：一般財源	計：6,554千円 内訳 受電設備(4,219千円) 維持修繕(2,335千円) 財源：一般財源	計：6,779千円 内訳 照明更新設計(1,815千円) 昇降機改修設計(2,629千円) 維持修繕(2,335千円) 財源：一般財源	計：94,964千円 内訳 自家発電補修 (6,578千円) 照明更新 (50,336千円) 昇降機改修(35,715千円) 維持修繕(2,335千円) 財源：一般財源	計：2,335千円 内訳 維持修繕(2,335千円) 財源：一般財源	合計：120,062千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No.　28

施設名／棟名	大船渡地区合同庁舎　ボイラー室	財産区分	行政財産
所在地	大船渡市猪川町字前田６番１	施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内 / 防火地域：指定なし	用途地域	第二種住居地域
その他区域	土地区画整理事業区域		
敷地面積	8,584.3㎡ / 建築面積：120㎡	延床面積	120㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　数	1
竣工年度（建築年月）	1974年11月	経過年数 R2.4.1現在	46
利用状況	庁舎の冷暖房を担うボイラーの上屋であるため、必要な建物である。		
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	現庁舎を継続使用する限り、又は、冷暖房のシステムを全面更新しない限り必要な建物である。		

	建築		電気		機械	
主な仕様・設備	屋根	シート防水	受変電	-	冷暖房	冷温水方式、エアコン
	外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ+塗装	発電	-	熱源	直吸収冷温水機
	床	土間ﾓﾙﾀﾙ	電灯	一般型	空調	
	壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放し	警報	-	換気	三種
	天井	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放し	構内交換	-	ﾎﾟﾝﾌﾟ	空調用、オイル用
			EV	-	自動制御	中央監視
			その他	-	給排水	高置水槽
					給湯	中央式、真空式温水発生器
					ｶﾞｽ	液化石油
					消火	屋内消火栓
劣化度調査	特に無し		特に無し		特に無し	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴	2020.3	屋上防水、外壁改修工事			1995.1 1999.12 2004 2019.2	冷房機器設置 空調、衛生設備改修 地下タンク更新 中央監視更新

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	109,006	109,006			0				0			
H30	0				0				27,194			27,194
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	109,006	109,006	0	0	0	0	0	0	27,194	0	0	27,194

（庁舎工事と一体）　　（庁舎工事と一体）

【優先度評価】	
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	庁舎に準ずる
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理　／　優先度３
評価結果（コメント）	庁舎の冷暖房を担うボイラーの上屋であるため、庁舎が存続する限りは継続して必要となる。

長寿命化等対策の方向性	令和元年度に外装の修繕工事を実施していることから、当面の継続使用に支障はないと思われる。庁舎の熱源ボイラーを格納する施設であるため、今後の庁舎の整備方針に応じて長寿命化や建替え等の検討を行うこととする。

区分	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	計：59千円 内訳 維持修繕費（59千円） 財源：一般財源	計：59千円 内訳 維持修繕費（59千円） 財源：一般財源	計：59千円 内訳 維持修繕費（59千円） 財源：一般財源	計：59千円 内訳 維持修繕費（59千円） 財源：一般財源	計：59千円 内訳 維持修繕費（59千円） 財源：一般財源	合計：295千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 29

項目	内容	項目	内容	項目	内容
施設名／棟名	大船渡地区合同庁舎　車庫A			財産区分	行政財産
所在地	大船渡市猪川町字前田6番1			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域
その他区域	土地区画整理事業区域				
敷地面積	8,584.3㎡	建築面積	851.16㎡	延床面積	851.16㎡
構　　造	鉄骨造	階　数	1		
竣工年度（建築年月）	1974年11月	経過年数 R2.4.1現在	46		
利用状況	公用車車庫として利用率が高い。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは高く、他の利用は見込めない。				

主な仕様・設備

建築		電気		機械	
屋根	折板屋根	受変電	－	冷暖房	－
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ+吹付	発電	－	熱源	－
床	土間ﾓﾙﾀﾙ	電灯	一般型	空調	－
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ+塗装	警報	－	換気	換気扇
天井	－	構内交換	－	ﾎﾟﾝﾌﾟ	－
		EV	－	自動制御	－
		その他	－	給排水	水道直結
				給湯	－
				ｶﾞｽ	－
				消火	－

項目	建築	電気	機械
劣化度調査	特に無し	特に無し	特に無し
定期点検	同上	同上	同上
修繕工事履歴	2020.3　屋上防水、外壁改修工事		

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	109,006	109,006			0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	109,006	109,006	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（庁舎工事と一体）

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	車庫のニーズは継続するものと思われる。
2次評価	Ⅰ

【総合判定】

項目	内容
総合判定／優先度	維持管理　／　優先度3
評価結果（コメント）	築年数は経過しているが、利用率も高く、令和元年度に屋根外壁の改修工事も実施しているため、当面使用は可能と思われる。

項目	内容
長寿命化等対策の方向性	令和元年度に外装の修繕工事を実施しているため、必要最小限の維持修繕工事を行うことで、当面継続使用が可能と思われる。今後、庁舎の整備方針に応じて、大規模改修や建替え等の検討を行うこととする。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：417千円 内訳 維持修繕費（417千円） 財源：一般財源	計：417千円 内訳 維持修繕費（417千円） 財源：一般財源	計：417千円 内訳 維持修繕費（417千円） 財源：一般財源	計：417千円 内訳 維持修繕費（417千円） 財源：一般財源	計：417千円 内訳 維持修繕費（417千円） 財源：一般財源	合計：2,085千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 30

施設名／棟名	大船渡地区合同庁舎 車庫B	財産区分	行政財産
所在地	大船渡市猪川町字前田６番１	施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内　防火地域：指定なし	用途地域	第二種住居地域
その他区域	土地区画整理事業区域		
敷地面積	8,584.3㎡　建築面積：167.92㎡	延床面積	167.92㎡
構　　造	鉄骨造	階　数	1
竣工年度（建築年月）	1974年11月	経過年数 R2.4.1現在	46
利用状況	公用車車庫として利用率が高い。		
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは高く、他の利用は見込めない。		

	建築		電気		機械	
主な仕様・設備	屋根	折板屋根	受変電	−	冷暖房	−
	外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ+吹付	発電	−	熱源	−
	床	土間ﾓﾙﾀﾙ	電灯	一般型	空調	−
	壁	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ+塗装	警報	−	換気	換気扇
	天井	−	構内交換	−	ﾎﾟﾝﾌﾟ	−
			EV	−	自動制御	−
			その他	−	給排水	−
					給湯	−
					ｶﾞｽ	−
					消火	−
劣化度調査	特に無し		特に無し		特に無し	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴	2020.3	屋上防水、外壁改修工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	109,006	109,006			0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	109,006	109,006	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（庁舎工事と一体）

【優先度評価】	
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	車庫のニーズは継続するものと思われる。
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理　／　優先度3
評価結果（コメント）	築年数は経過しているが、利用率も高く、令和元年度に屋根外壁の改修工事も実施しているため、当面使用は可能と思われる。

長寿命化等対策の方向性	令和元年度に外装の修繕工事を実施しているため、必要最小限の維持修繕工事を行うことで、当面継続使用が可能と思われる。今後、庁舎の整備方針に応じて、大規模改修や建替え等の検討を行うこととする。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	計：82千円 内訳 維持修繕費（82千円） 財源：一般財源	計：82千円 内訳 維持修繕費（82千円） 財源：一般財源	計：82千円 内訳 維持修繕費（82千円） 財源：一般財源	計：82千円 内訳 維持修繕費（82千円） 財源：一般財源	計：82千円 内訳 維持修繕費（82千円） 財源：一般財源	合計：410千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 31

施設名／棟名	大船渡地区合同庁舎 実験室			財産区分	行政財産
所在地	大船渡市猪川町字前田6番1			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域
その他区域	土地区画整理事業区域				
敷地面積	8,584.3㎡	建築面積	67.87㎡	延床面積	128.02㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	2		
竣工年度（建築年月）	1974年11月	経過年数 R2.4.1現在	46		
利用状況	1階は清掃員の控室、2階は水産関係の実験室として利用している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	庁舎の付属施設として必要な施設である。				

	建築		電気		機械	
主な仕様・設備	屋根	シート防水	受変電	–	冷暖房	冷温水方式、エアコン
	外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ+塗装	発電	–	熱源	直吸収冷温水機
	床	土間ﾓﾙﾀﾙ、畳	電灯	一般型	空調	
	壁	モルタル塗り	警報	–	換気	三種
	天井	吹付	構内交換	–	ﾎﾟﾝﾌﾟ	空調用
			EV	–	自動制御	中央監視
			その他	–	給排水	高置水槽
					給湯	局所式
					ｶﾞｽ	液化石油
					消火	屋内消火栓（ﾎﾟﾝﾌﾟ設置場所）
劣化度調査	壁クラック・白華、天井漏水跡		特に無し		消火ポンプベース発錆	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴	2020.3	屋上防水、外壁改修工事				

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	建築 維持修繕	建築 改修	建築 更新	電気 計	電気 維持修繕	電気 改修	電気 更新	機械 計	機械 維持修繕	機械 改修	機械 更新
R1	109,006	109,006										
H30												
H29												
H28												
H27												
計	109,006	109,006										

（庁舎工事と一体）

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	庁舎に準ずる
2次評価	I

【総合判定】

項目	内容
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度3
評価結果（コメント）	1階は清掃員の控室、2階は水産関係の実験室として使用されている。屋上、外壁の修繕工事を2020年に実施しているため、躯体は継続使用が可能な状況であるが、内部については劣化が激しく性能が劣る。今後、庁舎の余剰スペースが生まれる場合は、庁舎棟へ集約が望ましい。

長寿命化等対策の方向性	令和元年度に外装の修繕工事を実施しているものの、内装の劣化が著しい。利用者が少なく、面積も小さいことから、今後庁舎に余剰面積ができた際に機能を移設することとして、必要最低限の修繕のみ実施するものとする。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	計：63千円 内訳 維持修繕費（63千円） 財源：一般財源	計：63千円 内訳 維持修繕費（63千円） 財源：一般財源	計：63千円 内訳 維持修繕費（63千円） 財源：一般財源	計：63千円 内訳 維持修繕費（63千円） 財源：一般財源	計：63千円 内訳 維持修繕費（63千円） 財源：一般財源	合計：315千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 32

施設名／棟名	遠野地区合同庁舎（旧館・新館）			財産区分	行政財産
所在地	遠野市六日町１－２２			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画地域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域
その他区域					
敷地面積	7,410.8㎡	建築面積	1,000.43㎡	延床面積	3,272.79㎡
構　　造	RC	階　　数	地上４階		
竣工年度（建築年月）	1966年7月	経過年数 R2.4.1現在	53年		
利用状況	振興局再編前と比較すると職員数は約60%。 2000年　205人　→2011年　147人　→2012年　152人　→2020年　76人				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	振興局再編前と比較すると職員数は約37%であり余剰スペースは見込めるためスペースの有効活用は可能と考えられる。 必要に応じて、市町村担当課の執務スペースとして貸し付けるなどの有効活用を検討する。				

	①建築設備	②電気設備	③機械設備
主な設備	・屋根シート防水 ・外壁モルタル塗	・受変電キュービクル ・自家発電機 ・無停電電源装置 ・電話交換機設備 ・構内放送設備 ・エレベーター	・鋳鉄製ボイラー ・パッケージ型エアコン ・各種ポンプ類 ・各種タンク類 ・温水発生機 ・液化石油ガス ・消火設備
劣化度調査	経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。	経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。	経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。
定期点検	・水切りシーリング劣化 ・雨漏り跡 ・駐車場パレット腐食	・キュービクル通風孔閉塞	・ロスナイ故障
修繕工事履歴	・屋上防水補修（1987） ・エレベーター設置（1994） ・外壁改修（1996） ・耐震改修（2016）	・自家用発電機改修（2012） ・照明設備改修（2019） ・電話交換設備更新（2019）	・給排水等設備設置（1994） ・冷房機器設置（2000） ・ガス系消火設備更新（2018）

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1					39,290			39,290				
H30												
H29									9,396		9,396	
H28	135,877		135,877									
H27												
計	135,877		135,877		39,290			39,290	9,396		9,396	

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	高
見通し	無
2次評価	Ⅰ

【総合判定】		
総合判定／優先度	修繕・改修	優先度2
評価結果（コメント）	新館旧館共に耐震改修済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと、旧館は築後50年以上経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 執務室として利用率が低いことから新館、旧館の集約・施設余剰スペースの有効活用についての検討や転用・複合化の可能性についての検討も課題である。	

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・放送設備ほか更新工事	・受変電設備更新工事	・屋根外壁修繕設計	・屋根外壁修繕 ・自家発電設備更新工事　ほか	・昇降設備更新工事	
	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	計：14,078千円 内訳 放送設備ほか更新工事（12,474千円） 維持修繕費（1,604千円） 財源：一般財源	計：7,709千円 内訳 受変電設備更新工事（6,105千円） 維持修繕費（1,604千円） 財源：一般財源	計：9,211千円 内訳 屋根外壁修繕設計（5,000千円） 空調設備更新設計（2,607千円） 維持修繕費（1,604千円） 財源：一般財源	計：178,418千円 内訳 屋根外壁修繕工事（134,520千円） 受変電設備工事（968千円） 自家発電設備更新工事（6,578千円） 空調設備更新工事（32,119千円） 維持修繕費（1,604千円） 昇降機更新工事設計（2,629千円） 財源：一般財源	計：39,604千円 内訳 昇降設備更新工事（38,000千円） 維持修繕費（1,604千円） 財源：一般財源	合計：249,020千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No.　33

施設名／棟名	遠野地区合同庁舎（倉庫）			財産区分	行政財産
所在地	遠野市六日町１－２２			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画地域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域
その他区域					
敷地面積	7,410.8㎡	建築面積	715.22㎡	延床面積	1,401.73㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上2階		
竣工年度 （建築年月）	1980年3月	経過年数 R2.4.1現在	41		
利用状況	物置として利用されている。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も物置として利用されることが想定される。				

	建築	電気	機械
主な仕様・設備			
劣化度調査			
定期点検	雨漏り跡、カビの発生		
修繕工事履歴			

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	今後も必要となる見通し
2次評価	Ⅲ

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理／優先度４
評価結果 （コメント）	長期に亘り公用車等を保管する場所が必要であることから、適宜修繕を行い現状維持に努めることが妥当である。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：813千円 内訳 維持修繕費（813千円） 財源：一般財源	計：813千円 内訳 維持修繕費（813千円） 財源：一般財源	計：813千円 内訳 維持修繕費（813千円） 財源：一般財源	計：813千円 内訳 維持修繕費（813千円） 財源：一般財源	計：813千円 内訳 維持修繕費（813千円） 財源：一般財源	合計：4,065千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁№　34

施設名／棟名	釜石地区合同庁舎／旧館	財産区分	行政財産
所在地	岩手県釜石市新町6番50号	施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内　防火地域：準防火地域	用途地域	第一種住居地域
その他区域			
敷地面積	7,367.25㎡　建築面積：1,020.86㎡	延床面積	3,863.92㎡
構　造	RC	階　数	地上4階
竣工年度（建築年月）	1978年3月	経過年数 R2.4.1現在	42
利用状況	震災後2012年からの職員数の増は、震災復興への対応であるため、今後の復興の進捗状況によっては震災前の規模に戻る可能性もある。		
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペースはあまりない状況である。		

主な設備	建築		電気		機械	
	屋根	ｼｰﾄ防水	受変電	屋外形	冷暖房	冷温水（中央式）、局所（FF、ｴｱｺﾝ）
	外壁	Co打放+吹付、ﾀｲﾙ貼	発電	屋外ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	熱源	直吸収冷温水機
	床	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ類	電灯	一般形	空調	ﾕﾆｯﾄ、ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ
	壁	Co打放+吹付、壁紙、ﾀｲﾙ・石貼、ﾊﾟｰﾃｲｼｮﾝ	警報	P形、副受信機、非常放送	換気	三種、一種
			構内交換	電子交換機、VoIP	ﾎﾟﾝﾌﾟ	空調用ﾎﾟﾝﾌﾟ、ｵｲﾙﾎﾟﾝﾌﾟ
	天井	石こうﾎﾞｰﾄﾞ、岩綿吸音板	EV	常用EV	自動制御	中央式監視
			その他	電気時計、拡声、TV	給排水	加圧送水、公共水道、公共下水
					給湯	局所式（ｶﾞｽ）、貯湯式電気温水器
					ｶﾞｽ	都市ガス
					消火	屋内消火栓、粉末消火
劣化度調査	土砂溜まり、発錆、ｸﾗｯｸ、天井雨漏り跡		特になし		特になし	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴	1992.12	自動扉設置	2001	電話交換設備更新		
	1995.7	既存棟改修	2010.11	給排水改修	1991	給排水暖房設備
	2004.1	防水改修	2012.3	自家発設置	1995.7	既存棟改修
	2011.1	耐震・外壁補修	2014.3	太陽光発電設備設置	2010.12	給排水設備工事
	2013.7	外構舗装工事	2018.3	電話交換設備更新	2012.9	冷温水発生機修繕

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				12,960			12,960	0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	12,960	0	0	12,960	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は当面横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果（コメント）	耐震改修が必要な旧館は耐震改修済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・屋根外壁修繕（工事） ・自火報設備改修（設計）	・自動制御設備改修（設計・工事）	・自家用発電設備OH ・自火報設備改修（工事）	・受変電設備改修（工事） ・太陽光発電改修（設計工	・電話交換設備停電用蓄電池更新（工事）	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源（見込）】	計：170,397千円 内訳 屋根外壁修繕工事（167,602千円） 自火報設備改修工事設計（902千円） 維持修繕（1,893千円） 財源：一般財源	計：33,089千円 内訳 自動制御設備改修工事（31,196千円） 維持修繕（1,893千円） 財源：一般財源	計：18,579千円 内訳 自家用発電設備OH（6,225千円） 自火報設備改修工事（10,461千円） 維持修繕（1,893千円） 財源：一般財源	計：38,363千円 内訳 受変電設備改修工事（5,914千円） 太陽光発電改修工事（30,556千円） 維持修繕（1,893千円） 財源：一般財源	計：2,993千円 内訳 電話交換設備停電用蓄電池更新工事（1,100千円） 維持修繕（1,893千円） 財源・一般財源	合計：263,421千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 35

施設名／棟名	釜石地区合同庁／新館			財産区分	行政財産
所在地	岩手県釜石市新町6番50号			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火区域内	用途地域	第一種居住地域
その他区域					
敷地面積	7,367.25㎡	建築面積	479.91㎡	延床面積	1,663.11㎡
構造	RC	階数	地上４階		
竣工年度（建築年月）	1995年8月	経過年数 R2.4.1現在	25		
利用状況	震災後2012年からの職員数の増は、震災復興への対応であるため、今後の復興の進捗状況によっては震災前の規模に戻る可能性もある。 2000年　217人　→2011年　201人　→2012年　272人　→2020年　263人				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。				

	建築		電気		機械	
主な設備	屋根	シート防水	受変電	屋外形	冷暖房	冷温水（中央）、局所（FF、エアコン）
	外壁	Co打放+吹付	発電	屋外ディーゼル	熱源	直吸収冷温水機
	床	モルタル直均し等、ビニル床タイル類	電灯	一般形	空調	ユニット、パッケージ、ファンコイルユニット
	壁	壁紙、パーテイション	警報	P形、副受信機	換気	三種
			構内交換	電子交換機	ポンプ	空調用ポンプ、オイルポンプ
	天井	岩綿吸音板、金属製	EV	常用EV	自動制御	中央式監視制御
			その他	電気時計設備、拡声、TV	給排水	加圧送水、公共水道、公共下水道
					給湯	局所式、ガス、貯湯式電気温水器
					ガス	都市ガス
					消火	消火ポンプ
劣化度調査	土砂溜まり、排水不良、クラック、塗装剥離、雨漏り跡		特になし		特になし	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴	2013	構内舗装工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は当面横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】

項目	内容
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果（コメント）	耐震改修が必要な旧館は耐震改修済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

項目	内容
長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	計：815千円 内訳 維持修繕費（815千円） 財源：一般財源	計：815千円 内訳 維持修繕費（815千円） 財源：一般財源	計：815千円 内訳 維持修繕費（815千円） 財源：一般財源	計：815千円 内訳 維持修繕費（815千円） 財源：一般財源	計：815千円 内訳 維持修繕費（815千円） 財源：一般財源	合計：4,075千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 36

施設名／棟名	釜石地区合同庁舎／公用車車庫A			財産区分	行政財産
所在地	岩手県釜石市新町6番50号			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	7,367.25㎡	建築面積	371㎡	延床面積	371㎡
構　　造	S	階　数	地上1階		
竣工年度（建築年月）	1978年3月	経過年数 R2.4.1現在	42		
利用状況	震災後2012年からの職員数の増は、震災復興への対応であるため、今後の復興の進捗状況によっては震災前の規模に戻る可能性もある。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペースはあまりない状況である。				

	建築	電気	機械
主な設備			
劣化度調査	屋根鉄骨部発錆	特になし	特になし
定期点検	同上	同上	同上
修繕工事履歴			

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は当面横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果（コメント）	長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	計：182千円 内訳 維持修繕費（182千円） 財源：一般財源	計：182千円 内訳 維持修繕費（182千円） 財源：一般財源	計：182千円 内訳 維持修繕費（182千円） 財源：一般財源	計：182千円 内訳 維持修繕費（182千円） 財源：一般財源	計：182千円 内訳 維持修繕費（182千円） 財源：一般財源	合計：910千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 37

施設名／棟名	釜石地区合同庁舎／車庫B・倉庫			財産区分	行政財産
所在地	岩手県釜石市新町6番50号			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	7,367.25㎡	建築面積	336㎡	延床面積	623㎡
構　　造	S	階　　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1978年3月	経過年数 R2.4.1現在	42		
利用状況	震災後2012年からの職員数の増は、震災復興への対応であるため、今後の復興の進捗状況によっては震災前の規模に戻る可能性もある。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペースはあまりない状況である。				

	建築	電気	機械
主な設備			
劣化度調査	天井ロックウール落下軒天塗装剥離、手すり発錆、外部階段発錆	特になし	特になし
定期点検	同上	同上	同上
修繕工事履歴			

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は当面横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果（コメント）	長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：305千円 内訳 維持修繕費（305千円） 財源：一般財源	計：305千円 内訳 維持修繕費（305千円） 財源：一般財源	計：305千円 内訳 維持修繕費（305千円） 財源：一般財源	計：305千円 内訳 維持修繕費（305千円） 財源：一般財源	計：305千円 内訳 維持修繕費（305千円） 財源：一般財源	合計：1,525千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 38

施設名／棟名	宮古地区合同庁舎	財産区分	行政財産
所在地	岩手県宮古市五月町2丁目7番	施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内　防火地域：準防火地域	用途地域	第二種住居地域
その他区域			
敷地面積	9,379.05㎡　建築面積：1,878.38㎡	延床面積	5,196.81㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	3
竣工年度（建築年月）	1979年3月	経過年数 R2.4.1現在	41
利用状況	職員数は振興局再編で規模縮小したものの、震災後一時期急増した。減少傾向にあるが、現在はまだ震災前の規模に戻っていない。 2000年　296人　→2011年　267人　→2012年　326人　→2020年　288人		
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。		

主な仕様・設備	建築		電気		機械	
	屋根	金属	受変電	キュービクル式	冷暖房	冷温水方式、エアコン
	外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放+吹付	発電	ディーゼル	熱源	直吸収冷温水機
	床	Pタイル	電灯	一般形、省エネ型	空調	ﾕﾆｯﾄ、ﾊﾟｯｹｰｼﾞ、ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ
	壁	ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	警報		換気	三種、一種
	天井	岩綿吸音板、吹付類	構内交換		ﾎﾟﾝﾌﾟ	空調、オイル、揚水
			EV	乗用EV	自動制御	中央監視
			その他	電気時計設備	給排水	高置水槽方式、加圧送水方式
				テレビ共同受信設備等	給湯	局所式
					ｶﾞｽ	
					消火	屋内消火栓、不活性ガス、粉末
劣化度調査	鉄骨塗装剥離・発錆、外壁浮き（塔屋）、天井材外れ、敷地全体地盤沈下、防水シート剥がれ（機械棟）		非常灯不点灯箇所あり			
定期点検	同上		同上			
修繕工事履歴	1992.3	エレベーター設置他工事	2003	電話交換機設備更新工事	1995.3	冷房機器設置工事
	2002.11	屋上防水等改修工事	2012.3	非常放送用設備更新工事	2004	空調・英世知設備改修工事
	2012	クラック補修、舗装補修等（震災被災	2012.3	自家用発電設備改修工事	2018.2	ガス系消火設備更新工事
	2015.4	置き屋根塗装改修	2015.3	電話交換機設備更新工事	2018.11	地下タンク内面FRPﾗｲﾆﾝｸﾞ工事
			2017.2	自火報設備更新工事		

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				3,834		3,834	
H29	0				0				8,046		8,046	
H28	0				3,534			3,534	0			
H27	20,956		20,956		0				0			
計	20,956	0	20,956	0	3,534	0	0	3,534	11,880	0	11,880	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は当面横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果（コメント）	耐震改修は不要であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・自動制御設備改修（工事） ・昇降機設備改修（工事）	・電話交換設備停電用蓄電池更新（工事）	・受変電設備改修 （工事） ・高圧区分開閉器改修（工事） ・自家発電設備（OH）	・自家発電設備用蓄電池更新（工事） ・照明設備改修（工事）	・屋根外壁修繕（設計）	
	日常点検に基づく維持修繕 →（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：43,510千円 内訳 自動制御設備改修工事（11,110千円） 昇降機設備改修工事（29,854千円） 維持修繕費（2,546千円） 財源：一般財源	計：3,371千円 内訳 電話交換設備停電用蓄電池更新工事（825千円） 維持修繕費（2,546千円） 財源：一般財源	計：13,830千円 内訳 高圧区分開閉器改修工事（968千円） 受変電設備更新工事（4,091千円） 自家発電設備OH（6,225千円） 維持修繕費（2,546千円） 財源：一般財源	計：53,345千円 内訳 自家発始動用蓄電池更新 （463千円） 照明設備改修工事（50,336千円） 維持修繕費（2,546千円） 財源：一般財源	計：9,267千円 内訳 屋根外壁修繕工事　設計（6,721千円） 維持修繕費（2,546千円） 財源：一般財源	合計：123,323千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 39

施設名／棟名	宮古地区合同庁舎 倉庫			財産区分	行政財産
所在地	岩手県宮古市五月町2丁目7番			施設類型	庁舎
都市計画区域	内	防火地域	準防火地域	用途地域	第二種住居地域
その他区域					
敷地面積	9,379.05㎡	建築面積	164.02㎡	延床面積	298.62㎡
構造	鉄骨造り	階数	2		
竣工年度（建築年月）	1979年3月	経過年数 R2.4.1現在	41		
利用状況	物置、事務室（労働委員会）として利用している。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	現状の利用方法のほか、有効活用は難しい。				

	建築		電気		機械	
主な仕様・設備	屋根	折板金属	受変電	−	冷暖房	−
	外壁	吹付	発電	−	熱源	−
	床	土間モルタル	電灯	一般形、省エネ型	空調	−
	壁	石膏ボード	警報	−	換気	−
	天井	石綿吸音板等	構内交換	−	ポンプ	−
			EV	−	自動制御	−
			その他	−	給排水	−
					給湯	−
					ガス	−
					消火	−
劣化度調査	地盤沈下					
定期点検	同上					
修繕工事履歴						

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	中
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果（コメント）	建物周りの地盤沈下が進行している。物置及び労働委員会の事務室としてのニーズはあるが、庁舎に集約などの検討は必要と思われる。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	計：146千円 内訳 維持修繕費 146千円 財源：一般財源	計：146千円 内訳 維持修繕費 146千円 財源：一般財源	計：146千円 内訳 維持修繕費 146千円 財源：一般財源	計：146千円 内訳 維持修繕費 146千円 財源：一般財源	計：146千円 内訳 維持修繕費 146千円 財源：一般財源	合計：730千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 40

施設名／棟名	宮古地区合同庁舎 車庫			財産区分	行政財産
所在地	岩手県宮古市五月町2丁目7番			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第二種住居地域
その他区域					
敷地面積	9,379.05㎡	建築面積	544.14㎡	延床面積	544.14㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	1		
竣工年度（建築年月）	1979年3月	経過年数 R2.4.1現在	41		
利用状況	車庫として使用を継続している。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは継続するものと思われる。				

	建築		電気		機械	
主な仕様・設備	屋根	折板金属	受変電	－	冷暖房	－
	外壁	ALD	発電	－	熱源	－
	床	土間コンクリート	電灯	一般形	空調	－
	壁	－	警報	－	換気	－
	天井	－	構内交換	－	ﾎﾟﾝﾌﾟ	－
			EV	－	自動制御	－
			その他	－	給排水	－
					給湯	－
					ｶﾞｽ	－
					消火	ガス、粉末
劣化度調査	すり付け不良		－		パレット発錆、腐食、換気扇不良、ガス消火ﾌﾚｷ管発錆	
定期点検	同上		－		同上	
修繕工事履歴						

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	Ⅰ

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果（コメント）	建物、設備ともに劣化が見られ、駐車パレットは毎年修繕を実施している。駐車場としてのニーズは継続するため、引き続き修繕を実施する必要がある。また、更新計画について、検討が必要。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源(見込)】	計：267千円 内訳 維持修繕費 (267千円) 財源：一般財源	計：267千円 内訳 維持修繕費 (267千円) 財源：一般財源	計：267千円 内訳 維持修繕費 (267千円) 財源：一般財源	計：267千円 内訳 維持修繕費 (267千円) 財源：一般財源	計：267千円 内訳 維持修繕費 (267千円) 財源：一般財源	合計：1,335千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 41

施設名／棟名	宮古地区合同庁舎　機械室	財産区分	行政財産
所在地	岩手県宮古市五月町2丁目7番	施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内 / 防火地域：準防火地域	用途地域	第二種住居地域
その他区域			
敷地面積	9,379.05㎡ / 建築面積：149㎡	延床面積	149㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	1
竣工年度（建築年月）	1979年3月	経過年数 R2.4.1現在	41
利用状況	機械室として継続して使用中である。		
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	庁舎機能維持のため、ニーズは継続するものと思われる。		

主な仕様・設備

建築		電気		機械	
屋根	シート防水	受変電	キュービクル式	冷暖房	冷温水方式、エアコン
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放+吹付	発電	–	熱源	直吸収冷温水機
床	土間コンクリート	電灯	一般形	空調	ﾕﾆｯﾄ、ﾊﾟｯｹｰｼﾞ、ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ
壁	–	警報	–	換気	三種、一種
天井	–	構内交換	–	ﾎﾟﾝﾌﾟ	空調、オイル、揚水
		EV	–	自動制御	中央監視
		その他	–	給排水	–
				給湯	–
				ｶﾞｽ	–
				消火	粉末

	建築	電気	機械
劣化度調査	屋上シート防水劣化・剥がれ、外壁塗装剥離 ポーチモルタル剥離	–	–
定期点検	同上	–	–
修繕工事履歴			

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	Ⅰ

【総合判定】

項目	内容
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度2
評価結果（コメント）	屋上防水が劣化してきているため、修繕の検討が必要。長寿命化で継続使用する場合には、既に標準耐用年数を超過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要ある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：73千円 内訳 維持修繕費（73千円） 財源：一般財源	計：73千円 内訳 維持修繕費（73千円） 財源：一般財源	計：73千円 内訳 維持修繕費（73千円） 財源：一般財源	計：73千円 内訳 維持修繕費（73千円） 財源：一般財源	計：73千円 内訳 維持修繕費（73千円） 財源：一般財源	合計：365千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 42

施設名／棟名	岩泉地区合同庁舎　庁舎棟			財産区分	行政財産
所在地	下閉伊郡岩泉町岩泉字松橋24番３			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域
その他区域					
敷地面積	4,213.64㎡	建築面積	592.32㎡	延床面積	2,414.05㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	4		
竣工年度（建築年月）	1968年3月	経過年数 R2.4.1現在	52		

利用状況	職員数は振興局再編で規模縮小したものの台風災害の復旧対応で増加傾向にあるが、復旧が完了した後については、組織の規模縮小が見込まれる。 2000年 76人 →2011年 57人 →2016年 89人 →2020年 96人
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	組織規模の縮小及び物置等の整理により、余剰スペースを生み出すことは可能と思われる。

主な仕様・設備	建築		電気		機械	
	屋根	シート防水	受変電	キュービクル式	冷暖房	温水方式、エアコン
	外壁	モルタル+吹付	発電	ディーゼル	熱源	真空式温水発生器
	床	Pタイル、モルタル直均し、石張等	電灯	省エネ、LED型	空調	ファンコンベクター、パネルヒーター
	壁	塗装、壁紙等	警報	自火報P型、非常ベル	換気	一種、三種
	天井	岩綿吸音板、吹付等	構内交換	電子交換機	ポンプ	空調用、オイル用
			EV	乗用	自動制御	個別制御
			その他	電気時計、拡声、TV共同受信	給排水	加圧送水
					給湯	局所式、ガス湯沸器、電気温水器
					ガス	液化石油
					消火	屋内消火栓
劣化度調査	外構手摺コンクリートクラック、床・壁クラック、Pタイル歪み、パーティション歪み等		－		多目的トイレ故障、受水槽基礎コンクリート鉄筋かぶり不足	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴	1993.11	自動扉設置	1990.12	照明改修	1992.1	油配管改修
	1995.12	外壁改修	1994.3	冷房機器設置電気工事	1994.1	ボイラー改修
	2000.11	屋上防水改修	2015.12	自家用発電設備設置	2000.9	冷房機器設置
	2017.3	耐震、外壁、防水改修	2018.3	電話交換設備更新	2000.11	空調設備改修
			2018.3	電話交換設備更新	2003.3	下水道切替

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				5,783			5,783	0			
H30	0				0				0			
H29	219,788		219,788		10,799			10,799	0			
H28	0				0				0			
H27	0				32,989		32,989		0			
計	219,788	0	219,788	0	49,571	0	32,989	16,582	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は増加傾向にあるが、台風災害の復旧が完了した後については、職員数の縮小が見込まれる。
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　／　優先度２
評価結果（コメント）	耐震改修は実施済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと、築後52年経過し内装仕上げの劣化も目立つことから建替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には改修工事等から20年程度経過し、既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・自火報設備更新（設計）		・自火報設備更新（工事）	・空調設備更新（設計）	・電話交換設備停電用蓄電池更新（工事）	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源（見込）】	計： 1,183千円 内訳 維持修繕費（1,183千円） 財源：一般財源	計： 1,183千円 内訳 維持修繕費（1,183千円） 財源：一般財源	計：7,398千円 内訳 自火報設備更新工事（6,215千円） 維持修繕費（1,183千円） 財源：一般財源	計：2,855千円 内訳 空調設備更新工事　設計（1,672千円） 維持修繕費（1,183千円） 財源：一般財源	計：23,499千円 内訳 電話交換設備停電用蓄電池更新工事（825千円） 空調設備更新工事（21,491千円） 維持修繕費（1,183千円） 財源：一般財源	合計：36,118千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 43

施設名／棟名	岩泉地区合同庁舎 車庫棟			財産区分	行政財産
所在地	下閉伊郡岩泉町岩泉字松橋24番3			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域
その他区域					
敷地面積	4,213.64㎡	建築面積	375㎡	延床面積	375㎡
構造	鉄骨造	階数	1		
竣工年度（建築年月）	1968年3月	経過年数 R2.4.1現在	52		
利用状況	車庫として継続使用している状況である。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは継続するものと思われる。				

主な仕様・設備	建築		電気		機械	
	屋根	波板スレート	受変電	–	冷暖房	–
	外壁	ALC	発電	–	熱源	–
	床	土間ﾓﾙﾀﾙ	電灯	一般形	空調	–
	壁	–	警報	–	換気	–
	天井	–	構内交換	–	ﾎﾟﾝﾌﾟ	–
			EV	–	自動制御	–
			その他	–	給排水	加圧送水
					給湯	–
					ｶﾞｽ	–
					消火	–
劣化度調査	屋根スレートの劣化、外壁の割れ、クラック		特に無し		特に無し	
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴						

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	ニーズは継続
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 ／ 優先度2
評価結果（コメント）	施設の劣化は進行しているが、車庫としてのニーズは継続するものと思われる。敷地内に土木部の車庫などもあることから、集約なども視野に検討が必要と思われる。

長寿命化等対策の方向性	外装材の劣化が著しく、継続使用するためには全面的な修繕が必要となる。長寿命化については、庁舎の今後の整備方針に応じて検討する必要があるため、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計： 184千円 内訳 維持修繕費（184千円） 財源：一般財源	計： 184千円 内訳 維持修繕費（184千円） 財源：一般財源	計： 184千円 内訳 維持修繕費（184千円） 財源：一般財源	計： 184千円 内訳 維持修繕費（184千円） 財源：一般財源	計： 184千円 内訳 維持修繕費（184千円） 財源：一般財源	合計：920千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 44

施設名／棟名	久慈地区合同庁舎			財産区分	行政財産
所在地	久慈市八日町１－１			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	近隣商業地域
その他区域					
敷地面積	14,720.69㎡	建築面積	1791.25㎡	延床面積	8147.45㎡
構　造	SRC	階　数	地上8階		
竣工年度（建築年月）	1998年10月1日	経過年数 R2.4.1現在	21		
利用状況	職員数は振興局再編で規模縮小したものの、震災後一時期急増した。現在減少傾向にあるものの震災前の規模には戻っていない。 2000年　298人　→2011年　243人　→2012年　271人　→2020年　257人				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。 必要に応じて、閉庁日に駐車場を開放するなど敷地の有効活用に努めている。				

	①建築設備	②電気設備	③機械設備
主な設備	・屋根シート防水 ・外壁タイル貼	・受変電キュービクル ・自家発電機 ・無停電電源装置 ・電話交換機設備 ・構内放送設備 ・エレベーター	・直吸収冷温水機 ・ファンコイルユニット ・各種ポンプ類 ・各種タンク類 ・温水発生機 ・消火設備
劣化度調査	未調査	未調査	未調査
定期点検	・屋上防水劣化 ・外壁タイル劣化 ・駐車場屋上排水溝詰まり		・機械室吸収音板結露
修繕工事履歴			

直近5年の維持修繕・改修費	①計	維持修繕	改修	更新	②計	維持修繕	改修	更新	③計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

項目	評価	
建物性能	高(新)	
劣化度診断	A	
利用度	高	
1次評価	維持管理	
重要性	高	
見通し	無	
2次評価	Ⅰ	

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度3
評価結果（コメント）	施設サービスの重要性は高いことから、引き続き適切な管理を行い性能を維持していく必要がある。 築後21年経過し、標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、計画的に修繕・改修を実施し、長寿命化を図るものとする。	

長寿命化等対策の方向性	築後22年経過し、標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、計画的に修繕・改修を実施し、長寿命化を図るものとする。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・放送設備更新(工事) ・電話交換設備更新(工事)	・屋上部分修繕(工事) ・自動制御設備更新(工事)	・自家発電設備(OH)	・屋根外壁改修(設計) ・電力中央監視装置改修(工事) ・電灯設備更新(工事) ・自火報更新(工事)	・屋根外壁改修(工事) ・受変電設備改修(工事)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計：43,603千円 内訳 放送設備更新工事 （19,745千円） 電話交換機設備更新工事 （19,866千円） 維持修繕費 （3,992千円） 財源：一般財源	計：44,960千円 内訳 屋上防水部分修繕 （9,552千円） 自動制御設備更新工事 （31,416千円） 維持修繕費 （3,992千円） 財源：一般財源	計：33,582千円 内訳 自家発電設備OH （29,590千円） 維持修繕費 （3,992千円） 財源：一般財源	計：80,175千円 内訳 屋根外壁設計 （8,536千円） 電力中央監視装置改修工事 （2,037千円） 電灯設備更新工事 （50,336千円） 自火報設備更新工事 （15,274千円） 維持修繕費 （3,992千円） 財源：一般財源	計：137,541千円 内訳 屋根外壁工事 （131,512千円） 受変電設備改修工事 （2,037千円） 維持修繕費 （3,992千円） 財源：一般財源	合計：339,861千円

個別施設計画(個票)

県庁・合庁№ 45

施設名／棟名	久慈地区合同庁舎(立体駐車場)			財産区分	行政財産
所在地	久慈市八日町1－1			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画地域内	防火地域	準防火地域	用途地域	近隣商業地域
その他区域					
敷地面積	14,720.69㎡	建築面積	203.61㎡	延床面積	1,112.99㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上1階		
竣工年度（建築年月）	1999年10月	経過年数 R2.4.1現在	21		
利用状況	駐車場として利用されている。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も駐車場として利用されることが想定される。				

	建築	電気	機械
主な仕様・設備			
劣化度調査			
定期点検			
修繕工事履歴			

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	今後も必要となる見通し
2次評価	Ⅳ

【総合判定】

項目	内容
総合判定／優先度	維持管理　／　優先度3
評価結果（コメント）	長期に亘り公用車を保管する場所が必要であることから、適宜修繕を行い現状維持に努めることが妥当である。

長寿命化等対策の方向性	適宜修繕を行い現状維持に努め、長寿命化を図るものとする。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）				屋根・外壁改修工事ほか	
概算費用【充当財源(見込)】	計:646千円 維持修繕費 (646千円) 財源:一般財源	計:646千円 維持修繕費 (646千円) 財源:一般財源	計:646千円 維持修繕費 (646千円) 財源:一般財源	計:646千円 維持修繕費 (646千円) 財源:一般財源	計:646千円 内訳 屋根外壁改修工事 (工事費は庁舎に含む) 維持修繕費 (646千円) 財源:一般財源	合計:3,230千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁№　46

施設名／棟名	久慈地区合同庁舎（倉庫）			財産区分	行政財産
所在地	久慈市八日町１－１			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画地域内	防火地域	準防火地域	用途地域	近隣商業地域
その他区域					
敷地面積	14,720.69㎡	建築面積	189㎡	延床面積	283.5㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1998年12月	経過年数 R2.4.1現在	21		
利用状況	物品保管庫として利用されている。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も物品保管庫として利用されることが想定される。				

	建築	電気	機械
主な仕様・設備			
劣化度調査			
定期点検			
修繕工事履歴			

直近5年の維持修繕・改修費	建築 計	維持修繕	改修	更新	電気 計	維持修繕	改修	更新	機械 計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
１次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	今後も必要となる見通し
２次評価	Ⅳ

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理　／　優先度３
評価結果（コメント）	長期に亘り物品を保管する場所が必要であることから、適宜修繕を行い現状維持に努めることが妥当である。

長寿命化等対策の方向性	適宜修繕を行い現状維持に努め、長寿命化を図るものとする。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →	→	→	→	屋根外壁改修工事	
概算費用【充当財源（見込）】	計：139千円 内訳 維持修繕費 （139千円） 財源：一般財源	計：139千円 内訳 維持修繕費 （139千円） 財源：一般財源	計：139千円 内訳 維持修繕費 （139千円） 財源：一般財源	計：139千円 内訳 維持修繕費 （139千円） 財源：一般財源	計：139千円 内訳 屋根外壁改修工事 （工事費は庁舎に含む） 維持修繕費 （139千円） 財源：一般財源	合計：695千円

個別施設計画（個票）

県庁・合庁No. 47

施設名／棟名	二戸地区合同庁舎			財産区分	行政財産
所在地	岩手県二戸市石切所字荷渡6番3			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	近隣商業地域
その他区域					
敷地面積	10,115.9㎡	建築面積	2,030.73㎡	延床面積	10,769.89㎡
構　　造	鉄骨鉄筋コンクリート造			階　数	9
竣工年度（建築年月）	2003年7月			経過年数 R2.4.1現在	17
利用状況	職員数は振興局再編で規模縮小したものの、2013年より空いたスペースに県との業務連携を図る目的で二戸市の行政組織の一部が入居している。 2000年　270人　→2011年　211人　→2013年　253人（二戸市入居）　→2020年　252人				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、有効活用は難しいが未利用設備等の有効活用が望まれる。				

	建築		電気		機械	
主な仕様・設備	屋根	シート防水	受変電	屋内型	冷暖房	冷温水方式、局所冷房方式
	外壁	タイル貼	発電	ディーゼル	熱源	直吸収冷温水機、ﾁﾘﾝｸﾞユニット
	床	Pタイル、カーペット類、OAフロア	電灯	省エネ型	空調	ﾕﾆｯﾄ、ﾊﾟｯｹｰｼﾞ、ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ
	壁	ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ等	警報	P型	換気	三種、一種
	天井	石膏ボード、石綿吸音板	構内交換	電子交換機	ﾎﾟﾝﾌﾟ	空調、オイル、真空給水等
			EV	乗用EV	自動制御	中央監視
			その他	電気時計設備	給排水	加圧送水方式
				テレビ共同受信設備等	給湯	中央式、局所式
					ｶﾞｽ	液化石油ガス
					消火	屋内・屋外消火栓、連結送水管、不活性ガス、粉末
劣化度調査						
定期点検	同上		同上		同上	
修繕工事履歴			2013 2019.9	太陽光発電ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅｰ更新 電話交換設備更新	2013.3	地価タンク貯蔵所外殻修繕

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				15,847		15,847		0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	15,847	0	15,847	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	Ⅰ

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理　／　優先度　３
評価結果（コメント）	施設サービスの重要性は高いことから、引き続き適切な管理を行い性能を維持していく必要がある。 築後17年経過し、標準耐用年数を経過している設備・機器は少ないが、計画的に修繕・改修を実施し、長寿命化を図るものとする。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	・放送設備改修（設計） ・温水発生機膨張ﾀﾝｸ改修（工事） ・自動制御設備改修（設計）	・自家発電設備（OH）	・放送設備改修（工事）	・高圧区分開閉器改修（工事） ・自火報設備改修（設計）	・自火報設備改修（工事）	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源（見込）】	計：36,570千円 内訳 放送設備改修工事設計（1,672千円） 温水発生機膨張ﾀﾝｸ改修（1,516千円） 自動制御設備改修工事 設計・工事（28,105千円） 維持修繕費（5,277千円） 財源：一般財源	計：10,789千円 内訳 自家発電設備OH（5,512千円） 維持修繕費（5,277千円） 財源：一般財源	計：17,113千円 内訳 放送設備改修工事（11,836千円） 維持修繕費（5,277千円） 財源：一般財源	計：8,049千円 内訳 高圧区分開閉器改修工事（968千円） 自火報設備改修工事 設計（1,804千円） 維持修繕費（5,277千円） 財源：一般財源	計：20,551千円 内訳 自火報設備改修工事（15,274千円） 維持修繕費（5,277千円） 財源：一般財源	合計：93,072千円

個別施設計画（個票）

公舎No.　1

施設名／棟名	知事公舎			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市東中野町８０番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	16,483.26㎡	建築面積	742.96㎡	延床面積	742.96㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上1階		
竣工年度 （建築年月）	1971年9月16日	経過年数 R2.4.1現在	49		
利用状況	R2年度は1戸中0戸入居している。				
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	知事は市内居住のためR2年度は空室。（ただし、日中の使用はある。） 今後も職員公舎として必要である。				

主な設備		
	受変電	配電盤（屋内形）
	発　電	
	警　報	自動火災報知設備（P形）
	構内交換	
	その他	電気融雪（一部軒、樋）、誘導支援装置、赤外線感知設備
	Ｅ Ｖ	
	冷暖房	冷温水方式、局所暖房方式（FFストーブ等）
	熱　源	鋼製ボイラー（水蓄熱、開放式）
	給　水	自動給水ポンプユニット、FRP製・公共水道
	排　水	公共下水道
	給　湯	ガス湯沸器
	消　火	粉末消火

劣化度調査	なし
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）
修繕工事履歴	

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	757	757										
H30	717	717										
H29	645	645										
H28	99	99										
H27	138	138										
計	2,355	2,355										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果 （コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）			受変電設備更新工事		
概算費用 【充当財源（見込）】	計：364千円 内訳 維持修繕費（364千円） 財源：一般財源	計：364千円 内訳 維持修繕費（364千円） 財源：一般財源	計：364千円 内訳 維持修繕費（364千円） 財源：一般財源	計：4,558千円 内訳 受変電設備更新工事（4,194千円） 維持修繕費（364千円） 財源：一般財源	計：364千円 内訳 維持修繕費（364千円） 財源：一般財源	維持修繕費 6,014千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　公舎No.2

施設名／棟名	雑務手公舎			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市東中野町８０番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	16,483.26㎡	建築面積	88.04㎡	延床面積	140.21㎡
構　造	コンクリートブロック造	階　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1971年9月16日	経過年数 R2.4.1現在	49		
利用状況	R2年度は1戸中0戸入居している。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	知事公館・公舎の管理人は河南公舎に入舎しているため、R2年度は空室。 今後も職員公舎として必要である。				
主な設備　給水	揚水ポンプ、FRP製・公共水道				
主な設備　排水	公共下水道				
主な設備　給湯	ガス湯沸器				
主な設備　消火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検					
修繕工事履歴					

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計	0	0										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 69千円 財源：一般財源	維持修繕費 69千円 財源：一般財源	維持修繕費 69千円 財源：一般財源	維持修繕費 69千円 財源：一般財源	維持修繕費 69千円 財源：一般財源	維持修繕費 345千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　　公舎No.3

施設名／棟名	西青山合同公舎1号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市月が丘二丁目98番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	5762.87㎡	建築面積	263.68㎡	延床面積	791.04㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1963年9月7日	経過年数 R2.4.1現在	57		
利用状況	R2年度は9戸中4戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	用途廃止も含め検討				
主な設備 受変電	配電盤（屋内形）				
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、非常用照明装置（蛍光灯、蓄電池）				
E V					
給　水	高置水槽方式、自動給水ポンプユニット、FRP製・公共水道				
排　水	公共下水道				
給　湯	ガス湯沸器				
消　火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）				
修繕工事履歴	H27盛岡地区西青山合同公舎1･2号棟屋根ほか塗装工事 R1盛岡地区西青山合同公舎1～3号棟給湯設備更新工事 R1西青山合同公舎水道メーター更新工事				

直近5年の維持修繕･改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	8,982	271		8,711								
H30	328	328										
H29	279	279										
H28	66	66										
H27	4,836	86	4,750									
計	14,490	1,030	4,750	8,711								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	B
利用度	高～中
1次評価	修繕･改修
重要性	40：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕･改修	優先度4
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕･改修を行いながら、施設を維持管理。 ただし将来的には同団地にある3号棟～5号棟へ集約の上、用途廃止（時期未定）する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 388千円 財源：一般財源	維持修繕費 388千円 財源：一般財源	維持修繕費 388千円 財源：一般財源	維持修繕費 388千円 財源：一般財源	維持修繕費 388千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,940千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　　　　公舎No.4

施設名／棟名	西青山合同公舎2号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市月が丘二丁目98番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	5762.87㎡	建築面積	263.43㎡	延床面積	790.3㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上３階		
竣工年度（建築年月）	1963年9月7日	経過年数 R2.4.1現在	57		
利用状況	R2年度は9戸中5戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	用途廃止も含め検討				

主な設備		
	受変電	配電盤（屋内形）
	その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、非常用照明装置（蛍光灯、蓄電池）
	ＥＶ	
	給水	高置水槽方式、自動給水ポンプユニット、FRP製・公共水道
	排水	公共下水道
	給湯	ガス湯沸器
	消火	粉末消火

劣化度調査	なし
定期点検	設備点検１回／年
修繕工事履歴	H27盛岡地区西青山合同公舎1・2号棟屋根ほか塗装工事 R1盛岡地区西青山合同公舎1～3号棟給湯設備更新工事 R1西青山合同公舎水道メーター更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	8,879	168		8,711								
H30	129	129										
H29	308	308										
H28	87	87										
H27	5,459	709	4,750									
計	14,862	1,401	4,750	8,711								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	B
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	40：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度4
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理。 ただし将来的には同団地にある3号棟～5号棟へ集約の上、用途廃止（時期未定）する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,935千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票） 公舎No.5

施設名／棟名	西青山合同公舎3号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市月が丘二丁目98番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	5762.87㎡	建築面積	263.33㎡	延床面積	789.99㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1965年8月1日	経過年数 R2.4.1現在	55		
利用状況	R2年度は9戸中5戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 受変電	配電盤（屋内形）				
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、非常用照明装置（蛍光灯、蓄電池）				
E V					
給　水	高置水槽方式、自動給水ポンプユニット、FRP製・公共水道				
排　水	公共下水道				
給　湯	ガス湯沸器				
消　火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）				
修繕工事履歴	R1盛岡地区西青山合同公舎1～3号棟給湯設備更新工事 R1西青山合同公舎水道メーター更新工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	8,958	247		8,711								
H30	134	134										
H29	247	247										
H28	10	10										
H27	144	144										
計	9,493	782		8,711								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	B
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	40：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度4
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,935千円 財源：一般財源

個別施設計画(個票)　　公舎No.6

施設名／棟名	西青山合同公舎4号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市月が丘二丁目98番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	5762.87㎡	建築面積	263.68㎡	延床面積	789.99㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上３階		
竣工年度(建築年月)	1966年4月20日	経過年数 R2.4.1現在	54		
利用状況	R2年度は9戸中8戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 受変電	配電盤(屋内形)				
その他	弱電設備:テレビ共同受信設備、非常用照明装置(蛍光灯、蓄電池)				
ＥＶ					
給　水	高置水槽方式、自動給水ポンプユニット、FRP製・公共水道				
排　水	公共下水道				
給　湯	ガス湯沸器				
消　火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年(前回実施:H30)				
修繕工事履歴	R1西青山合同公舎水道メーター更新工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	575	302		273								
H30	772	772										
H29	70	70										
H28	331	331										
H27	34	34										
計	1,782	1,509		273								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	B
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	40:代替施設有(家賃アパート、家賃補助)
見通し	△15
2次評価	Ⅳ(40点未満)

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度4
評価結果(コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕(令和2年度～令和6年度)					
概算費用【充当財源(見込)】	維持修繕費 387千円 財源:一般財源	維持修繕費 387千円 財源:一般財源	維持修繕費 387千円 財源:一般財源	維持修繕費 387千円 財源:一般財源	維持修繕費 387千円 財源:一般財源	維持修繕費 1,935千円 財源:一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.7

項目	内容	項目	内容	項目	内容
施設名／棟名	西青山合同公舎5号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市月が丘二丁目98番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	5762.87㎡	建築面積	263.68㎡	延床面積	789.99㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上３階		
竣工年度（建築年月）	1966年4月20日	経過年数 R2.4.1現在	54		

項目	内容
利用状況	R2年度は9戸中6戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。

主な設備	内容
受変電	配電盤（屋内形）
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、非常用照明装置（蛍光灯、蓄電池）
Ｅ Ｖ	
給　水	高置水槽方式、自動給水ポンプユニット、FRP製・公共水道
排　水	公共下水道
給　湯	ガス湯沸器
消　火	粉末消火

項目	内容
劣化度調査	なし
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）
修繕工事履歴	R1西青山合同公舎水道メーター更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	707	434		273								
H30	125	125										
H29	83	83										
H28	111	111										
H27	34	34										
計	1,060	787		273								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	B
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	40：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

項目	内容	
総合判定／優先度	修繕・改修	優先度4
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理	

項目	内容
長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 387千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,935千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.8

施設名／棟名	東中野合同公舎1号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市東中野町３１番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	7,517.52㎡	建築面積	265.56㎡	延床面積	796.68㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上３階		
竣工年度（建築年月）	1967年6月20日	経過年数 R2.4.1現在	53		
利用状況	R2年度は18戸中18戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備	
受変電	配電盤（屋外形）
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、非常用照明装置（蛍光灯、蓄電池）
ＥＶ	
給　水	加圧送水方式、自動給水ポンプユニット、ステンレス製・公共水道
排　水	公共下水道
給　湯	ガス湯沸器
消　火	粉末消火

項目	内容
劣化度調査	なし
定期点検	設備点検１回／年 建築物点検１回／３年（前回実施：H30）
修繕工事履歴	R1東中野合同公舎水道メーター更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	708	246		462								
H30	517	517										
H29	454	454										
H28	44	44										
H27	183	183										
計	1,906	1,444		462								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,950千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　　公舎No.9

施設名／棟名	東中野合同公舎2号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市東中野町３１番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	7,517.52㎡	建築面積	265.56㎡	延床面積	796.68㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上３階		
竣工年度（建築年月）	1967年6月20日	経過年数 R2.4.1現在	53		

項目	内容
利用状況	R2年度は18戸中18戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備 受変電	配電盤（屋外形）
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、非常用照明装置（蛍光灯、蓄電池）
主な設備 ＥＶ	
主な設備 給水	加圧送水方式、自動給水ポンプユニット、ステンレス製・公共水道
主な設備 排水	公共下水道
主な設備 給湯	ガス湯沸器
主な設備 消火	粉末消火
劣化度調査	なし
定期点検	設備点検１回／年 建築物点検１回／３年（前回実施：H30）
修繕工事履歴	R1東中野合同公舎水道メーター更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	589	127		462								
H30	144	144										
H29	93	93										
H28	125	125										
H27	87	87										
計	1,038	576		462								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,950千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.10

施設名／棟名	東中野合同公舎3号棟	財産区分	行政財産
所在地	盛岡市東中野町３１番	施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内　防火地域：指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域			
敷地面積	7,517.52㎡　建築面積：265.56㎡	延床面積	796.68㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上３階
竣工年度（建築年月）	1967年6月20日	経過年数 R2.4.1現在	52

項目	内容
利用状況	R2年度は18戸中17戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備：受変電	配電盤（屋外形）
主な設備：その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、非常用照明装置（蛍光灯、蓄電池）
主な設備：ＥＶ	
主な設備：給水	加圧送水方式、自動給水ポンプユニット、ステンレス製・公共水道
主な設備：排水	公共下水道
主な設備：給湯	ガス湯沸器
主な設備：消火	粉末消火
劣化度調査	なし
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）
修繕工事履歴	R1東中野合同公舎水道メーター更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	623	161		462								
H30	503	503										
H29	144	144										
H28	163	163										
H27	79	79										
計	1,512	1,050		462								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,950千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　公舎No.11

施設名／棟名	東中野合同公舎4号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市東中野町３１番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	7,517.52㎡	建築面積	265.56㎡	延床面積	796.68㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上３階		
竣工年度（建築年月）	1967年6月20日	経過年数 R2.4.1現在	52		
利用状況	R2年度は18戸中17戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備　受変電	配電盤（屋外形）				
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、非常用照明装置（蛍光灯、蓄電池）				
ＥＶ					
給　水	加圧送水方式、自動給水ポンプユニット、ステンレス製・公共水道				
排　水	公共下水道				
給　湯	ガス湯沸器				
消　火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	設備点検１回／年 建築物点検１回／３年（前回実施：H30）				
修繕工事履歴	R1東中野合同公舎水道メーター更新工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	666	204		462								
H30	373	373										
H29	73	73										
H28	37	37										
H27	54	54										
計	1,203	741		462								

【優先度評価】

項目	評価		
建物性能	高～中		
劣化度診断	A		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性	45：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）		
見通し	△15		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6		
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理			

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,950千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　　公舎No.12

施設名／棟名	飯岡合同公舎1号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市北飯岡1丁目5－16			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	5,165.33㎡	建築面積	265.6㎡	延床面積	796.68㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1969年7月11日	経過年数 R2.4.1現在	51		
利用状況	R2年度は18戸中18戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 受変電	配電盤（屋外形）				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、非常用照明装置（蛍光灯、蓄電池）				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	加圧送水方式、自動給水ポンプユニット、ステンレス製・公共水道				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	ガス湯沸器				
主な設備 消火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）				
修繕工事履歴	R1飯岡合同公舎水道メーター更新工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	1,077	338		739								
H30	384	384										
H29	145	145										
H28	26	26										
H27	486	486										
計	2,118	1,379		739								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,950千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.13

施設名／棟名	飯岡合同公舎3号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市北飯岡1丁目5－16			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	5,165.33㎡	建築面積	265.6㎡	延床面積	796.68㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1971年1月19日	経過年数 R2.4.1現在	49		
利用状況	R2年度は18戸中17戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備	
受変電	配電盤（屋外形）
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、非常用照明装置（蛍光灯、蓄電池）
E V	
給　水	加圧送水方式、自動給水ポンプユニット、ステンレス製・公共水道
排　水	公共下水道
給　湯	ガス湯沸器
消　火	粉末消火

劣化度調査	なし
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）
修繕工事履歴	R1飯岡合同公舎水道メーター更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	1,036	297		739								
H30	576	576										
H29	142	142										
H28	660	660										
H27	39	39										
計	2,453	1,714		739								

【優先度評価】

建物性能	高～中		
劣化度診断	A		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性	45：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）		
見通し	△15		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6		
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。			

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,950千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.14

施設名／棟名	飯岡合同公舎5号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市北飯岡1丁目5－16			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	5,165.33㎡	建築面積	265.6㎡	延床面積	796.68㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1971年1月19日	経過年数 R2.4.1現在	49		
利用状況	R2年度は18戸中17戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 受変電	配電盤（屋外形）				
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、非常用照明装置（蛍光灯、蓄電池）				
E V					
給 水	加圧送水方式、自動給水ポンプユニット、ステンレス製・公共水道				
排 水	公共下水道				
給 湯	ガス湯沸器				
消 火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）				
修繕工事履歴	R1飯岡合同公舎水道メーター更新工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	1,045	306		739								
H30	354	354										
H29	428	428										
H28	312	312										
H27	105	105										
計	2,244	1,505		739								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 390千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,950千円 財源：一般財源

個別施設計画(個票)　　　公舎No.15

施設名／棟名	東中野寮1、2、3号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市東山一丁目414番1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	5,240.88㎡	建築面積	1,194.6㎡	延床面積	3,018.25㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上4階		
竣工年度 (建築年月)	1974年1月9日	経過年数 R2.4.1現在	46		
利用状況	R2年度は101戸中2戸入居している。 令和2年5月以降入居者ゼロ				
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	用途廃止予定				
主な設備 受変電	配電盤(屋内形)、キュービクル式				
警　報	自動火災報知設備(P形)、副受信機、非常ベル				
その他	弱電設備:テレビ共同受信設備、非常用照明装置(白熱灯、蛍光灯、蓄電池)、拡声設備				
E V					
給　水	高置水槽方式、自動供給ポンプユニット、FRP製・公共水道				
排　水	公共下水道				
給　湯	ガス湯沸器				
消　火	屋内消火栓、粉末消火、消火ポンプユニット、呼水槽				
劣化度調査	なし				
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年(前回実施:H30)				
修繕工事履歴					

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	200	200										
H30	364	364										
H29	96	96										
H28	59	59										
H27	289	289										
計	1,008	1,008										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	A
利用度	低
1次評価	用途廃止
重要性	40
見通し	△20
2次評価	Ⅳ(40点未満)

【総合判定】

総合判定／優先度	用途廃止　　優先度4
評価結果 (コメント)	老朽が進んでいること、入居者がなく利用度が低いことから廃止する。

長寿命化等対策の方向性	用途廃止

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	用途廃止					
概算費用 【充当財源(見込)】						

個別施設計画(個票)　　公舎No.16

施設名／棟名	東中野寮4号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市東山一丁目414番1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	5,240.88㎡	建築面積	217.57㎡	延床面積	892.66㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上4階		
竣工年度（建築年月）	1981年3月26日	経過年数 R2.4.1現在	39		
利用状況	R2年度は30戸中2戸入居している。 令和2年5月以降入居者ゼロ				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	用途廃止予定				
主な設備 受変電	配電盤(屋内形)、キュービクル式				
警　報	自動火災報知設備(P形)、副受信機、非常ベル				
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、非常用照明装置(白熱灯、蛍光灯、蓄電池)、拡声設備				
Ｅ Ｖ					
給　水	高置水槽方式、自動供給ポンプユニット、FRP製・公共水道				
排　水	公共下水道				
給　湯	ガス湯沸器				
消　火	屋内消火栓、粉末消火、消火ポンプユニット、呼水槽				
劣化度調査	なし				
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年(前回実施：H30)				
修繕工事履歴					

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	220	220										
H30	158	158										
H29	19	19										
H28	69	69										
H27	133	133										
計	600	600										

【優先度評価】

建物性能	中～低		
劣化度診断	A		
利用度	低		
1次評価	用途廃止		
重要性	40		
見通し	△20		
2次評価	Ⅳ(40点未満)		

【総合判定】

総合判定／優先度	用途廃止　　優先度4		
評価結果（コメント）	老朽が進んでいること、入居者がなく利用度が低いことから廃止する。		

長寿命化等対策の方向性	用途廃止

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	用途廃止					
概算費用【充当財源(見込)】						

個別施設計画（個票）　　　　　　　　　　公舎No.17

施設名／棟名	山岸合同公舎1～2号棟			財産区分	行政財産
所在地	山岸二丁目214番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	2,288.34㎡	建築面積	84.53㎡	延床面積	169.06㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度 （建築年月）	1974年11月5日	経過年数 R2.4.1現在	46		
利用状況	R2年度は2戸中2戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備	
受変電	配電盤（屋内形）
その他	
E V	
給　水	水道直結方式・公共水道
排　水	公共下水道
給　湯	ガス湯沸器
消　火	粉末消火

劣化度調査	なし
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）
修繕工事履歴	R1盛岡地区山岸公舎給湯機更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	379	166		213								
H30												
H29	167	167										
H28												
H27	44	44										
計	590	377		213								

【優先度評価】

建物性能	中～低		
劣化度診断	B		
利用度	高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）		
見通し	△15		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5		
評価結果 （コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。			

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用 【充当財源（見込）】	維持修繕費 83千円 財源：一般財源	維持修繕費 83千円 財源：一般財源	維持修繕費 83千円 財源：一般財源	維持修繕費 83千円 財源：一般財源	維持修繕費 83千円 財源：一般財源	維持修繕費 415千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　　　　公舎№.18

施設名／棟名	山岸合同公舎3～4号棟			財産区分	行政財産
所在地	山岸二丁目214番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	2,288.34㎡	建築面積	84.53㎡	延床面積	169.06㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1974年11月5日	経過年数 R2.4.1現在	46		
利用状況	R2年度は2戸中2戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 受変電	配電盤（屋内形）				
その他					
E V					
給 水	水道直結方式・公共水道				
排 水	公共下水道				
給 湯	ガス湯沸器				
消 火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）				
修繕工事履歴	R1盛岡地区山岸公舎給湯機更新工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	502	289		213								
H30	177	177										
H29	82	82										
H28	112	112										
H27	157	157										
計	1,031	818		213								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	B
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 83千円 財源：一般財源	維持修繕費 83千円 財源：一般財源	維持修繕費 83千円 財源：一般財源	維持修繕費 83千円 財源：一般財源	維持修繕費 83千円 財源：一般財源	維持修繕費 415千円 財源：一般財源

個別施設計画(個票)　　公舎No.19

施設名／棟名	山岸合同公舎5～6号棟			財産区分	行政財産
所在地	山岸二丁目214番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	2,288.34㎡	建築面積	84.53㎡	延床面積	169.06㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上2階		
竣工年度 (建築年月)	1974年11月5日	経過年数 R2.4.1現在	46		
利用状況	R2年度は2戸中2戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備	
受変電	配電盤(屋内形)
その他	
E V	
給 水	水道直結方式・公共水道
排 水	公共下水道
給 湯	ガス湯沸器
消 火	粉末消火
劣化度調査	なし
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年(前回実施:H30)
修繕工事履歴	R1盛岡地区山岸公舎給湯機更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	549	336		213								
H30	740	740										
H29	149	149										
H28	361	361										
H27	236	236										
計	2,036	1,823		213								

【優先度評価】

建物性能	中～低		
劣化度診断	B		
利用度	高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
見通し	△15		
2次評価	Ⅳ(40点未満)		

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5		
評価結果 (コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。			

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕費 83千円 財源:一般財源	維持修繕費 83千円 財源:一般財源	維持修繕費 83千円 財源:一般財源	維持修繕費 83千円 財源:一般財源	維持修繕費 83千円 財源:一般財源	維持修繕費 415千円 財源:一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.20

施設名／棟名	山岸合同公舎7～8号棟			財産区分	行政財産
所在地	山岸二丁目214番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	2,288.34㎡	建築面積	84.53㎡	延床面積	169.06㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1974年11月5日	経過年数 R2.4.1現在	46		
利用状況	R2年度は2戸中1戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 受変電	配電盤（屋内形）				
その他					
ＥＶ					
給　水	水道直結方式・公共水道				
排　水	公共下水道				
給　湯	ガス湯沸器				
消　火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）				
修繕工事履歴	R1盛岡地区山岸公舎給湯機更新工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	330	117		213								
H30	1,678	1,678										
H29	38	38										
H28	300	300										
H27	6	6										
計	2,352	2,139		213								

【優先度評価】

建物性能	中～低		
劣化度診断	B		
利用度	高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）		
見通し	△15		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度５	
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。		

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 83千円 財源：一般財源	維持修繕費 83千円 財源：一般財源	維持修繕費 83千円 財源：一般財源	維持修繕費 83千円 財源：一般財源	維持修繕費 83千円 財源：一般財源	維持修繕費 415千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　公舎No.21

施設名／棟名	高松合同公舎1号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市高松一丁目322番2			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	3405.12㎡	建築面積	520.08㎡	延床面積	520.08㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上1階		
竣工年度（建築年月）	1979年3月30日	経過年数 R2.4.1現在	41		
利用状況	R2年度～入居者なし				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	用途廃止予定				
主な設備 警報	自動火災報知設備（P形）				
構内交換					
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、非常用照明装置（蛍光灯）				
ＥＶ					
給水	水道直結方式・公共水道				
排水	公共下水道				
給湯	ガス湯沸器				
消火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	設備点検1回／年				
修繕工事履歴					

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30	67	67										
H29	27	27										
H28												
H27	95	95										
計	189	189										

【優先度評価】

項目	評価		
建物性能	低		
劣化度診断	B		
利用度	低		
1次評価	用途廃止		
重要性	40		
見通し	△20		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

総合判定／優先度	用途廃止　　優先度4		
評価結果（コメント）	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。		

長寿命化等対策の方向性	用途廃止

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	用途廃止					
概算費用【充当財源（見込）】						

個別施設計画(個票)

公舎№22

施設名／棟名	高松合同公舎2号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市高松一丁目322番2			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	3405.12㎡	建築面積	451.83㎡	延床面積	903.66㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1979年3月30日	経過年数 R2.4.1現在	41		
利用状況	R2年度～入居者なし				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	用途廃止予定				

主な設備		
	警　報	自動火災報知設備（P形）
	構内交換	
	その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、非常用照明装置（蛍光灯）
	Ｅ Ｖ	
	給　水	水道直結方式・公共水道
	排　水	公共下水道
	給　湯	ガス湯沸器
	消　火	粉末消火

劣化度調査	なし
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）
修繕工事履歴	

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	18	18										
H30	98	98										
H29	278	278										
H28	198	198										
H27	164	164										
計	756	756										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	低
劣化度診断	B
利用度	低
1次評価	用途廃止
重要性	40
見通し	△20
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	用途廃止　　優先度4
評価結果（コメント）	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。

長寿命化等対策の方向性	用途廃止

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	用途廃止					
概算費用【充当財源(見込)】						

個別施設計画（個票）　　公舎No.23

施設名／棟名	加賀野合同公舎1号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市加賀野四丁目67番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	1000.14㎡	建築面積	283.92㎡	延床面積	566.16㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1982年3月25日	経過年数 R2.4.1現在	38		

項目	内容
利用状況	R2年度は8戸中7戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備　受変電	配電盤（屋外形）
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、電気融雪（樋）、機械換気設備、非常用照明装置（蛍光灯、蓄電池）
E V	
給　水	水道直結方式・公共水道
排　水	公共下水道
給　湯	ガス湯沸器
消　火	粉末消火
劣化度調査	なし
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）
修繕工事履歴	R1盛岡地区加賀野合同公舎1，2号棟給湯設備更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	9,086	203		8,883								
H30	310	310										
H29	314	314										
H28	57	57										
H27	232	232										
計	9,998	1,115		8,883								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	B
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 277千円 財源：一般財源	維持修繕費 277千円 財源：一般財源	維持修繕費 277千円 財源：一般財源	維持修繕費 277千円 財源：一般財源	維持修繕費 277千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,385千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.24

施設名／棟名	加賀野合同公舎2号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市加賀野四丁目６７番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	1000.14㎡	建築面積	226.8㎡	延床面積	451.92㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1982年3月25日	経過年数 R2.4.1現在	38		

項目	内容
利用状況	R2年度は6戸中5戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備　受変電	配電盤（屋外形）
主な設備　その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、電気融雪（樋）、機械換気設備、非常用照明装置（蛍光灯、蓄電池）
主な設備　ＥＶ	
主な設備　給水	水道直結方式・公共水道
主な設備　排水	公共下水道
主な設備　給湯	ガス湯沸器
主な設備　消火	粉末消火
劣化度調査	なし
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）
修繕工事履歴	R1盛岡地区加賀野合同公舎1，2号棟給湯設備更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	9,099	217		8,883								
H30	304	304										
H29	295	295										
H28	44	44										
H27	172	172										
計	9,915	1,033		8,883								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	B
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 221千円 財源：一般財源	維持修繕費 221千円 財源：一般財源	維持修繕費 221千円 財源：一般財源	維持修繕費 221千円 財源：一般財源	維持修繕費 221千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,105千円 財源：一般財源

個別施設計画(個票)

公舎No.25

施設名／棟名	東仙北合同公舎1号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市東仙北一丁目71番10			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	4,085.08㎡	建築面積	466.04㎡	延床面積	1,319.76㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階		
竣工年度(建築年月)	1985年3月25日	経過年数 R2.4.1現在	35		
利用状況	R2年度は18戸中17戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備	
受変電	配電盤(屋外形)
その他	弱電設備:テレビ共同受信設備、非常用照明装置(蛍光灯、蓄電池)
E V	
給 水	加圧送水方式、FRP製・公共水道
排 水	公共下水道
給 湯	ガス湯沸器
消 火	粉末消火

劣化度調査	なし
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年(前回実施:H30)
修繕工事履歴	R1東仙北合同公舎水道メーター更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	1,275	544		731								
H30	174	174										
H29	200	200										
H28	346	346										
H27	418	418										
計	2,413	1,682		731								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)
見通し	△15
2次評価	Ⅳ(40点未満)

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果(コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	維持修繕費 647千円 財源:一般財源	維持修繕費 647千円 財源:一般財源	維持修繕費 647千円 財源:一般財源	維持修繕費 647千円 財源:一般財源	維持修繕費 647千円 財源:一般財源	維持修繕費 3,235千円 財源:一般財源

個別施設計画（個票）　公舎№.26

施設名／棟名	東仙北合同公舎2号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市東仙北一丁目71番10			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	4,085.08㎡	建築面積	439.92㎡	延床面積	1319.76㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1995年3月24日	経過年数 R2.4.1現在	25		
利用状況	R2年度は18戸中17戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備		
	受変電	配電盤（屋外形）
	その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、非常用照明装置（蛍光灯、蓄電池）
	ＥＶ	
	給水	加圧送水方式、FRP製・公共水道
	排水	公共下水道
	給湯	ガス湯沸器
	消火	粉末消火

項目	内容
劣化度調査	なし
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）
修繕工事履歴	R1東仙北合同公舎水道メーター更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	1,184	453		731								
H30	1,021	1,021										
H29	1,300	1,300										
H28	1,534	1,534										
H27	535	535										
計	5,574	4,843		731								

【優先度評価】

項目	評価		
建物性能	高～中		
劣化度診断	A		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）		
見通し	△15		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6				
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。					

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 647千円 財源：一般財源	維持修繕費 647千円 財源：一般財源	維持修繕費 647千円 財源：一般財源	維持修繕費 647千円 財源：一般財源	維持修繕費 647千円 財源：一般財源	維持修繕費 3,235千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　　公舎No.27

項目	内容				
施設名／棟名	河南公舎１号			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市東中野町８０番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	16,483.26㎡	建築面積	93.57㎡	延床面積	93.57㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上１階		
竣工年度（建築年月）	1991年8月30日	経過年数 R2.4.1現在	29		
利用状況	R2年度は1戸中0戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	担当秘書が市内居住のためR2年度は空室。 今後も職員公舎として必要である。				
主な設備　受変電	配電盤（屋内形）				
主な設備　その他					
主な設備　ＥＶ					
主な設備　給水	水道直結方式・公共水道				
主な設備　排水	公共下水道				
主な設備　給湯	ガス湯沸器				
主な設備　消火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	設備点検１回／年 建築物点検１回／３年（前回実施：H30）				
修繕工事履歴					

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0	0										
H30	0	0										
H29	0	0										
H28	0	0										
H27	0	0										
計	0	0										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

項目		
総合判定／優先度	維持管理	優先度６
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 34千円 財源：一般財源	維持修繕費 34千円 財源：一般財源	維持修繕費 34千円 財源：一般財源	維持修繕費 34千円 財源：一般財源	維持修繕費 34千円 財源：一般財源	持修繕費 170千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.28

施設名／棟名	河南公舎2号			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市東中野町80番			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	16,483.26㎡	建築面積	69.56㎡	延床面積	69.56㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上1階		
竣工年度（建築年月）	1991年8月30日	経過年数 R2.4.1現在	29		
利用状況	R2年度は1戸中1戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 受変電	配電盤（屋内形）				
主な設備 その他					
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	ガス湯沸器				
主な設備 消火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）				
修繕工事履歴					

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0	0										
H30	0	0										
H29	0	0										
H28	0	0										
H27	0	0										
計	0	0										

【優先度評価】

建物性能	高～中		
劣化度診断	A		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性	45：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）		
見通し	△15		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6		
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理			

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 34千円 財源：一般財源	維持修繕費 34千円 財源：一般財源	維持修繕費 34千円 財源：一般財源	維持修繕費 34千円 財源：一般財源	維持修繕費 34千円 財源：一般財源	持修繕費 170千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.29

施設名／棟名	下米内合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市下米内二丁目６－１			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	1156.95㎡	建築面積	739.47㎡	延床面積	1379.47㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上３階		
竣工年度（建築年月）	1998年3月31日	経過年数 R2.4.1現在	22		
利用状況	R2年度は16戸中16戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 受変電	配電盤（屋外形）				
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備、電気融雪（屋上）、非常用照明装置（蓄電池）				
ＥＶ					
給　水	水道直結方式・公共水道				
排　水	公共下水道				
給　湯	ガス湯沸器				
消　火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	設備点検１回／年 建築物点検１回／３年（前回実施：H30）				
修繕工事履歴					

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	684	684										
H30	1,239	1,239										
H29	292	292										
H28	1,693	1,693										
H27	2,103	2,103										
計	6,011	6,011										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A
利用度	高～中
１次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）
見通し	△15
２次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度６
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 676千円 財源：一般財源	維持修繕費 676千円 財源：一般財源	維持修繕費 676千円 財源：一般財源	維持修繕費 676千円 財源：一般財源	維持修繕費 676千円 財源：一般財源	維持修繕費 3,380千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.30

施設名／棟名	上ノ橋合同公舎1号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市上ノ橋町103番1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	1613.69㎡	建築面積	195.23㎡	延床面積	408.11㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1989年3月27日	経過年数 R2.4.1現在	31		

項目	内容
利用状況	R2年度は4戸中4戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備 受変電	配電盤（屋外形）
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
主な設備 ＥＶ	
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道
主な設備 排水	公共下水道
主な設備 給湯	ガス湯沸器
主な設備 消火	粉末消火
劣化度調査	なし
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）
修繕工事履歴	R1盛岡地区上ノ橋合同公舎1，2号棟給湯設備更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	8,139	74		8,065								
H30	355	355										
H29	413	413										
H28	378	378										
H27	144	144										
計	9,428	1,363		8,065								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 200千円 財源：一般財源	維持修繕費 200千円 財源：一般財源	維持修繕費 200千円 財源：一般財源	維持修繕費 200千円 財源：一般財源	維持修繕費 200千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,000千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　公舎№31

施設名／棟名	上ノ橋合同公舎2号棟			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市上ノ橋町103番1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	1613.69㎡	建築面積	206.8㎡	延床面積	458.15㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1989年3月27日	経過年数 R2.4.1現在	31		
利用状況	R2年度は8戸中6戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備	
受変電	配電盤（屋外形）
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
ＥＶ	
給　水	水道直結方式・公共水道
排　水	公共下水道
給　湯	ガス湯沸器
消　火	粉末消火

劣化度調査	なし
定期点検	設備点検1回／年 建築物点検1回／3年（前回実施：H30）
修繕工事履歴	R1盛岡地区上ノ橋合同公舎1，2号棟給湯設備更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	8,169	104		8,065								
H30	154	154										
H29	11	11										
H28	245	245										
H27	227	227										
計	8,807	742		8,065								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（家賃アパート、家賃補助）
見通し	△15
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕費 224千円 財源：一般財源	維持修繕費 224千円 財源：一般財源	維持修繕費 224千円 財源：一般財源	維持修繕費 224千円 財源：一般財源	維持修繕費 224千円 財源：一般財源	維持修繕費 1,120千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.32

施設名／棟名	川原小路合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	奥州市水沢川原小路21-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	1045.07㎡	建築面積	123.38㎡	延床面積	495.81㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上4階		
竣工年度（建築年月）	1971年7月31日	経過年数 R2.4.1現在	49		

項目	内容
利用状況	R2年度は8戸数のうち7戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
主な設備 ＥＶ	
主な設備 給水	ポンプ類（自動給水ポンプユニット）、タンク類（FRP製）
主な設備 排水	公共下水道
主な設備 給湯	局所式
主な設備 消火	
劣化度調査	H31.4外部建具不具合、ガラス割れ、フェンス破損、塗装膨れ等
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1　配水詰まり修繕　22千円 H30　トイレ給水管交換修繕　65千円 H28　混合水栓交換ほか修繕他　312千円 H27　配水詰まり修繕　270千円、汚水管配管修繕工事　1,923千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	22	22										
H30	65	65										
H29												
H28	312	312										
H27	2,193	270		1,923								
計	2,592	669		1,923								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	40：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△20：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 243千円 財源：一般財源	維持修繕 243千円 財源：一般財源	維持修繕 243千円 財源：一般財源	維持修繕 243千円 財源：一般財源	維持修繕 243千円 財源：一般財源	維持修繕 1,215千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.33

施設名／棟名	北栗林合同公舎（1号棟）			財産区分	行政財産
所在地	奥州市水沢北栗林50-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	2202.15㎡	建築面積	434.5㎡	延床面積	742.04㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度 （建築年月）	1986年3月12日	経過年数 R2.4.1現在	34		
利用状況	R2年度は10戸数のうち10戸入居している。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備	
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
ＥＶ	
給　水	水道直結方式・公共水道
排　水	公共下水道
給　湯	局所式
消　火	粉末消火

項目	内容
劣化度調査	H31.4ｶﾞﾗｽ割れ、金物・扉・屋根等発錆、外壁爆裂、内装の破損等
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1　103号室浴室二つ折りﾄﾞｱ修繕工事他105千円 H30　105、203号室台所換気扇交換修繕　79千円、H30.7火災警報器更新 H29　202号室畳修繕他　87千円 H28　104号室風呂釜部品交換修繕　37千円、給湯機設置工事18,743千円 H27　102号室ﾄｲﾚﾄﾞｱﾉﾌﾞ修繕他827千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	105	105										
H30	79	79										
H29	87	87										
H28	18,780	37	18,743									
H27	827	827										
計	19,878	1135	18,743									

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	40：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△20：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果 （コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用 【充当財源（見込）】	維持修繕 364千円 財源：一般財源	維持修繕 364千円 財源：一般財源	維持修繕 364千円 財源：一般財源	維持修繕 364千円 財源：一般財源	維持修繕 364千円 財源：一般財源	維持修繕 1,820千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　　公舎№.34

施設名／棟名	北栗林合同公舎（2号棟）	財産区分	行政財産
所在地	奥州市水沢北栗林50-1	施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内　防火地域：指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域			
敷地面積	2202.15㎡　建築面積：322.24㎡	延床面積	584.56㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上2階
竣工年度（建築年月）	1986年3月12日	経過年数 R2.4.1現在	34
利用状況	R2年度は８戸数のうち８戸入居している。		
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。		

主な設備	
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
ＥＶ	
給水	水道直結方式・公共水道
排水	公共下水道
給湯	局所式
消火	粉末消火

劣化度調査	H31.4ｶﾞﾗｽ割れ、金物・扉・屋根等発錆、外壁爆裂、内装の破損等
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1　107号室便器部品交換修繕　８千円 H30　107号室畳修繕他　107千円、H30　火災警報器更新 H29　106号室浴室換気扇交換修繕他　97千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	8	8										
H30	107	107										
H29	97	97										
H28												
H27												
計	212	212										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	40：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△20：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度６
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（→）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 286千円 財源：一般財源	維持修繕 286千円 財源：一般財源	維持修繕 286千円 財源：一般財源	維持修繕 286千円 財源：一般財源	維持修繕 286千円 財源：一般財源	維持修繕 1,430千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.35

施設名／棟名	八日町合同公舎（2号棟）			財産区分	行政財産
所在地	奥州市江刺八日町2丁目6-2(150)			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	1785.4㎡	建築面積	279.54㎡	延床面積	838.62㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1979年2月1日	経過年数 R2.4.1現在	41		

項目	内容
利用状況	R2年度は12戸数のうち12戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備　その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
主な設備　ＥＶ	
主な設備　給水	加圧送水方式・公共水道、ポンプ類（自動給水ポンプユニット）、タンク類（ステンレス製）
主な設備　排水	公共下水道
主な設備　給湯	局所式・ガス湯沸器
主な設備　消火	粉末消火
劣化度調査	H31.4フェンスの歪、内装材のはがれ、木枠の腐食、街灯の照明不点灯等
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1入口ドア修繕　28千円 H30 1-D号室脱衣室床修繕工事 140千円、H30火災警報器更新 H29　1-B号室台所排水詰まり修繕 62千円、給湯設備更新工事11,352千円 H28　貯水槽水抜管バルブ交換修繕他　769千円 H27　2A号室浴室バランス釜交換修繕　291千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	28	28										
H30	140	140										
H29	11,414	62		11,352								
H28	769	769										
H27	291	291										
計	12,642	1,290	0	11,352								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	40：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△20：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 411千円 財源：一般財源	維持修繕 411千円 財源：一般財源	維持修繕 411千円 財源：一般財源	維持修繕 411千円 財源：一般財源	維持修繕 411千円 財源：一般財源	維持修繕 2,055千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　　公舎№.36

施設名／棟名	南城合同公舎（1号棟）			財産区分	行政財産
所在地	花巻市南城104			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	2,705㎡	建築面積	246.81㎡	延床面積	740.43㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1974年8月22日	経過年数 R2.4.1現在	46		
利用状況	R2年度は12戸数のうち10戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備　その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備　ＥＶ					
主な設備　給水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）				
主な設備　排水	公共下水道				
主な設備　給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備　消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 火災警報器更新他 571千円 H30 水栓トイレ修繕他 171千円、フェンス新設工事 1,156千円 H29 浴室、和室壁修繕他 318千円 H28 換気扇修繕他 136千円 H27 風呂釜交換他 541千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	571	571										
H30	1,327	171		1,156								
H29	318	318										
H28	60	60										
H27	541	541										
計	2,817	1,661	0	1,156								

【優先度評価】

建物性能	中～低		
劣化度診断	A異常無		
利用度	高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）		
見通し	△15：多用途使用見込み無		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5	
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。		

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 363千円 財源：一般財源	維持修繕 363千円 財源：一般財源	維持修繕 363千円 財源：一般財源	維持修繕 363千円 財源：一般財源	維持修繕 363千円 財源：一般財源	維持修繕 1,815千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　公舎№.37

施設名／棟名	南城合同公舎（2号棟）			財産区分	行政財産
所在地	花巻市南城104-1、104-2			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	2,705㎡	建築面積	402.31㎡	延床面積	751.22㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1990年3月31日	経過年数 R2.4.1現在	30		
利用状況	R2年度は10戸数のうち10戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1.9火災警報器更新 R1 トイレドア修繕他 121千円 H30 給湯設備更新工事 12,552千円、トイレ吸気弁修繕他 284千円 H28 風呂釜修繕他 172千円、給湯設備更新工事12,617千円 H27 風呂釜交換他 330千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	121	121										
H30	12,836	284		12,552								
H29	0											
H28	12,789	172		12,617								
H27	330	330										
計	26,076	907	0	25,169								

【優先度評価】

項目	評価		
建物性能	高～中		
劣化度診断	A異常無		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）		
見通し	△20：多用途使用見込み無		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6				
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。					

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 368千円 財源：一般財源	維持修繕 368千円 財源：一般財源	維持修繕 368千円 財源：一般財源	維持修繕 368千円 財源：一般財源	維持修繕 368千円 財源：一般財源	維持修繕 1,840千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　公舎№.38

施設名／棟名	大通合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	花巻市大通り1丁目16-30（389）			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	389.41㎡	建築面積	252.28㎡	延床面積	394.95㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1980年2月22日	経過年数 R2.4.1現在	40		
利用状況	H25年～入居者なし				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	用途廃止予定				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	なし				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
RI												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	低
劣化度診断	B異常有（経過観察）
利用度	低
1次評価	用途廃止
重要性	40：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△20：使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	用途廃止	優先度4
評価結果（コメント）	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。	

長寿命化等対策の方向性	用途廃止予定

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用【充当財源（見込）】						

個別施設計画(個票)　公舎№.39

施設名／棟名	鍛冶町合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	北上市花園町1丁目5-11(137)			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	504.06㎡	建築面積	177.04㎡	延床面積	531.12㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階		
竣工年度(建築年月)	1971年1月1日	経過年数 R2.4.1現在	49		
利用状況	R2年度は12戸数のうち12戸入居している。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備:テレビ共同受信設備				
主な設備 E V					
主な設備 給水	加圧送水方式・公共水道、タンク類(FRP製)				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)				
修繕工事履歴	R1　漏水修繕　77千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	77	77										
H30												
H29												
H28												
H27												
計	77	77										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)
見通し	△15:多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ(40点未満)

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5
評価結果(コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	維持修繕 260千円 財源:一般財源	維持修繕 260千円 財源:一般財源	維持修繕 260千円 財源:一般財源	維持修繕 260千円 財源:一般財源	維持修繕 260千円 財源:一般財源	維持修繕 1,300千円 財源:一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.40

施設名／棟名	花園合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	北上市花園町3丁目4-56（23-3）			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	2,202㎡	建築面積	223.12㎡	延床面積	394.98㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1981年3月23日	経過年数 R2.4.1現在	39		
利用状況	R2年度は7戸数のうち7戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道、タンク類（FRP製）				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 漏水修繕　259千円 H29　給湯設備更新　8,240千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	259	259										
H30												
H29	8,240			8,240								
H28												
H27												
計	8,499	259	0	8,240								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	B異常有（経過観察）
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 194千円 財源：一般財源	維持修繕 194千円 財源：一般財源	維持修繕 194千円 財源：一般財源	維持修繕 194千円 財源：一般財源	維持修繕 194千円 財源：一般財源	維持修繕 970千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　　公舎№.41

施設名／棟名	東舘合同公舎1号棟			財産区分	行政財産
所在地	遠野市東舘町5-4(68-5)			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	956.69㎡	建築面積	177.04㎡	延床面積	531.12㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1966年12月27日	経過年数 R2.4.1現在	54		

利用状況	H30～入居者なし
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	用途廃止予定
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
E V	
給　水	高置水槽方式・公共水道、タンク類（FRP製）
排　水	公共下水道
給　湯	ガス湯沸器
消　火	
劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	H27トイレ水道詰まり修繕　5千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新
R1				
H30				
H29				
H28				
H27	5	5		
計	5	0		

【優先度評価】

建物性能	低
劣化度診断	B異常有（経過観察）
利用度	低
1次評価	用途廃止
重要性	40：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△20：使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	用途廃止	優先度4
評価結果（コメント）	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。	

長寿命化等対策の方向性	用途廃止予定（R3.3.31）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用【充当財源（見込）】						

個別施設計画（個票）　　公舎№.42

施設名／棟名	東舘合同公舎2号棟			財産区分	行政財産
所在地	遠野市東舘町5-4(68-2)			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	429.28㎡	建築面積	126.3㎡	延床面積	200.92㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1966年3月29日	経過年数 R2.4.1現在	54		
利用状況	H27～入居者なし				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	用途廃止予定				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 EV					
主な設備 給水	公共水道				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	なし				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
RI												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	低
劣化度診断	A異常無
利用度	低
1次評価	用途廃止
重要性	40：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△20：使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	用途廃止	優先度4
評価結果（コメント）	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。	

長寿命化等対策の方向性	用途廃止予定（R3.3.31）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用【充当財源（見込）】						

個別施設計画（個票）　　公舎№.43

施設名／棟名	六日町職員公舎			財産区分	行政財産
所在地	遠野市六日町2-20(23-1)			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	1985.69㎡	建築面積	475.41㎡	延床面積	1683.32㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上4階		
竣工年度（建築年月）	1991年3月22日	経過年数 R2.4.1現在	29		
利用状況	R2年度は、33戸数のうち14戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
E V					
給　水	加圧送水方式・公共水道				
排　水	公共下水道				
給　湯	局所式・ガス湯沸器				
消　火	屋内消火栓				
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	H29　駐車場外灯交換他　144千円 H28　給水ポンプ一式取替他　1,080千円 H27　給湯器交換他　604千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29	144	144										
H28	1,080		1,080									
H27	604	604										
計	1,828	748	1,080									

【優先度評価】

項目	評価		
建物性能	低		
劣化度診断	A異常無		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）		
見通し	△15：多用途使用見込み無		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6				
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。					

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 825千円 財源：一般財源	維持修繕 825千円 財源：一般財源	維持修繕 825千円 財源：一般財源	維持修繕 825千円 財源：一般財源	維持修繕 825千円 財源：一般財源	維持修繕 4,125千円 財源：一般財源

個別施設計画(個票)　　公舎№.44

施設名／棟名	六日町合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	遠野市六日町1-16(420-1)			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	512.82㎡	建築面積	188.15㎡	延床面積	376.3㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1978年3月1日	経過年数 R2.4.1現在	42		
利用状況	H26～入居者なし				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	用途廃止予定				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
E V					
給 水	水道直結方式・公共水道				
排 水	公共下水道				
給 湯	ガス湯沸器				
消 火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)				
修繕工事履歴	H28 漏水修理　99千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28	99	99										
H27												
計	99	99										

【優先度評価】

項目	評価		
建物性能	低		
劣化度診断	A異常無		
利用度	低		
1次評価	用途廃止		
重要性	40：代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
見通し	△20：使用見込み無		
2次評価	Ⅳ(40点未満)		

【総合判定】

総合判定／優先度	用途廃止	優先度4				
評価結果（コメント）	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。					

長寿命化等対策の方向性	用途廃止予定(R3.3.31)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容						
概算費用【充当財源(見込)】						

個別施設計画（個票）　公舎№.45

施設名／棟名	関が丘合同宿舎			財産区分	行政財産
所在地	一関市関が丘26-2			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	1318.12㎡	建築面積	156.01㎡	延床面積	453.01㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1971年3月29日	経過年数 R2.4.1現在	49		

項目	内容
利用状況	R2年度は9戸数のうち8戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備　その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
主な設備　ＥＶ	
主な設備　給水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）
主な設備　排水	公共下水道
主な設備　給湯	中央式・局所式・ガス湯沸器
主な設備　消火	
劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1 トイレ漏水修繕他 336千円 H29 ガス設備（集合装置）交換修繕 109千円 H28 給水器具等交換修繕 102千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	336	336										
H30												
H29	109	109										
H28	102	102										
H27												
計	547	547	0	0								

【優先度評価】

項目	評価		
建物性能	中～低		
劣化度診断	B異常有（経過観察）		
利用度	高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）		
見通し	△15：多用途使用見込み無		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

項目	内容			
総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5		
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。			

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（→）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 1,110千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.46

施設名／棟名	高梨合同公舎（1号棟）			財産区分	行政財産
所在地	一関市萩荘字高梨南方39-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	499.95㎡	建築面積	181.85㎡	延床面積	306.28㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1985年3月26日	経過年数 R2.4.1現在	35		
利用状況	R2年度は4戸数のうち4戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備	
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
ＥＶ	
給 水	水道直結方式・公共水道
排 水	公共下水道
給 湯	局所式・ガス湯沸器
消 火	

劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1 屋外該当修繕他　103千円 H30　畳修繕他　121千円、給湯設備更新　4,750千円、H30.8火災警報器更新 H29　畳修繕他　49千円 H28　浴槽換気扇交換修繕他　141千円 H27　アクリル板補修修繕　45千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	103	103										
H30	4,871	121		4,750								
H29	49	49										
H28	141	141										
H27	45	45										
計	5,209	459		4,750								

【優先度評価】			
建物性能	中～低		
劣化度診断	A異常無		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）		
見通し	△15：多用途使用見込み無		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】				
総合判定／優先度	維持管理	優先度5		
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。			

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 150千円 財源：一般財源	維持修繕 150千円 財源：一般財源	維持修繕 150千円 財源：一般財源	維持修繕 150千円 財源：一般財源	維持修繕 150千円 財源：一般財源	維持修繕 750千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.47

施設名／棟名	高梨合同公舎（2号棟）			財産区分	行政財産
所在地	一関市萩荘字高梨南方39-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	966.26㎡	建築面積	254.31㎡	延床面積	437.8㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1985年3月26日	経過年数 R2.4.1現在	35		

項目	内容
利用状況	R2年度は8戸数のうち7戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備　その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
主な設備　E V	
主な設備　給　水	水道直結方式・公共水道
主な設備　排　水	公共下水道
主な設備　給　湯	局所式・ガス湯沸器
主な設備　消　火	
劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1　廊下アクリル板交換修繕　15千円 H31.3給湯設備更新（工事請負費4,749千円） H30.8火災警報器更新 H28 浴室換気扇交換修繕他　141千円 H27　給湯設備修繕他　284千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30				4,749								
H29												
H28	141	141										
H27	284	284										
計	425	425		4,749								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 215千円 財源：一般財源	維持修繕 215千円 財源：一般財源	維持修繕 215千円 財源：一般財源	維持修繕 215千円 財源：一般財源	維持修繕 215千円 財源：一般財源	維持修繕 1,075千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　　公舎№.48

施設名／棟名	中里合同公舎A棟			財産区分	行政財産
所在地	一関市上日照64,65-2（9-15-2）			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	541.19㎡	建築面積	200.87㎡	延床面積	368.31㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	2001年3月27日	経過年数 R2.4.1現在	19		
利用状況	R2年度は4戸数のうち4戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 ガラス交換修繕他 112千円 H30 洗面所スイッチ修繕他 316千円、H30.8火災警報器更新 H29 流し台排水詰まり修繕他 78千円 H28 浴室排水管詰り等修繕 96千円 H27 浴室換気扇交換修繕 137千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	112	112										
H30	316	316										
H29	78	78										
H28	96	96										
H27	137	137										
計	739	739										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 180千円 財源：一般財源	維持修繕 180千円 財源：一般財源	維持修繕 180千円 財源：一般財源	維持修繕 180千円 財源：一般財源	維持修繕 180千円 財源：一般財源	維持修繕 900千円 財源：一般財源

個別施設計画(個票)　　　公舎№.49

施設名／棟名	中里合同公舎B棟			財産区分	行政財産
所在地	一関市上日照64,65-2(9-15-2)			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	541.19㎡	建築面積	200.87㎡	延床面積	368.31㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度(建築年月)	2001年3月27日	経過年数 R2.4.1現在	19		
利用状況	R2年度は4戸数のうち4戸入居している。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備:テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)				
修繕工事履歴	R1　換気扇交換修繕他　86千円 H30　浴室換気扇交換修繕他　48千円、H30.8火災警報器更新 H28　ガス給湯設備修繕他　227千円 H27　暖房便座交換修繕他　92千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	86	86										
H30	48	48										
H29												
H28	227	227										
H27	92	92										
計	453	453										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)
見通し	△15:多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ(40点未満)

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果(コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	維持修繕 180千円 財源:一般財源	維持修繕 180千円 財源:一般財源	維持修繕 180千円 財源:一般財源	維持修繕 180千円 財源:一般財源	維持修繕 180千円 財源:一般財源	維持修繕 900千円 財源:一般財源

個別施設計画(個票)　公舎No.50

施設名／棟名	中里合同公舎C棟			財産区分	行政財産
所在地	一関市上日照64,65-2(9-15-2)			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	541.19㎡	建築面積	139.45㎡	延床面積	185.72㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上2階		
竣工年度(建築年月)	2001年3月27日	経過年数 R2.4.1現在	19		
利用状況	R2年度は4戸数のうち4戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備	
その他	弱電設備:テレビ共同受信設備
E V	
冷暖房	局所暖房方式(FFストーブ等)、局所冷暖房方式(エアコン等)
熱源	
給水	水道直結方式・公共水道
排水	公共下水道
給湯	局所式・ガス湯沸器
消火	

劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)
修繕工事履歴	R1 台所混合栓修繕 43千円 H30.8 火災警報器更新 H29 郵便受箱修繕 15千円 H28 郵便受箱修繕 15千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	43	43										
H30												
H29	15	15										
H28	15	15										
H27												
計	73	73										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)
見通し	△15:多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ(40点未満)

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果(コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	維持修繕 91千円 財源:一般財源	維持修繕 91千円 財源:一般財源	維持修繕 91千円 財源:一般財源	維持修繕 91千円 財源:一般財源	維持修繕 91千円 財源:一般財源	維持修繕 455千円 財源:一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.51

施設名／棟名	久保田職員公舎（単身用）			財産区分	行政財産
所在地	一関市千厩町千厩久保田16-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
その他区域					
敷地面積	1954㎡	建築面積	429.74㎡	延床面積	1,388.22㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上4階		
竣工年度（建築年月）	1993年3月22日	経過年数 R2.4.1現在	27		
利用状況	R2年度は25戸数のうち18戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備	
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
ＥＶ	
給　水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）
排　水	浄化槽
給　湯	局所式・ガス湯沸器
消　火	

劣化度調査	
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1 浄化槽修繕 374千円 H30　換気扇修繕他　838千円、H31.3給湯設備更新（工事費　5,331千円　久保田公舎世帯・単身31戸） H29　換気扇修繕　1,183千円 H28　畳替え他　903千円 H27　電動水抜開閉装置修繕他　701千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	374	374										
H30	6,169	838		5,331								
H29	1,183	1,183										
H28	903	903										
H27	701	701										
計	9,330	3,999		5,331								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	低
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 680千円 財源：一般財源	維持修繕 680千円 財源：一般財源	維持修繕 680千円 財源：一般財源	維持修繕 680千円 財源：一般財源	維持修繕 680千円 財源：一般財源	維持修繕 3,400千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.52

施設名／棟名	久保田職員公舎（世帯用）			財産区分	行政財産
所在地	一関市千厩町千厩久保田16-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
その他区域					
敷地面積	1,954㎡	建築面積	176.68㎡	延床面積	449.67㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1993年3月22日	経過年数 R2.4.1現在	27		
利用状況	R2年度は6戸数のうち4戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備		
	その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
	ＥＶ	
	給水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）
	排水	浄化槽
	給湯	局所式・ガス湯沸器
	消火	

劣化度調査	
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	H31 網戸張替え修繕（6室分）他　506千円 H30　蛍光灯非常バッテリー修繕　24千円、H31.3給湯設備更新（工事費　5,331千円　久保田公舎世帯・単身31戸） H29　混合栓修繕他　348千円 H28　水抜装置吸気弁交換他　300千円 H27　ガス給湯器修繕　498千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	506	506										
H30	5,355	24		5,331								
H29	348	348										
H28	300	300										
H27	498	498										
計	7,007	1,676	0	5,331								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高
劣化度診断	A異常無
利用度	低
1次評価	維持管理
重要性	40：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△20：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 220千円 財源：一般財源	維持修繕 220千円 財源：一般財源	維持修繕 220千円 財源：一般財源	維持修繕 220千円 財源：一般財源	維持修繕 220千円 財源：一般財源	維持修繕 1,100千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.53

施設名／棟名	摩王合同宿舎			財産区分	行政財産
所在地	一関市千厩町千厩字摩王70-2			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	一種低層住居専用地
その他区域					
敷地面積	2,202㎡	建築面積	132.47㎡	延床面積	452.57㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1971年3月1日	経過年数 R2.4.1現在	49		
利用状況	R2年度は11戸数のうち6戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	将来的には、千厩地区は久保田職員公舎へ集約化の検討も必要。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）				
主な設備 排水	浄化槽				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査					
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 畳表替え他 163千円 H30 防火扉ドアクローザー他 48千円、H31.3 給湯設備1戸更新 H29 玄関、天井等漏水修繕他 916千円 H28 台所水栓漏水修繕他 266千円 H27 ガス給湯器修繕他 647千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	163	163										
H30	48	48										
H29	916	916										
H28	266	266										
H27	647	647										
計	2,040	2,040	0	0								

【優先度評価】

項目	評価		
建物性能	中～低		
劣化度診断	B異常有（経過観察）		
利用度	高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）		
見通し	△20：多用途使用見込み無		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕改修	優先度５
評価結果（コメント）	将来的に久保田単身公舎へ集約したのち、用途廃止。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 222千円 財源：一般財源	維持修繕 1,110千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　　公舎№.54

施設名／棟名	摩王合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	一関市千厩町千厩字摩王70-2			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	一種低層住居専用地
その他区域					
敷地面積	2202㎡	建築面積	179.27㎡	延床面積	537.81㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上3階		
竣工年度 （建築年月）	1971年3月1日	経過年数 R2.4.1現在	49		
利用状況	R2年度は12戸数のうち6戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
Ｅ Ｖ					
給　水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）				
排　水	浄化槽				
給　湯	局所式・ガス湯沸器				
消　火					
劣化度調査					
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1　浄化槽送風機逆止弁交換修繕 54千円 H30　シャワーヘッド修繕　132千円、H30.8 火災警報器更新 H29　貯水槽ボールタップ修繕　944千円 H28　室浴室換気扇取替え　53千円 H27　換気扇取替　39千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	54	54										
H30	132	132										
H29	944	944										
H28	53	53										
H27	39	39										
計	1,222	1,222										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	B異常有（経過観察）
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度５
評価結果 （コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用 【充当財源（見込）】	維持修繕 264千円 財源：一般財源	維持修繕 264千円 財源：一般財源	維持修繕 264千円 財源：一般財源	維持修繕 264千円 財源：一般財源	維持修繕 264千円 財源：一般財源	維持修繕 1,320千円 財源：一般財源

個別施設計画(個票)　　公舎№.55

施設名／棟名	柿ノ木沢合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	大船渡市盛町字柿ノ木沢20-2			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	1503.38㎡	建築面積	273.75㎡	延床面積	821.25㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1964年3月25日	経過年数 R2.4.1現在	56		
利用状況	R2年度は18戸数のうち12戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備:テレビ共同受信設備				
ＥＶ					
給水	高層水槽方式・公共水道、タンク類(FRP製)				
排水	公共下水道				
給湯	局所式・ガス湯沸器				
消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)				
修繕工事履歴	R1 202号トイレ扉修繕 20千円、R1火災報知器更新 H30 105号室浴室換気扇交換 19千円 H29 高架水槽配管修繕 576千円 H28 階段照明修繕 386千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	20	20										
H30	19	19										
H29	576	576										
H28	386	386										
H27	0											
計	1,001	1,001										

【優先度評価】

建物性能	中～低		
劣化度診断	B異常有(経過観察)		
利用度	高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
見通し	△15:多用途使用見込み無		
2次評価	Ⅳ(40点未満)		

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度4	
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。		

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	維持修繕 402千円 財源:一般財源	維持修繕 402千円 財源:一般財源	維持修繕 402千円 財源:一般財源	維持修繕 402千円 財源:一般財源	維持修繕 402千円 財源:一般財源	維持修繕 2,010千円 財源:一般財源

個別施設計画（個票）　公舎No.56

施設名／棟名	中野合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	大船渡市立根町字中野35-16			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住宅地域
その他区域					
敷地面積	1,503.38㎡	建築面積	177.04㎡	延床面積	531.12㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1969年3月1日	経過年数 R2.4.1現在	51		
利用状況	R2年度は12戸数のうち12戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備	
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
E V	
給 水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）
排 水	公共下水道
給 湯	局所式・ガス湯沸器
消 火	

劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1 公舎コンセント修繕他 267千円 H30 207給湯機等修繕他 321千円 H29 108号給湯設備交換他 590千円、H29 給湯器更新工事 1,944千円 H28 浄化槽ポンプベルト交換他 407千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	267	267										
H30	2,265	321		1,944								
H29	590	590										
H28	407	407										
H27												
計	3,529	1,585	0	1,944								

【優先度評価】

建物性能	中～低
劣化度診断	B異常有（経過観察）
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度5
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 1,300千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.57

施設名／棟名	中野合同宿舎（1号棟）			財産区分	行政財産
所在地	大船渡市立根町字中野35-16			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住宅地域
その他区域					
敷地面積	1,333.34㎡	建築面積	154.07㎡	延床面積	454.43㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1969年3月1日	経過年数 R2.4.1現在	51		
利用状況	R2年度は12戸数のうち12戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 204号室給湯器交換 120千円、R1火災警報器更新 H30　201号網戸交換他　689千円 H29　302給湯設備交換他　499千円 H28　203号給湯設備交換他　119千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	120	120										
H30	689	689										
H29	499	499										
H28	119	119										
H27												
計	1,427	1,427										

【優先度評価】

建物性能	中～低		
劣化度診断	B異常有（経過観察）		
利用度	高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）		
見通し	△15：多用途使用見込み無		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕改修	優先度5		
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。			

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 223千円 財源：一般財源	維持修繕 223千円 財源：一般財源	維持修繕 223千円 財源：一般財源	維持修繕 223千円 財源：一般財源	維持修繕 223千円 財源：一般財源	維持修繕 1,115千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　公舎No.58

施設名／棟名	中野合同宿舎（2号棟）			財産区分	行政財産
所在地	大船渡市立根町字中野35-16			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住宅地域
その他区域					
敷地面積	1,503.38㎡	建築面積	89.66㎡	延床面積	272.95㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1977年3月5日	経過年数 R2.4.1現在	43		

項目	内容
利用状況	R2年度は5戸数のうち5戸入居している。
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備　その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
主な設備　ＥＶ	
主な設備　給水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）
主な設備　排水	公共下水道
主な設備　給湯	局所式・ガス湯沸器
主な設備　消火	
劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1 管理人室漏水修繕　13千円、R1火災警報器更新 H29　105号給湯設備交換　105千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	13	13										
H30												
H29	105	105										
H28												
H27												
計	118	118										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	B異常有（経過観察）
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

項目	内容	
総合判定／優先度	修繕改修	優先度5
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 134千円 財源：一般財源	維持修繕 134千円 財源：一般財源	維持修繕 134千円 財源：一般財源	維持修繕 134千円 財源：一般財源	維持修繕 134千円 財源：一般財源	維持修繕 670千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.59

施設名／棟名	中井沢合同公舎（1号棟）			財産区分	行政財産
所在地	大船渡市猪川町中井沢56-2			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住宅地域
その他区域					
敷地面積	960.1㎡	建築面積	170.52㎡	延床面積	296.52㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1982年3月24日	経過年数 R2.4.1現在	38		
利用状況	R2年度は５戸数のうち５戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備	
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
ＥＶ	
給　水	水道直結方式・公共水道
排　水	公共下水道
給　湯	局所式・ガス湯沸器
消　火	

劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1 1-1蛇口交換 9千円、H31下水道接続工事（工事請負費：4,061千円）、R1火災警報器更新 H30 給排水修繕他　160千円、H30畳の表替え H29　1号排水つまり修繕他　35千円、給湯器更新工事　1,944千円 H28　浄化槽ポンプベルト交換他　94千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	4,070	9	4,061									
H30	160	160										
H29	1,979	35	1,944									
H28	94	94										
H27												
計	6,303	298	6,005									

【優先度評価】

建物性能	高～中
劣化度診断	B異常有（経過観察）
利用度	高～中
１次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
２次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度６
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 145千円 財源：一般財源	維持修繕 145千円 財源：一般財源	維持修繕 145千円 財源：一般財源	維持修繕 145千円 財源：一般財源	維持修繕 145千円 財源：一般財源	維持修繕 725千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№. 60

施設名／棟名	中井沢合同公舎（2号棟）			財産区分	行政財産
所在地	大船渡市猪川町中井沢56-2			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住宅地域
その他区域					
敷地面積	598.69㎡	建築面積	165.69㎡	延床面積	271.53㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1982年3月24日	経過年数 R2.4.1現在	38		
利用状況	R2年度は5戸数のうち5戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 2-9タンク内ボールタップ交換 5千円、R1火災警報器更新 H30 10号流し水漏れ修繕 21千円、H30畳の表替え H28 7号室浴室タイル修繕他 359千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	4,066	5	4,061									
H30	21	21										
H29	0											
H28	359	359										
H27	0											
計	4,446	385	4,061									

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 133千円 財源：一般財源	維持修繕 133千円 財源：一般財源	維持修繕 133千円 財源：一般財源	維持修繕 133千円 財源：一般財源	維持修繕 133千円 財源：一般財源	維持修繕 665千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　公舎№.61

施設名／棟名	堰口合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	大船渡市立根町字堰口25-10			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	2,285.64㎡	建築面積	272.25㎡	延床面積	584.25㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1982年3月24日	経過年数 R2.4.1現在	38		
利用状況	R2年度は13戸数のうち11戸入居している。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 EV					
主な設備 給水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	H30 自動火災報知設備修繕 31千円 H29 3階トイレ換気扇修繕他 121千円 H28 管理人室網戸窓枠交換他 22千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30	31	31										
H29	121	121										
H28	22	22										
H27												
計	174	174										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	B異常有（経過観察）
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 286千円 財源：一般財源	維持修繕 286千円 財源：一般財源	維持修繕 286千円 財源：一般財源	維持修繕 286千円 財源：一般財源	維持修繕 286千円 財源：一般財源	維持修繕 1,430千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.62

施設名／棟名	猪川単身公舎			財産区分	行政財産
所在地	大船渡市立根町字堰口25-22			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住宅地域
その他区域					
敷地面積	2,202㎡	建築面積	381.81㎡	延床面積	1,081.33㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1990年3月12日	経過年数 R2.4.1現在	30		

項目	内容
利用状況	R2年度は24戸数のうち24戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
主な設備 ＥＶ	
主な設備 給水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）
主な設備 排水	浄化槽
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器
主な設備 消火	
劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1 308号、208号漏水修繕他 1,206千円 H30 202号室配管修繕他 16千円 H29 203号トイレ修繕他 59千円、H29 駐車場外灯交換他 144千円 H28 職員公舎畳表替修繕他 1,841千円、H28 給水ポンプ一式取替他 1,080千円 H27 給湯器交換他 604千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	1,206	1,206										
H30	16	16										
H29	203	203										
H28	2,921	1,841	1,080									
H27	604	604										
計	4,950	3,870	1,080									

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

項目	内容	
総合判定／優先度	修繕改修	優先度5
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 530千円 財源：一般財源	維持修繕 530千円 財源：一般財源	維持修繕 530千円 財源：一般財源	維持修繕 530千円 財源：一般財源	維持修繕 530千円 財源：一般財源	維持修繕 2,650千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.63～65

施設名／棟名	松原公舎（5号、6号、10号、11号）			財産区分	行政財産
所在地	釜石市松原町1丁目46			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	466.97㎡	建築面積	138.84㎡	延床面積	138.84㎡
構造	木造	階数	地上1階		
竣工年度（建築年月）	1954年1月27日	経過年数 R2.4.1現在	66		
利用状況	R2年度は4戸数のうち4戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他 ＥＶ 給水 排水 給湯 消火					
劣化度調査					
定期点検					
修繕工事履歴	R1 地デジ受信改善 121千円 H29 漏水修理他 90千円 H28 地デジアンテナ修繕他 225千円 H27 台所床補強等修繕他 477千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	121	121										
H30												
H29	90	90										
H28	225	225										
H27	477	477										
計	913	913										

【優先度評価】

建物性能	中～低		
劣化度診断	C		
利用度	高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性	45:代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）		
見通し	△15:多用途使用見込み無		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕改修	優先度4		
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。			

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 68千円 財源：一般財源	維持修繕 68千円 財源：一般財源	維持修繕 68千円 財源：一般財源	維持修繕 68千円 財源：一般財源	維持修繕 68千円 財源：一般財源	維持修繕 340千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　公舎№.66

施設名／棟名	大平合同公舎1号棟			財産区分	行政財産
所在地	釜石市大平町2-3			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	1,928.43㎡	建築面積	195.6㎡	延床面積	586.8㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度 （建築年月）	1963年7月25日	経過年数 R2.4.1現在	57		
利用状況	R2年度は6戸数のうち5戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備　その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備　ＥＶ					
主な設備　給水	高層水槽方式・公共水道、タンク類（FRP製）				
主な設備　排水	公共下水道				
主な設備　給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備　消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 脱衣室床修繕他　130千円、R1.9火災警報器更新 H30　出入口修繕他　276千円 H29　給水設備修繕　23千円 H27　畳入替修繕　3,111千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	130	130										
H30	276	276										
H29	23	23										
H28	0											
H27	3,111	3,111										
計	3,540	3,540										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	B異常有（経過観察）
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度4
評価結果 （コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用 【充当財源（見込）】	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 1,440千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.67

施設名／棟名	大平合同公舎2号棟			財産区分	行政財産
所在地	釜石市大平町2-3			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	1,928.43㎡	建築面積	195.6㎡	延床面積	586.8㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1963年7月25日	経過年数 R2.4.1現在	57		

項目	内容
利用状況	R2年度は6戸数のうち5戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
主な設備 ＥＶ	
主な設備 給水	高置水槽方式・公共水道
主な設備 排水	浄化槽
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器
主な設備 消火	
劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1 給湯器修繕 3千円 H30 照明器具修繕 23千円 H29 ラッキングエ事他 472千円 H28 給湯器修繕 17千円 H27 畳入替修繕 3,111千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	3	3										
H30	23	23										
H29	472	472										
H28	17	17										
H27	3,111	3,111										
計	3,626	3,626										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	B異常有（経過観察）
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度4
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 1,440千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.68

施設名／棟名	大畑合同宿舎1号棟			財産区分	行政財産
所在地	釜石市甲子町第8地割1-9			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	2,093.55㎡	建築面積	142.58㎡	延床面積	448.09㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1971年1月1日	経過年数 R2.4.1現在	49		
利用状況	R2年度は11戸数のうち8戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 バッテリー交換他 60千円、R1.9火災警報器更新 H30 畳入替修繕他 208千円 H29 照明修繕他 38千円 H28 水道管修繕 99千円 H27 畳入替修繕 909千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	60	60										
H30	208	208										
H29	38	38										
H28	99	99										
H27	909	909										
計	1,314	1,314										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	B異常有（経過観察）
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 220千円 財源：一般財源	維持修繕 220千円 財源：一般財源	維持修繕 220千円 財源：一般財源	維持修繕 220千円 財源：一般財源	維持修繕 220千円 財源：一般財源	維持修繕 1,100千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.69

施設名／棟名	大畑合同宿舎2号棟			財産区分	行政財産
所在地	釜石市甲子町第8地割1-9			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	2,093.55㎡	建築面積	221.71㎡	延床面積	561.66㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1980年3月31日	経過年数 R2.4.1現在	40		
利用状況	R2年度は16戸数のうち10戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備	
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
ＥＶ	
給　水	高置水槽方式・公共水道
排　水	浄化槽
給　湯	局所式・ガス湯沸器
消　火	

項目	内容
劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1 し尿浄化槽修繕他 2千円、R1.9火災警報器更新 H30 畳入替修繕他 223千円 H29 畳入替修繕他 139千円 H28 公舎点検に基づく修繕他 630千円 H27 外玄関灯等修繕他 1,229千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	2	2										
H30	223	223										
H29	139	139										
H28	630	630										
H27	1,229	1,229										
計	2,223	2,223										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	B異常有（経過観察）
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 275千円 財源：一般財源	維持修繕 275千円 財源：一般財源	維持修繕 275千円 財源：一般財源	維持修繕 275千円 財源：一般財源	維持修繕 275千円 財源：一般財源	維持修繕 1,375千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　公舎№.　70

施設名／棟名	野田合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	釜石市野田町5丁目18-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	856.73㎡	建築面積	177.04㎡	延床面積	531.12㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1969年8月1日	経過年数 R2.4.1現在	51		
利用状況	R2年度は12戸数のうち12戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
ＥＶ					
給水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）				
排水	公共下水道				
給湯	局所式・ガス湯沸器				
消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 換気扇交換修繕 39千円、R1.9火災報知器更新 H30 畳入替修繕 150千円 H29 BSアンテナ修繕他 121千円 H28 玄関灯修繕 100千円 H27 洗面排水トラップ修繕他 414千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	39	39										
H30	150	150										
H29	121	121										
H28	100	100										
H27	414	414										
計	824	824										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 1,300千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.71

施設名／棟名	中妻合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	釜石市中妻町3丁目10-25			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	近隣商業地域
その他区域					
敷地面積	410.46㎡	建築面積	206.4㎡	延床面積	482.4㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1980年1月29日	経過年数 R2.4.1現在	40		

項目	内容
利用状況	R2年度は8戸数のうち7戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
主な設備 EV	
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道
主な設備 排水	公共下水道
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器
主な設備 消火	
劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1 排水不良修繕他 462千円 H30 排水不良修繕他 199千円、H30 給湯設備更新 4,326千円 H29 樹脂サッシ修繕 311千円 H28 畳入替修繕他 1,975千円 H27 トイレ修繕他 255千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	462	462										
H30	4,525	199		4,326								
H29	311	311										
H28	1,975	1,975										
H27	255	255										
計	7,528	3,202		4,326								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度5
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 236千円 財源：一般財源	維持修繕 236千円 財源：一般財源	維持修繕 236千円 財源：一般財源	維持修繕 236千円 財源：一般財源	維持修繕 236千円 財源：一般財源	維持修繕 1,180千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.　72

施設名／棟名	小佐野職員公舎			財産区分	行政財産
所在地	釜石市小佐野町3-4-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	1,926㎡	建築面積	641.88㎡	延床面積	2,260.09㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上4階		
竣工年度（建築年月）	1992年3月25日	経過年数 R2.4.1現在	28		
利用状況	R2年度は40戸数のうち37戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備　その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備　ＥＶ					
主な設備　給水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）				
主な設備　排水	公共下水道				
主な設備　給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備　消火	屋内消火栓				
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 ガス漏れ警報器交換修繕他　2,880千円、R1.9火災警報器更新 H30　インターフォン修繕他　507千円 H29　自火報修繕他　503千円 H28　漏水修繕　3,019千円 H27　ロータンク修繕他　459千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	2,880	2,880										
H30	507	507										
H29	503	503										
H28	3,019	3,019										
H27	459	459										
計	7,368	7,368										

【優先度評価】

建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 1,107千円 財源：一般財源	維持修繕 1,107千円 財源：一般財源	維持修繕 1,107千円 財源：一般財源	維持修繕 1,107千円 財源：一般財源	維持修繕 1,107千円 財源：一般財源	維持修繕 5,535千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No. 73

施設名／棟名	千徳合同公舎（1号棟）			財産区分	行政財産
所在地	宮古市大字千徳字太田51-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	1425.47㎡	建築面積	195.6㎡	延床面積	586.8㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1963年5月31日	経過年数 R2.4.1現在	57		
利用状況	R2年度は12戸数のうち12戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 換気扇修繕他 217千円 H30 203号洗面台シャワーホース修繕他 122千円、H30畳の表替え H29 303号室物置鍵修理他 92千円 H28 301号洗面台修理 127千円 H27 304号室引戸修理他 51千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	217	217										
H30	122	122										
H29	92	92										
H28	127	127										
H27	51	51										
計	609	609										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 288千円 財源：一般財源	維持修繕 1,440千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.74

施設名／棟名	千徳合同公舎（3号棟）			財産区分	行政財産
所在地	宮古市千徳第5地割太田49-4			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	1,097.52㎡	建築面積	99.17㎡	延床面積	197.42㎡
構　　造	コンクリートブロック造	階　　数	地上2階		
竣工年度 （建築年月）	1965年2月26日	経過年数 R2.4.1現在	55		
利用状況	R2年度は4戸数のうち3戸入居している。1戸については老朽化が著しいため空室としている。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 102床下点検口設置　34千円 H30 104号トイレ修繕　57千円、H30畳の表替え H29　103号室給湯器交換　138千円 H28　1号室、2号室凍結修理他　153千円 H27　2号室混合水栓交換修理　30千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	34	34										
H30	57	57										
H29	138	138										
H28	153	153										
H27	30	30										
計	412	412										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5
評価結果 （コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用 【充当財源（見込）】	維持修繕 97千円 財源：一般財源	維持修繕 97千円 財源：一般財源	維持修繕 97千円 財源：一般財源	維持修繕 97千円 財源：一般財源	維持修繕 97千円 財源：一般財源	維持修繕 485千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　公舎No.75

施設名／棟名	千徳合同公舎（4号棟）			財産区分	行政財産
所在地	宮古市千徳第5地割太田49-4			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	1,097.52㎡	建築面積	98.21㎡	延床面積	197.58㎡
構造	コンクリートブロック造	階数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1966年12月15日	経過年数 R2.4.1現在	54		
利用状況	R2年度は4戸数のうち3戸入居している。1戸については老朽化が著しいため空室としている。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	H30 102号室台所水栓修繕 11千円、H30畳の表替え H29 1号室漏水修繕他 49千円 H27 4号室混合水栓修理 7千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30	11	11										
H29	49	49										
H28												
H27	7	7										
計	67	67										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 97千円 財源：一般財源	維持修繕 97千円 財源：一般財源	維持修繕 97千円 財源：一般財源	維持修繕 97千円 財源：一般財源	維持修繕 97千円 財源：一般財源	維持修繕 485千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　　公舎No.76

施設名／棟名	千徳合同公舎（2号棟）			財産区分	行政財産
所在地	宮古市大字千徳字太田51-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	1425.47㎡	建築面積	215.99㎡	延床面積	431.93㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	2008年10月18日	経過年数 R2.4.1現在	12		
利用状況	R2年度は10戸数のうち10戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	なし				
修繕工事履歴					

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度６
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 212千円 財源：一般財源	維持修繕 212千円 財源：一般財源	維持修繕 212千円 財源：一般財源	維持修繕 212千円 財源：一般財源	維持修繕 212千円 財源：一般財源	維持修繕 1,060千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.　77

施設名／棟名	緑ヶ丘合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	宮古市緑ヶ丘4-29			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	263.69㎡	建築面積	114.58㎡	延床面積	229.16㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1973年3月31日	経過年数 R2.4.1現在	47		
利用状況	R2年度は6戸数のうち6戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 冷暖房	局所暖房方式（FFストーブ等）、局所冷暖房方式（エアコン等）				
主な設備 熱　源					
主な設備 給　水	水道直結方式・公共水道				
主な設備 排　水	公共下水道				
主な設備 給　湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消　火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1　給湯器更新他 1,329千円　 H31畳の表替え H28 4号窓鍵および居室照明修理他 112千円 H27　2号室換気扇交換修理　31千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	1,329			1,329								
H30												
H29												
H28	112	112										
H27	31	31										
計	1,472	143	0	1,329								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（→）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 112千円 財源：一般財源	維持修繕 112千円 財源：一般財源	維持修繕 112千円 財源：一般財源	維持修繕 112千円 財源：一般財源	維持修繕 112千円 財源：一般財源	維持修繕 560千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No. 78

施設名／棟名	西ヶ丘合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	宮古市西ケ丘3丁目10-3			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	2028.64㎡	建築面積	457.8㎡	延床面積	1272.6㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1984年2月1日	経過年数 R2.4.1現在	36		
利用状況	R2年度は18戸数のうち18戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火					
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 101号室台所改修 220千円 H30 受水槽定位水位弁交換他 163千円 H27 206号室ガス栓交換 84千円、H27 改修工事 994千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	220	220										
H30	163	163										
H29	0											
H28	0											
H27	1,078	84	994									
計	1,461	467	994									

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 624千円 財源：一般財源	維持修繕 624千円 財源：一般財源	維持修繕 624千円 財源：一般財源	維持修繕 624千円 財源：一般財源	維持修繕 624千円 財源：一般財源	維持修繕 3,120千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.　79

項目	内容	項目	内容
施設名／棟名	西ヶ丘合同宿舎	財産区分	行政財産
所在地	宮古市西ケ丘3丁目10-3	施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内　防火地域：指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
その他区域			
敷地面積	1556.63㎡　建築面積：211.7㎡	延床面積	606.42㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上3階
竣工年度（建築年月）	1986年3月27日	経過年数 R2.4.1現在	34

項目	内容
利用状況	R2年度は19戸数のうち16戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備：その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
主な設備：ＥＶ	
主な設備：給水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）
主な設備：排水	公共下水道
主な設備：給湯	局所式・ガス湯沸器
主な設備：消火	
劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1 給水ポンプ修繕 717千円、H31畳の表替え H30 ボイラー修繕 175千円 H29 206号室台所修繕他　478千円 H28 301号室玄関鍵修理他 383千円 H27 脱衣所照明器具修繕他　601千円、H27 電気子メーター更新工事 4,000千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	717	717										
H30	175	175										
H29	478	478										
H28	383	383										
H27	4,601	601		4,000								
計	6,354	2,354		4,000								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

項目	内容	
総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 297千円 財源：一般財源	維持修繕 297千円 財源：一般財源	維持修繕 297千円 財源：一般財源	維持修繕 297千円 財源：一般財源	維持修繕 297千円 財源：一般財源	維持修繕 1,485千円 財源：一般財源

個別施設計画(個票)　　公舎No.　80

施設名／棟名	五月町職員公舎			財産区分	行政財産
所在地	宮古市五月町2-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	近隣商業地域
その他区域					
敷地面積	3765.07㎡	建築面積	662.49㎡	延床面積	2452㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上4階		
竣工年度（建築年月）	1991年3月25日	経過年数 R2.4.1現在	29		
利用状況	R2年度は56戸数のうち56戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備:テレビ共同受信設備				
主な設備 EV					
主な設備 給水	加圧送水方式・公共水道、ポンプ類（揚水ポンプ）				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火	屋内消火栓				
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1ドアクローザー交換他 2,110千円 H30 給水ポンプ修繕他 571千円、H30畳の表替え H29 402号台所換気扇修繕他 84千円 H28 401号室台所照明器具修繕他 144千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	2,110	2,110										
H30	571	571										
H29	84	84										
H28	144	144										
H27												
計	2,909	2,909										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45:代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15:多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 1,201千円 財源:一般財源	維持修繕 1,201千円 財源:一般財源	維持修繕 1,201千円 財源:一般財源	維持修繕 1,201千円 財源:一般財源	維持修繕 1,201千円 財源:一般財源	維持修繕 6,005千円 財源:一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.　81

施設名／棟名	土橋職員公舎			財産区分	行政財産
所在地	下閉伊郡岩泉町岩泉字土橋21-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住宅地域
その他区域					
敷地面積	1035.5㎡	建築面積	177.04㎡	延床面積	531.12㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1968年3月1日	経過年数 R2.4.1現在	52		
利用状況	R2年度は12戸数のうち12戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備	
その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
ＥＶ	
冷暖房	
熱　源	
給　水	水道直結方式・公共水道
排　水	公共下水道
給　湯	局所式・ガス湯沸器
消　火	粉末消火

劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1 ガス給湯器交換 132千円 H30　浴室換気扇交換 16千円 H28　201号換気扇修繕　21千円、H28 給湯設備更新工事 745千円 H15.3床、壁、浴槽の改修

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	132	132										
H30	16	16										
H29	0											
H28	766	21		745								
H27												
計	914	169		745								

【優先度評価】

建物性能	高～中		
劣化度診断	A異常無		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性	55：代替施設有（家賃補助）		
見通し	△15：多用途使用見込み無		
2次評価	Ⅲ（50点～40点）		

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5				
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。					

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 1,300千円 財源：一般財源

個別施設計画(個票)　　公舎No.　82

施設名／棟名	土橋合同宿舎			財産区分	行政財産
所在地	下閉伊郡岩泉町岩泉字土橋19			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住宅地域
その他区域					
敷地面積	1539.29㎡	建築面積	275.7㎡	延床面積	674.24㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度(建築年月)	1978年3月1日	経過年数 R2.4.1現在	42		
利用状況	R2年度は21戸数のうち19戸入居している。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備:テレビ共同受信設備				
主な設備 EV					
主な設備 給水	高層水槽方式・公共水道、ポンプ類(揚水ポンプ)				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)				
修繕工事履歴	R1 便所詰まり除去他 103千円 H28 210号照明修繕他 3,716千円 H27 電力計更新他 1,711千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	103	103										
H30												
H29												
H28	3,716	3,716										
H27	1,711	1,711										
計	5,530	5,530										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	55:代替施設有(家賃補助)
見通し	△15:多用途使用見込み無
2次評価	Ⅲ(50点～40点)

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5
評価結果(コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	維持修繕 330千円 財源:一般財源	維持修繕 330千円 財源:一般財源	維持修繕 330千円 財源:一般財源	維持修繕 330千円 財源:一般財源	維持修繕 330千円 財源:一般財源	維持修繕 1,650千円 財源:一般財源

個別施設計画(個票)

公舎No. 83

施設名／棟名	片畑合同公舎(3号棟)			財産区分	行政財産
所在地	下閉伊郡岩泉町岩泉字片畑7			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	準工業地域
その他区域					
敷地面積	541.19㎡	建築面積	154.93㎡	延床面積	453.15㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階		
竣工年度(建築年月)	1981年3月27日	経過年数 R2.4.1現在	39		

項目	内容
利用状況	R2年度は6戸数のうち6戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備 その他	弱電設備:テレビ共同受信設備
主な設備 E V	
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道
主な設備 排水	公共下水道
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器
主な設備 消火	粉末消火
劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)
修繕工事履歴	R1 ガス給湯器交換 262千円 H30 下水設備補修工事 1,188千円 H29 下水設備応急補修他 493千円 H28 下水修繕 27千円 H27 308号畳替え 34千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	262	262										
H30	1,188		1,188									
H29	493	493										
H28	27	27										
H27	34	34										
計	2,004	816	1,188									

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	55:代替施設有(家賃補助)
見通し	△15:多用途使用見込み無
2次評価	Ⅲ(50点～40点)

【総合判定】

項目	内容	
総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5
評価結果(コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	維持修繕 222千円 財源:一般財源	維持修繕 222千円 財源:一般財源	維持修繕 222千円 財源:一般財源	維持修繕 222千円 財源:一般財源	維持修繕 222千円 財源:一般財源	維持修繕 1,110千円 財源:一般財源

個別施設計画(個票)　　公舎No.　84

施設名／棟名	中野職員公舎			財産区分	行政財産
所在地	下閉伊郡岩泉町岩泉中野40-117			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	商業地域
その他区域					
敷地面積	1314.33㎡	建築面積	257.51㎡	延床面積	510.3㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上2階		
竣工年度(建築年月)	1995年3月23日	経過年数 R2.4.1現在	25		

項目	内容
利用状況	R2年度は9戸数のうち9戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備 その他	弱電設備:テレビ共同受信設備
主な設備 EV	
主な設備 給水	加圧送水方式・公共水道、タンク類(鋼製)
主な設備 排水	公共下水道
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器
主な設備 消火	粉末消火
劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)
修繕工事履歴	H30 畳交換 48千円 H28 給水ポンプ修繕他 487千円 H27 受水槽ボールタップ交換他 170千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30	48	48										
H29												
H28	487	487										
H27	170	170										
計	705	705										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	中～低
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	55:代替施設有(家賃補助)
見通し	△15:多用途使用見込み無
2次評価	Ⅲ(50点～40点)

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度5
評価結果(コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕(令和2年度～令和6年度)					
概算費用【充当財源(見込)】	維持修繕 250千円 財源:一般財源	維持修繕 250千円 財源:一般財源	維持修繕 250千円 財源:一般財源	維持修繕 250千円 財源:一般財源	維持修繕 250千円 財源:一般財源	維持修繕 1,250千円 財源:一般財源

個別施設計画（個票）　　公舎№.　85

施設名／棟名	天神堂単身公舎			財産区分	行政財産
所在地	久慈市天神堂第37地割177-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	4359.06㎡	建築面積	503.59㎡	延床面積	1336.77㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1989年3月22日	経過年数 R2.4.1現在	31		

項目	内容
利用状況	R2年度は25戸数のうち25戸入居している。
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備　その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
主な設備　ＥＶ	
主な設備　給水	加圧送水方式・公共水道、ポンプ類（自動給水ポンプユニット）、タンク類（鋼製）
主な設備　排水	公共下水道
主な設備　給湯	局所式・ガス湯沸器
主な設備　消火	粉末消火
劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1 208号室換気扇点検他　76千円 H30　3階廊下東側防火扉修繕他　151千円 H29　管理人室台所換気扇修繕他　177千円 H28　210号室水道パイプ修繕他　211千円 H27　301号室トイレ水栓修繕　159千円、H27給湯設備更新工事

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	76	76										
H30	151	151										
H29	177	177										
H28	211	211										
H27	159	159										
計	774	774										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	B異常有（経過観察）
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

項目	内容	
総合判定／優先度	維持管理	優先度６
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 655千円 財源：一般財源	維持修繕 655千円 財源：一般財源	維持修繕 655千円 財源：一般財源	維持修繕 655千円 財源：一般財源	維持修繕 655千円 財源：一般財源	維持修繕 3,275千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.　86

施設名／棟名	天神堂合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	久慈市天神堂第37地割177-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種中高層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	4359.06㎡	建築面積	466.04㎡	延床面積	1319.76㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1988年3月24日	経過年数 R2.4.1現在	32		
利用状況	R2年度は18戸数のうち16戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
E V					
給　水	加圧送水方式・公共水道、ポンプ類（自動給水ポンプユニット）、タンク類（鋼製）				
排　水	公共下水道				
給　湯	局所式・ガス湯沸器				
消　火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 206号室コンセント修繕他　45千円、 H30　306号室トイレ修繕他　140千円、H30給湯設備更新工事、H30火災警報器更新 H29　受水槽クラック修繕　25千円 H28　206号室浴室排水溝修繕他　412千円 H27　102号室洗濯用水栓漏水修繕他　188千円、H26舗装工事、H22床面修繕工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	45	45										
H30	140	140										
H29	25	25										
H28	412	412										
H27	188	188										
計	810	810										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 647千円 財源：一般財源	維持修繕 647千円 財源：一般財源	維持修繕 647千円 財源：一般財源	維持修繕 647千円 財源：一般財源	維持修繕 647千円 財源：一般財源	維持修繕 3,235千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　　公舎№.　87

施設名／棟名	小久慈合同宿舎（1号棟）			財産区分	行政財産
所在地	久慈市小久慈町第36地割5-35			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	7112.01㎡	建築面積	165.08㎡	延床面積	437.38㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1970年6月1日	経過年数 R2.4.1現在	50		
利用状況	R2年度は９戸数のうち８戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
ＥＶ					
給水	水道直結方式・公共水道				
排水	公共下水道				
給湯	局所式・ガス湯沸器				
消火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 201号室浴室換気扇修繕他　231千円 H30　204号室ガス給湯器修繕他　117千円、H30火災警報器更新 H29　303及び204号室給湯器修繕他　346千円 H27外壁補修工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	231	231										
H30	117	117										
H29	346	346										
H28												
H27												
計	694	694										

【優先度評価】

建物性能	高～中		
劣化度診断	A異常無		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）		
見通し	△15：多用途使用見込み無		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理　優先度6		
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。		

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 214千円 財源：一般財源	維持修繕 214千円 財源：一般財源	維持修繕 214千円 財源：一般財源	維持修繕 214千円 財源：一般財源	維持修繕 214千円 財源：一般財源	維持修繕 1,070千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　　公舎No.　88

施設名／棟名	小久慈合同宿舎（2号棟）			財産区分	行政財産
所在地	久慈市小久慈町第36地割5-35			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	7112.01㎡	建築面積	169.26㎡	延床面積	464.77㎡
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1976年3月8日	経過年数 R2.4.1現在	44		
利用状況	R2年度は9戸数のうち8戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 211号室パッキン修繕 3千円 H30 火災警報器更新 H27 2号棟共聴設備調査他 396千円 H23 通排気管修繕工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	3	3										
H30												
H29												
H28												
H27	396	396										
計	399	399										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理　優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 228千円 財源：一般財源	維持修繕 228千円 財源：一般財源	維持修繕 228千円 財源：一般財源	維持修繕 228千円 財源：一般財源	維持修繕 228千円 財源：一般財源	維持修繕 1,140千円 財源：一般財源

個別施設計画(個票)　　公舎№. 89

施設名／棟名	小久慈合同公舎(1号棟)			財産区分	行政財産
所在地	久慈市小久慈町第36地割5-11			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	7112.01㎡	建築面積	273.75㎡	延床面積	820.9㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度(建築年月)	1964年3月1日	経過年数 R2.4.1現在	56		
利用状況	R2年度は18戸数のうち18戸入居している。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備:テレビ共同受信設備				
主な設備 E V					
主な設備 給 水	水道直結方式・公共水道				
主な設備 排 水	公共下水道				
主な設備 給 湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消 火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)				
修繕工事履歴	H30火災警報器更新 H28 203号室　壁修繕　31千円、H28下水道接続工事 H27 駐車場照明取替修繕 28千円 H24屋上パラペット修繕工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28	31	31										
H27	28	28										
計	59	59										

【優先度評価】

項目	評価		
建物性能	中～低		
劣化度診断	A異常無		
利用度	高～中		
1次評価	修繕・改修		
重要性	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
見通し	△15:多用途使用見込み無		
2次評価	Ⅳ(40点未満)		

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度5		
評価結果(コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。			

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	維持修繕 402千円 財源:一般財源	維持修繕 402千円 財源:一般財源	維持修繕 402千円 財源:一般財源	維持修繕 402千円 財源:一般財源	維持修繕 402千円 財源:一般財源	維持修繕 2,010千円 財源:一般財源

個別施設計画(個票)　公舎No.　90

施設名／棟名	小久慈合同公舎(2号棟)			財産区分	行政財産
所在地	久慈市小久慈町第36地割5-11			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	7112.01㎡	建築面積	185.2㎡	延床面積	555.6㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度(建築年月)	1967年6月20日	経過年数 R2.4.1現在	53		
利用状況	R2年度は12戸数のうち12戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				

主な設備	
その他	弱電設備:テレビ共同受信設備
ＥＶ	
冷暖房	
熱源	
給水	水道直結方式・公共水道
排水	公共下水道
給湯	局所式・ガス湯沸器
消火	粉末消火

劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)
修繕工事履歴	H30火災警報器更新 H29　2号棟雨樋修繕他　301千円 H28　208号室便座修繕他　5千円 H27　308号室引き戸修繕　25千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29	301	301										
H28	5	5										
H27	25	25										
計	331	331										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)
見通し	△15:多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ(40点未満)

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修	優先度6
評価結果(コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	維持修繕 272千円 財源:一般財源	維持修繕 272千円 財源:一般財源	維持修繕 272千円 財源:一般財源	維持修繕 272千円 財源:一般財源	維持修繕 272千円 財源:一般財源	維持修繕 1,360千円 財源:一般財源

個別施設計画（個票）　　公舎No.　91

施設名／棟名	小久慈合同公舎（3号棟）	財産区分	行政財産
所在地	久慈市小久慈町第36地割5-11	施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内　防火地域　指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域			
敷地面積	7112.01㎡　建築面積　185.2㎡	延床面積	555.6㎡
構　造	鉄筋コンクリート造　階　数　地上3階		
竣工年度（建築年月）	1968年3月1日　経過年数 R2.4.1現在		52
利用状況	R2年度は12戸数のうち９戸入居している。		
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。		
主な設備　その他	弱電設備：テレビ共同受信設備		
ＥＶ			
給水	水道直結方式・公共水道		
排水	公共下水道		
給湯	局所式・ガス湯沸器		
消火	粉末消火		
劣化度調査	なし		
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）		
修繕工事履歴	R1 312号室浴室換気扇修繕他　294千円 H30 113号室換気扇修繕 25千円、H30火災警報器更新 H29　１１１号室浴室換気扇修繕　20千円 H28　211号室洗面化粧台配管漏水修繕他　107千円 H27　313号室混合栓漏水修理　48千円		

直近５年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新
R1	294	294		
H30	25	25		
H29	20	20		
H28	107	107		
H27	48	48		
計	494	494		

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修　優先度６
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 272千円 財源：一般財源	維持修繕 272千円 財源：一般財源	維持修繕 272千円 財源：一般財源	維持修繕 272千円 財源：一般財源	維持修繕 272千円 財源：一般財源	維持修繕 1,360千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.　92

施設名／棟名	寺里職員公舎（1号棟）			財産区分	行政財産
所在地	久慈市寺里30-71-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	5747.02㎡	建築面積	486.85㎡	延床面積	963.65㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上2階		
竣工年度（建築年月）	1996年3月27日	経過年数 R2.4.1現在	24		
利用状況	R2年度は20戸数のうち20戸入居している。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	水道直結方式・公共水道				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1 212号室天井修繕他　281千円 H30　物置アルミ建具取替え他　1,022千円 H29　寺里公舎街灯修繕　11千円、H29舗装工事 H28　204号室便器修繕他　201千円 H27　トイレ換気扇修繕工事他　74千円、H27下水道工事、H25玄関舗装工事				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	281	281										
H30	1,022	1022										
H29	11	11										
H28	201	201										
H27	74	74										
計	1,589	1589										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 472千円 財源：一般財源	維持修繕 472千円 財源：一般財源	維持修繕 472千円 財源：一般財源	維持修繕 472千円 財源：一般財源	維持修繕 472千円 財源：一般財源	維持修繕 2360千円 財源：一般財源

個別施設計画(個票)

公舎№.　93

施設名／棟名	寺里職員公舎(2号棟)			財産区分	行政財産
所在地	久慈市寺里30-71-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
その他区域					
敷地面積	5747.02㎡	建築面積	486.85㎡	延床面積	963.65㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　　数	地上2階		
竣工年度 (建築年月)	1996年3月27日	経過年数 R2.4.1現在	24		
利用状況	R2年度は20戸数のうち20戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備　その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備　ＥＶ					
主な設備　給水	水道直結方式・公共水道				
主な設備　排水	公共下水道				
主な設備　給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備　消火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)				
修繕工事履歴	R1 210号室トイレ壁紙修繕他　66千円 H30　玄関階段及び舗装修繕他　662千円、H30北側階段修繕工事、H30屋上防水シート補修工事 H29　汚水枡修繕他　85千円 H28　211号室ガス給湯器交換他　277千円 H27　211号室混合栓漏水修繕他　112千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	66	66										
H30	662	662										
H29	85	85										
H28	277	277										
H27	112	112										
計	1,202	1,202										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45：代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)
見通し	△15：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ(40点未満)

【総合判定】

項目	内容	
総合判定／優先度	維持管理	優先度6
評価結果 (コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕(令和2年度～令和6年度)					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 472千円 財源：一般財源	維持修繕 472千円 財源：一般財源	維持修繕 472千円 財源：一般財源	維持修繕 472千円 財源：一般財源	維持修繕 472千円 財源：一般財源	維持修繕 2,360千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

公舎№.　94

施設名／棟名	中曽根合同公舎			財産区分	行政財産
所在地	二戸市石切所字中曽根22-1			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住宅地域
その他区域					
敷地面積	1495.51㎡	建築面積	177.04㎡	延床面積	531.12㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1968年4月1日	経過年数 R2.4.1現在	52		

項目	内容
利用状況	R2年度は12戸数のうち12戸入居している。
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。
主な設備　その他	弱電設備：テレビ共同受信設備
主な設備　ＥＶ	
主な設備　給水	加圧送水方式・公共水道、ポンプ類（自動給水ポンプユニット）、タンク類（鋼製）
主な設備　排水	公共下水道
主な設備　給湯	局所式・ガス湯沸器
主な設備　消火	粉末消火
劣化度調査	なし
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）
修繕工事履歴	R1 ポンプ室天井断熱工事他　155千円、H31　309号室給湯器、H31　309号室水抜栓パッキン交換 H30　ガス給湯器交換修繕　80千円 H29　給水ポンプ修繕他　312千円、H29給水ポンプ更新工事　1,211千円 H28　下水配管閉塞開通高圧洗浄他　149千円 H27　給水ポンプ修繕（1号機）他　226千円

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	155	155										
H30	80	80										
H29	1,523	312		1,211								
H28	149	149										
H27	226	226										
計	2,133	922		1,211								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△20：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ（40点未満）

【総合判定】

項目	内容	
総合判定／優先度	修繕・改修	優先度6
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。	

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 260千円 財源：一般財源	維持修繕 1,300千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）　　公舎No.　95

施設名／棟名	中曽根職員公舎（単身用）			財産区分	行政財産
所在地	二戸市石切所字中曽根13-2			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住宅地域
その他区域					
敷地面積	2564.821㎡	建築面積	637.34㎡	延床面積	2022.49㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度（建築年月）	1993年3月9日	経過年数 R2.4.1現在	27		
利用状況	R2年度は44戸数のうち39戸入居している。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備　その他	弱電設備：テレビ共同受信設備				
主な設備　ＥＶ					
主な設備　給水	加圧送水方式・公共水道、ポンプ類（自動給水ポンプユニット）、タンク類（鋼製）				
主な設備　排水	公共下水道				
主な設備　給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備　消火	屋内消火栓・粉末消火、ポンプ類（消火ポンプユニット）、タンク類（呼水槽）				
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）				
修繕工事履歴	R1　洋便器取替他　111千円、R1給湯設備更新工事 3,850千円 H30　混合水栓交換工事　445千円 H29　ガス漏れ警報器修繕他　501千円 H28　給湯配管水漏れ修繕　468千円、H28　防水ほか修繕工事　2,484千円 H27　管理室スイッチ修理　474千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	3,961	111		3,850								
H30	445	445										
H29	501	501										
H28	2,952	468		2,484								
H27	474	474										
計	8,333	1,999		6,334								

【優先度評価】

建物性能	高～中		
劣化度診断	B異常有（経過観察）		
利用度	高～中		
1次評価	維持管理		
重要性	45：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）		
見通し	△15：多用途使用見込み無		
2次評価	Ⅳ（40点未満）		

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理　優先度６		
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。		

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	維持修繕 991千円 財源：一般財源	維持修繕 991千円 財源：一般財源	維持修繕 991千円 財源：一般財源	維持修繕 991千円 財源：一般財源	維持修繕 991千円 財源：一般財源	維持修繕 4,955千円 財源：一般財源

個別施設計画(個票)　　公舎№.　96

施設名／棟名	中曽根職員公舎(世帯用)			財産区分	行政財産
所在地	二戸市石切所字中曽根13-2			施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住宅地域
その他区域					
敷地面積	2564.821㎡	建築面積	157.1㎡	延床面積	442.02㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上3階		
竣工年度(建築年月)	1993年3月9日	経過年数 R2.4.1現在	27		
利用状況	R2年度は5戸数のうち4戸入居している。				
社会情勢等変化の対応／公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。				
主な設備 その他	弱電設備:テレビ共同受信設備				
主な設備 ＥＶ					
主な設備 給水	加圧送水方式・公共水道、ポンプ類(自動給水ポンプユニット)、タンク類(鋼製)				
主な設備 排水	公共下水道				
主な設備 給湯	局所式・ガス湯沸器				
主な設備 消火	粉末消火				
劣化度調査	なし				
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)				
修繕工事履歴	R1 押入壁修繕及びハウスクリーニング 66千円 H29 漏水修繕他 49千円 H28 クロス替え・畳表裏替え 99千円 H27 トイレ換気扇修繕他 310千円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	66	66										
H30	0											
H29	49	49										
H28	99	99										
H27	310	310										
計	524	524										

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)
見通し	△15:多用途使用見込み無
2次評価	Ⅳ(40点未満)

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理　優先度6
評価結果(コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	維持修繕 217千円 財源:一般財源	維持修繕 217千円 財源:一般財源	維持修繕 217千円 財源:一般財源	維持修繕 217千円 財源:一般財源	維持修繕 217千円 財源:一般財源	維持修繕 1085千円 財源:一般財源

個別施設計画（個票）

公舎No.　97

施設名／棟名	南青山合同公舎	財産区分	行政財産
所在地	東京都港区南青山2丁目13-66（399）	施設類型	職員公舎
都市計画区域	都市計画区域内　防火地域　準防火地域	用途地域	第二種住宅地域
その他区域			
敷地面積	726.75㎡　建築面積　275.57㎡	延床面積	1150.8㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	地上５階
竣工年度（建築年月）	1987年3月19日	経過年数 R2.4.1現在	33
利用状況	R2年度は20戸のうち19戸入居している。		
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。		
主な設備　ＥＶ	常用EV1基		
冷暖房	局所冷暖房方式（エアコン）		
熱　源			
給　水	加圧送水方式・公共水道、タンク類（FRP製）		
排　水	公共下水道		
給　湯	局所式		
消　火	粉末消火		
劣化度調査	なし		
定期点検	H27～R1建築物点検（早急に改修する指摘事項なし）		
修繕工事履歴	R1 トイレ照明器具修繕他　2,838千円　エアコン更新1,155千円 H30　台所水栓修繕他　2,124千円、H30火災警報器更新 H29　101号室エアコン修繕他　2,189千円 H28　204号浴室折れ戸修繕他　1,164千円 H27　101号室トイレ便器交換修繕　2,237千円		

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	3,993	2,838		1,155								
H30	2,124	2,124										
H29	2,189	2,189										
H28	1,164	1,164										
H27	2,237	2,237										
計	11,707	10,552		1,155								

【優先度評価】

項目	評価
建物性能	高～中
劣化度診断	A異常無
利用度	高～中
1次評価	維持管理
重要性	50：代替施設有（賃貸アパート、家賃補助）
見通し	△10：多用途使用見込み無
2次評価	Ⅲ

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理　優先度５
評価結果（コメント）	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）	・屋根外壁改修（設計）	・屋根外壁改修（工事）			
概算費用【充当財源（見込）】	計　564千円 維持修繕 564千円 財源：一般財源	計　4,062千円 外壁改修設計 3,498千円 維持修繕 564千円 財源：一般財源	計　51,802千円 外壁改修工事 51,238千円 維持修繕 564千円 財源：一般財源	計　564千円 維持修繕 564千円 財源：一般財源	計　564千円 維持修繕 564千円 財源：一般財源	維持修繕 47,556千円 財源：一般財源

個別施設計画（個票）

その他No.　1

施設名／棟名	岩手県防災航空センター			財産区分	行政財産
所在地	花巻市葛3-183-1			施設類型	庁舎、事務所
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
その他区域					
敷地面積	799.67㎡	建築面積	192.9㎡	延床面積	363.96㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	2		
竣工年度（建築年月）	1996年7月29日	経過年数 R2.4.1現在	23		
利用状況	防災航空隊員の活動拠点として 365日／年 開庁				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	航空消防防災活動に必要な機器を適宜更新				
主な設備	事務室：執務室 会議室：隊員会議、隊員個人用装備保管 応接室：来客応接 無線機器室：航空、消防無線機材収蔵 機材庫：応援、受援用品保管 指揮車：防災航空隊員が地上隊として活動する場合等に使用				
劣化度調査	日常点検による簡易劣化度判定「A」				
定期点検	なし				
修繕工事履歴	なし				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計	0	0	0	0								

【優先度評価】	
建物性能	建物性能⇒高～中
劣化度診断	A（日常点検による簡易劣化度判定）
利用度	利用状況⇒高～中
1次評価	維持管理
重要性	85点（地上での救助、救急、空中消火等消防活動が困難な状況下で航空消防活動を行う拠点として代替できない施設である。）
見通し	△15点（防災航空隊の活動拠点として防災航空センターは今後も必要。）
2次評価	Ⅰ（60点以上）

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理　優先度３
評価結果（コメント）	施設サービスの重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくもの。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）⇒					
概算費用【充当財源（見込）】	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：178千円 内訳 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	計：678千円 内訳 シャッター改修工事（500千円） 維持修繕費（178千円） 財源：一般財源	合計：1,390千円

個別施設計画（個票）

その他No.　2

施設名／棟名	総合防災センター/庁舎、事務所			財産区分	行政財産
所在地	紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	庁舎、事務所
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
その他区域					
敷地面積	42,577.66㎡	建築面積	544.01㎡	延床面積	877.92㎡
構　造	鉄筋コンクリート造	階　数	2		
竣工年度（建築年月）	1986年3月25日	経過年数 R2.4.1現在	34		
利用状況	来館者数　8,825人（令和元年度）				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	地震体験室の起震装置の更新（東日本大震災の揺れを再現するプログラムの追加）や、利用者に配慮した施設改修を実施している。				
主な設備	防災展示室：パネル展示、体験コーナー等 地震体験室：震度4～7程度の地震を疑似体験できる 視聴覚教室：視聴覚機器（防災映画、防災ビデオ等）による教育を行う。 救命救急コーナー：救急救命対応の実演により心肺蘇生法の訓練を行う。 防災シアター：100インチマルチプロジェクションにより防災学習を行う 防災指導車：県内各地において、疑似体験を通じ、広く県民の防災に関する知識の普及・啓発に資することを目的として整備。				
劣化度調査	日常点検による簡易劣化度判定「A」				
定期点検	平成28年3月実施 1.屋根：経年劣化で退色が見られる。2.外壁、丸柱：壁タイルに浮き、亀裂有り。3.軒天：アルミパネルに白錆有り。4.1階東側：サッシのシーリングが破断している。5.1階事務室：風を伴う降雨時に雨水の侵入有り。6.玄関ホール、1階展示室：排煙窓オペレーターが作動不良。				
修繕工事履歴	平成26年11月：（煙体験装置）発煙用機器が老朽化で不作動の為、更新した。工事費：658,800円 平成27年3月：（トイレ改修）1、2階トイレの洋式化。工事費：2,494,000円 平成28年3月：（2階視聴覚室空調設備改修）2階視聴覚室の空調設備の撤去及び新設。工事費：1,998,000円 平成29年3月：（地震体験ローラー制作・交換）地震体験室において、揺れを発生させる部品が経年劣化による摩耗のため、制作、交換を行った。工事費：1,209,600円				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	604	404		200								
H30	525	525										
H29	375	33		342								
H28	213	213										
H27	677	677										
計	2,393	1,851		542								

【優先度評価】	
建物性能	建物性能⇒中～低
劣化度診断	A（日常点検による簡易劣化度判定）
利用度	利用状況⇒高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	80点（地震体験室や、煙体験室等、県民への防災知識・技術の普及及び防災意識を高める施設として代替できない施設である。）
見通し	△15点（施設は展示品や暗闇体験室等、流動的な使用が難しい。）
2次評価	Ⅰ（60点以上）

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　優先度3
評価結果（コメント）	施設サービスの重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくもの。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：430千円 内訳 維持修繕費（430千円） 財源：一般財源	計：430千円 内訳 維持修繕費（430千円） 財源：一般財源	計：2，230千円 内訳 建築修繕（1,500千円） 電灯修繕（300千円） 維持修繕費（430千円） 財源：一般財源	計：1，730千円 内訳 建築修繕（1,000千円） 電灯修繕（300千円） 維持修繕費（430千円） 財源：一般財源	計：1，730千円 内訳 建築修繕（1,000千円） 電灯修繕（300千円） 維持修繕費（430千円） 財源：一般財源	合計：6,550千円

個別施設計画（個票）

その他No.　3

施設名／棟名	総合防災センター/備蓄倉庫			財産区分	行政財産
所在地	紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	備蓄倉庫
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
その他区域					
敷地面積	42,577.66㎡	建築面積	200㎡	延床面積	218.75㎡
構　　造	鋼鉄造	階　数	1		
竣工年度（建築年月）	1986年3月25日	経過年数 R2.4.1現在	34		
利用状況	災害用の資機材を保管している。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用					
主な設備					
劣化度調査	日常点検による簡易劣化度判定「A」				
定期点検	平成28年3月実施 外部鉄骨梁に発錆、外壁断熱鋼製パネル腐食、屋外照明器具腐食				
修繕工事履歴	なし				

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
RI H30 H29 H28 H27 計	なし											

【優先度評価】	
建物性能	建物性能⇒高～中
劣化度診断	A（日常点検による簡易劣化度判定）
利用度	利用状況⇒高～中
1次評価	維持・管理
重要性	65点（災害時に必要とされる資器材を保管している施設であり、代替ができない施設である。）
見通し	△15点（災害時に必要とされる資器材を保管するという施設の特性上、多目的利用、余剰スペースの活用等は難しい。）
2次評価	Ⅱ（60～50点）

【総合判定】	
総合判定／優先度	維持管理　／　優先度４
評価結果（コメント）	災害時に必要とされる資器材を保管している施設であり、代替ができない施設である。現在は大きな修繕を必要とする箇所はないが、計画的に修繕を行い施設の機能を維持していく必要がある、

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：127千円 内訳 維持修繕費 （127千円） 財源：一般財源	計：127千円 内訳 維持修繕費 （127千円） 財源：一般財源	計：127千円 内訳 維持修繕費 （127千円） 財源：一般財源	計：227千円 内訳 外部電灯設備修繕 （100千円） 維持修繕費 （127千円） 財源：一般財源	計：1,627千円 内訳 外部シャッター修繕 （1,500千円） 維持修繕費 （127千円） 財源：一般財源	合計：2,235千円

個別施設計画（個票）

その他No. 4

施設名／棟名	岩手県消防学校/校舎本館			財産区分	行政財産
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目２番２号			施設類型	校舎
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
その他区域					
敷地面積	42,577.66㎡	建築面積	427.7㎡	延床面積	1,325.14㎡
構造	鉄筋コンクリート造 亜鉛メッキ鋼板葺	階数	3階		
竣工年度（建築年月）	1974.3.26	経過年数 R2.4.1現在	46年		
利用状況	○ 教育訓練実施状況（令和元年度） 14課程 508名				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。				

	【建物】	【電気設備】	【機械設備】
主な設備	・校長室 ・事務室 ・第一教室 ・第二教室 ・講堂 ・会議室 ・理化学実験室 ・教材展示室 ・図書室 ・講師控室	・受変電設備 ・自家発電設備	・給水設備 ・排水設備 ・ガス設備 ・暖房・空調・換気設備
劣化度調査（平成30年1月）	・屋上防水については築後改修歴ないため、塗膜防水の予防保全が必要 ・外壁は、クラックや塗装幕の浮きがあることから予防保全工事が必要 ・屋外階段はコンクリート基礎の劣化により早急な修繕が必要 ・外部建具については、排煙設備の基準に違反しているほか玄関ドア等の経年劣化 ・外構囲障では、ネットフェンスの劣化、穴あきが目立ち、基礎天端モルタルの脱落等早急な修繕が必要	・照明器具は、更新時期を過ぎたままとなっている。その他スイッチ、コンセント等は建設時のままで経年劣化がみられることから早期の更新が必要 ・分電盤も建設時のままで経年劣化がみられ、早期の更新が必要	・給水設備の高架水槽は昭和48年製、耐震安全性考慮すると早急な更新が必要 ・配管類については、耐震対策が確認できない。給水管や暖房については改修が行われているが、PS内に既存配管がそのままのこされており、撤去が望ましい。 ・空調、暖房設備等は計画的な更新が必要。排水設備については配管全般に腐食が確認でき、今後、早期の更新が望ましい。
	○劣化度調査の総合所見では、救急棟を除く施設の劣化度はほぼ同程度であるが、長寿命化改修に当たっては、5年以内の対応を要するとされた。		
定期点検	○3年に1回実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）
修繕工事履歴	H27 校舎玄関天井雨漏り修繕 H30 校舎本館外部階段塗装（1,998千円） H30 校舎玄関ドア改修（249千円）	H28 高圧区分開閉器交換 H29 キュービクル真空遮断器交換等	H30 消火栓用水道メーター交換

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30	2,247	2,247										
H29					1,296	1,296			330	330		
H28					531	531						
H27	199	199										
計	2,446	2,446			1,821	1,821			330	330		

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A 簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	高 利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	Ⅰ（60点以上）

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果（コメント）	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化のほか、校舎本館の耐震補強工事も未対応（保留のまま）であり、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。

長寿命化等対策の方向性	耐震改修工事や非常用自家発電設備など、災害対応に係る部分は早急に整備する。 なお、日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）		受電設備更新	視聴覚・校内放送	照明設備改修工事	
概算費用【充当財源（見込）】	計：769千円 内訳 維持修繕（769千円） 財源：一般財源	計：769千円 内訳 維持修繕（769千円） 財源：一般財源	計：6,269千円 内訳： 受電設備更新工事（5,500千円） 維持修繕（769千円） 財源：一般財源	計：6,057千円 内訳： 視聴覚・校内放送改修工事（5,288千円） 維持修繕（769千円） 財源：一般財源	計：11,424千円 内訳 照明設備改修工事（10,655千円） 維持修繕（769千円） 財源：一般財源	合計：25,288千円

個別施設計画（個票）

その他No.　5

施設名／棟名	岩手県消防学校/体育館（屋内訓練所）			財産区分	行政財産
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	体育館
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
その他区域					
敷地面積	42,577.66㎡	建築面積	900㎡	延床面積	1,071.5㎡
構　造	鉄骨造　亜鉛メッキ鋼板葺	階　数	2階		
竣工年度（建築年月）	1975.3.28	経過年数 R2.4.1現在	45年		
利用状況	○　教育訓練実施状況（令和元年度）　14課程　508名				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○　消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。				

	【建物】	【電気設備】	【機械設備】
主な設備	・訓練所 ・倉庫	・拡声設備	・給水設備 ・排水設備
劣化度調査	・鋼板屋根、キャノピー屋根とも築後修繕履歴が確認できないことから、3～5年以内の大規模修繕(塗り替え)が必要。 ・外壁はサイディングのへこみ、固定ビスの脱落等が見られ、築後修繕履歴が確認できないことから、他の大規模修繕工事と合わせ改修工事が必要。 ・外部建具、内部建具とも経年劣化による塗装の退色や傷が目立つ。	・照明器具が建設時のままで、外観上も経年劣化が見られ、早い時期の更新が望まれる。 ・防災設備は、外観上不具合は見受けられないが、更新時期を過ぎていることから早い時期の更新が必要。	・各種設備において、当面、使用上特に問題はないが、今後計画的な更新が望ましい。
定期点検	○3年に1回実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）
修繕工事履歴	なし	なし	なし

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】

建物性能	A判定　概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	Ⅰ（60点以上）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修　優先度3
評価結果（コメント）	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕				鉄骨柱及び内部鉄骨部改修工事	
概算費用【充当財源（見込）】	計：621千円 内訳 維持修繕（621千円） 財源：一般財源	計：621千円 内訳 維持修繕（621千円） 財源：一般財源	計：621千円 内訳 維持修繕（621千円） 財源：一般財源	計：621千円 内訳 維持修繕（621千円） 財源：一般財源	計：19,202千円 内訳 鉄骨柱及び内部鉄骨部改修工事（18,581千円） 維持修繕（621千円） 財源：一般財源	合計：21,686千円

個別施設計画（個票）

その他No.　6

施設名／棟名	岩手県消防学校/寄宿舎			財産区分	行政財産
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	寄宿舎
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
その他区域					
敷地面積	42,577.66㎡	建築面積	922.52㎡	延床面積	1,515.64㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造 亜鉛メッキ鋼板葺	階　　数	2階		
竣工年度 （建築年月）	1974.3.26	経過年数 R2.4.1現在	46年		
利用状況	○ 教育訓練実施状況（令和元年度）　14課程　508名				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。				

	【建物】	【電気設備】	【機械設備】
主な設備	・寮室　8人×14室 ・食堂 ・談話室 ・寮直室 ・舎監室 ・男子用浴室 ・女子用化粧室（トイレ・浴室）	・拡声（校内放送）設備	・給水設備 ・排水設備 ・ガス設備 ・暖房・空調・換気設備
劣化度調査	・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られない。鉄板屋根は令和4年を目途に予防保全の塗り替えが望ましい。キャノピー屋根は改修歴がないことから、屋根塗装と同時期に塗膜防水の予防保全が望ましい。 ・外壁はクラックや塗装膜の浮き膨らみがあり、3～5年後を目途に予防保全工事が望まれる。 ・外部建具は排煙設備の基準に違反している。鋼製建具は経年劣化による塗装の退色や傷が目立つ。	・照明器具については、設置後24年を経過し、更新時期をすぎているので、計画的な更新を行うことが必要 ・分電盤や防災設備等そのた電気設備も24年を経過しており、経年を考慮した計画的な更新が必要	・給水、排水を含む配管類の耐震対策は確認できない。 ・各種設備において、大きな問題はないが、今後、計画的に更新することが望ましい。
定期点検	○3年に1回実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）
修繕工事履歴			H27　寮舎浴槽用循環ろ過装置修繕

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27									281	281		
計									281	281		

【優先度評価】	
建物性能	A判定　概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	Ⅰ（60点以上）

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　優先度3
評価結果 （コメント）	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用 【充当財源（見込）】	計：879千円 内訳 維持修繕（879千円） 財源：一般財源	計：879千円 内訳 維持修繕（879千円） 財源：一般財源	計：879千円 内訳 維持修繕（879千円） 財源：一般財源	計：879千円 内訳 維持修繕（879千円） 財源：一般財源	計：879千円 内訳 維持修繕（879千円） 財源：一般財源	合計：4,395千円

個別施設計画（個票）

その他No. 7

施設名／棟名	岩手県消防学校／車庫			財産区分	行政財産
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目２番２号			施設類型	車庫
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
その他区域					
敷地面積	42,577.66㎡	建築面積	240㎡	延床面積	240㎡
構　　造	鉄骨造 亜鉛メッキ鋼板葺	階　数	1階		
竣工年度（建築年月）	1974.3.26	経過年数 R2.4.1現在	46年		
利用状況	○ 教育訓練実施状況（令和元年度） 14課程 508名				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。				

	【建物】	【電気設備】	【機械設備】
主な設備			
劣化度調査	なし	なし	なし
定期点検	○3年に1回実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）
修繕工事履歴	なし	なし	なし

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
RI												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】

項目	内容
建物性能	A判定 概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	Ⅰ（60点以上）

【総合判定】

項目	内容
総合判定／優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果（コメント）	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計：139千円 内訳 維持修繕（139千円） 財源：一般財源	計：139千円 内訳 維持修繕（139千円） 財源：一般財源	計：139千円 内訳 維持修繕（139千円） 財源：一般財源	計：139千円 内訳 維持修繕（139千円） 財源：一般財源	計：139千円 内訳 維持修繕（139千円） 財源：一般財源	合計：695千円

個別施設計画（個票）　その他No.　8

施設名／棟名	岩手県消防学校/教材車両格納庫			財産区分	行政財産
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	車庫
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
その他区域					
敷地面積	42,577.66㎡	建築面積	220.42㎡	延床面積	220.42㎡
構　造	鉄骨造 亜鉛メッキ鋼板葺	階　数	1階		
竣工年度（建築年月）	1979.12.5	経過年数 R2.4.1現在	40年		
利用状況	○　教育訓練実施状況（令和元年度）　14課程　508名				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○　消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。				

	【建物】	【電気設備】	【機械設備】
主な設備			・給水設備
劣化度調査	なし	なし	なし
定期点検	○3年に1回実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）
修繕工事履歴	なし	なし	なし

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
RI												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】	
建物性能	A判定　概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	Ⅰ（60点以上）

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　優先度3
評価結果（コメント）	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。

寿命化等対策の方向	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）					
概算費用【充当財源（見込）】	計:128千円 内訳 維持修繕（128千円） 財源:一般財源	計:128千円 内訳 維持修繕（128千円） 財源:一般財源	計:128千円 内訳 維持修繕（128千円） 財源:一般財源	計:128千円 内訳 維持修繕（128千円） 財源:一般財源	計:128千円 内訳 維持修繕（128千円） 財源:一般財源	合計:640千円

個別施設計画（個票）

その他No. 9

施設名／棟名	岩手県消防学校/救急訓練棟（接続廊下含）			財産区分	行政財産
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	校舎
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
その他区域					
敷地面積	42,577.66㎡	建築面積	307.24㎡	延床面積	520.6㎡
構　造	鉄筋コンクリート造 亜鉛メッキ鋼板葺	階　数	2階		
竣工年度（建築年月）	1993.3.29	経過年数 R2.4.1現在	27年		
利用状況	○　教育訓練実施状況（令和元年度）　14課程　508名				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○　消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。				

	【建物】	【電気設備】	【機械設備】
主な設備	・講義室 ・講師控室 ・実習室 ・高規格救急車実習室	・拡声（校内放送）設備	・給水設備 ・排水設備 ・暖房・空調・換気設備
劣化度調査	・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られないが、今後10年程度内に予防保全としてウレタン保護防水層設置工事を実施することが望ましい。 ・外壁はクラックや塗装幕膜の浮きが少数見られ、今後10年程度内に予防保全工事を実施することが望ましい。 ・内部建具は経年による損傷や塗装の剥がれが目立つ。 ・内部仕上げ材は経年による汚れやクラック、剥がれが目立つ。	・照明器具については、設置後24年を経過し、更新時期をすぎているので、計画的な更新を行うことが必要 ・分電盤や防災設備等そのた電気設備も24年を経過しており、経年を考慮した計画的な更新が必要	・給水、排水を含む配管類の耐震対策は確認できない。 ・空調設備、暖房設備等については、今後計画的な更新が望ましい。
定期点検	○3年に1回実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）
修繕工事履歴	なし	なし	なし

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】

建物性能	A判定　概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	Ⅰ（60点以上）

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修　優先度3
評価結果（コメント）	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源（見込）】	計：302千円 内訳 維持修繕（302千円） 財源：一般財源	計：302千円 内訳 維持修繕（302千円） 財源：一般財源	計：302千円 内訳 維持修繕（302千円） 財源：一般財源	計：302千円 内訳 維持修繕（302千円） 財源：一般財源	計：302千円 内訳 維持修繕（302千円） 財源：一般財源	合計：1,510千円

個別施設計画（個票）

その他No.　10

施設名／棟名	岩手県消防学校/主訓練塔			財産区分	行政財産
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	附属棟
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
その他区域					
敷地面積	42,577.66㎡	建築面積	198.12㎡	延床面積	719.66㎡
構　造	鉄骨鉄筋コンクリート造　陸屋根	階　数	8階		
竣工年度（建築年月）	1997.3.24	経過年数 R2.4.1現在	22年		
利用状況	○　教育訓練実施状況（令和元年度）　14課程　508名				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○　消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。				

	建物	電気設備	機械設備
主な設備	【建物】 ・訓練用器具庫 ・バルコニー	【電気設備】 ・拡声設備 ・人荷用エレベータ ・防災設備（雷保護設備）	【機械設備】 ・給水設備
劣化度調査	・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られない。なお、東側バルコニーのシート防水の外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に予防保全として押さえコンクリートの塗膜防水の施工やシート防水の撤去、新設が望ましい。 ・外壁はクラックや塗装劣化、シーリング劣化等外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に府大規模修繕工事が望まれる。 ・内部建具は経年劣化による塗装の退色や傷が目立つ。	・照明器具は設置後20年が経過しており、更新時期を迎えているので、計画的な更新を行うことが必要。 ・防災設備（雷保護設備）は、設置後20年が経過しており、外観上も劣化が目立つことから早い時期の更新が必要。	・事後保全対象でよいと思われる。
定期点検	○3年に1回実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）
修繕工事履歴	H28　主訓練塔外周部陥没対策 H29　主訓練塔建物外壁及び外部階段補修	H30　主訓及び補助訓非常照明電池交換(1,186千円) H30　笠木ステンレスカバー製作取付(605千円) R2　主訓練塔エレベーター制御盤他修繕(15,708千円) R2　主訓練塔等避雷針修繕(396千円)	

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30					1,791	1,791						
H29	2,484	2,484										
H28	329	329										
H27												
計	2,813	2,813			1,791	1,791						

【優先度評価】	
建物性能	A判定　概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	Ⅰ（60点以上）

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　優先度３
評価結果（コメント）	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	エレベータ改修工事 避雷設備改修工事 日常点検に基づく維持修繕 →		非常用照明改修工事			
概算費用【充当財源（見込）】	計：16,521千円 内訳 エレベータ改修工事 （15,708千円） 避雷設備改修工事 （396千円） 維持修繕（417千円） 財源：一般財源	計：417千円 内訳 維持修繕（417千円） 財源：一般財源	計：4,628千円 内訳 非常用照明改修工事 （4,211千円） 維持修繕 （417千円） 財源：一般財源	計：417千円 内訳 維持修繕（417千円） 財源：一般財源	計：417千円 内訳 維持修繕（417千円） 財源：一般財源	合計：22,401千円

個別施設計画（個票）

その他No.　11

施設名／棟名	岩手県消防学校/補助訓練塔			財産区分	行政財産
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	附属棟
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
その他区域					
敷地面積	42577.66㎡	建築面積	96.64㎡	延床面積	308.24㎡
構　造	鉄筋コンクリート造　陸屋根	階　数	5階		
竣工年度（建築年月）	1997.3.24	経過年数 R2.4.1現在	23年		
利用状況	○　教育訓練実施状況（令和元年度）　14課程　508名				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○　消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。				

	【建物】	【電気設備】・拡声設備	【機械設備】・給水設備
主な設備	【建物】	【電気設備】 ・拡声設備	【機械設備】 ・給水設備
劣化度調査	・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られない。なお、東側バルコニーのシート防水の外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に予防保全として押さえコンクリートの塗膜防水の施工やシート防水の撤去、新設が望ましい。 ・外壁はクラックや塗装劣化、シーリング劣化等外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に大規模修繕工事が望まれる。 ・内部建具は経年劣化による塗装の退色や傷が目立つ。	・照明器具は設置後20年が経過しており、更新時期を迎えているので、計画的な更新を行うことが必要。 ・防災設備（雷保護設備）は、設置後20年が経過しており、外観上も劣化が目立つことから早い時期の更新が必要。	・事後保全対象でよいと思われる。
定期点検	○3年に1回実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）	○毎年実施（委託事業）
修繕工事履歴	H28　補助訓練棟バルコニー補修		

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28	1,026	1,026										
H27												
計	1,026	1,026										

【優先度評価】	
建物性能	A判定　概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	Ⅰ（60点以上）

【総合判定】	
総合判定／優先度	修繕・改修　優先度３
評価結果（コメント）	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思料される。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修（大規模含む）や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	避雷設備改修工事 日常点検に基づく維持修繕（令和2年度～令和6年度）		非常用照明改修工事			
概算費用【充当財源（見込）】	計：179千円 内訳 避雷設備改修工事（396千円） ※主訓練塔工事で計上 維持修繕（179千円） 財源：一般財源	計：179千円 内訳 維持修繕（179千円） 財源：一般財源	計：979千円 内訳 非常用照明改修工事（800千円） 維持修繕（179千円） 財源：一般財源	計：179千円 内訳 維持修繕（179千円） 財源：一般財源	計：179千円 内訳 維持修繕（179千円） 財源：一般財源	合計：1,695千円

個別施設計画（個票）

その他No. 12

施設名／棟名	岩手県職員共済会館 エスポワールいわて			財産区分	普通財産
所在地	岩手県盛岡市中央通一丁目20番1			施設類型	
都市計画区域	区域内	防火地域	準防火地域、防火地域	用途地域	商業地域
その他区域					
敷地面積	2,094.37㎡	建築面積	1,430.21㎡	延床面積	6,556.33㎡
構　　造	鉄骨鉄筋コンクリート	階　　数	8階地下1階		
竣工年度 （建築年月）	H5.9	経過年数 R2.4.1現在	26		
利用状況	岩手県が、岩手県職員共済会館（昭和44年10月開設の施設内容等に対する組合員のニーズの変化や施設の老朽化（築後20年経過）、また、県庁から離れている（1.5Km）等の立地条件への問題に対応するため、宿泊や宴会のみならず、気軽にストレスの発散や基礎体力づくり等ができる保健・運動機能、趣味の取得や教養の向上等のための講座開設等が可能な多機能を持った施設として、県庁から近距離の現所在地に、地方職員共済組合の投資不動産資金により平成5年10月に新築（移転建替え）したものである。平成21年1月に地方職員共済組合岩手県支部から岩手県に無償譲渡され、県所有の宿泊施設となり、これまでどおり福祉施設として、地方職員共済組合岩手県支部に経営委託している。 直近3か年の利用状況は、年間延べ94,000～95,000人程度の利用者数があり、1日当たり約260人の利用者がある。令和元年で見ると、宿泊利用率が約47%、宴会会利用率が約46%となっている。会議室利用や議会対応時等の宿泊利用など、組合員（県職員）の利用は安定的な利用がある。また、県研修施設としての位置づけもある。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	平成23年3月の東日本大震災津波発災に伴い、国等防災関係機関の連絡員の常駐施設になるなど、災害対策本部等を設置する代替施設の役割を担っている。 また、近年、頻繁に発生している災害等に伴い、避難指示（緊急）又は避難勧告が発令された地域における被災者の受入施設としての支援も行っている。				

	【建築設備】	【電気設備等】	【空気調和・換気設備、給排水・衛生設備】
主な設備	昇降機設備(EV設備) 防災設備(防火ｼｬｯﾀｰ、防火扉)	受変電設備(高圧、低圧) 自家発電設備 電灯設備、電熱設備 自動火災報知設備、非常警報設備 構内交換設備、拡声設備、誘導支援装置 監視ｶﾒﾗ設備、ﾃﾚﾋﾞ共同受信設備、映像・音響装置	冷暖房設備(冷温水器、給湯ﾎﾞｲﾗｰ、冷暖房配管、冷却塔) 空調設備(空調機)、換気設備(排気扇) ポンプ設備(空調用、ﾎﾞｲﾗｰ給水用、オイル用、補給水用) ﾀﾝｸ設備 給水設備(受水槽、高置水槽、揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ、給水配管) 排水設備(排水配管) ガス設備(都市ｶﾞｽ配管) 消火設備(消火栓、連結送水管、ｽﾋﾟﾘﾝｸﾗｰ、ﾊﾛﾝ消火) 衛生設備(バス・トイレほか) 厨房設備
劣化度調査	H25年度特殊建築物調査報告で指導を受け、H27.9外壁ﾀｲﾙ劣化調査を行った。外壁ﾀｲﾙの浮き部分や亀裂部分があり、落下の恐れがある。		
定期点検	①EV昇降路の竪穴区画に用いる防火設備の遮断性能(既存不適格) ②防火ｼｬｯﾀｰの危険防止機構の未設置(既存不適格) ③外壁ﾀｲﾙの全面打診調査・改修 (EV設備：既存不適格) ①駆動装置等、昇降路内及びﾋﾟｯﾄ内の耐震対策の施工(1～3号機) ②戸開走行保護装置の取付(1～3号機) ③主索又は鎖及び調速機ﾛｰﾌﾟの取付、釣合ｵﾓﾘ各部改善(1～3号機) ④地震時管制運転装置の取付(3号機) ⑤施錠装置(点検口ｽｲｯﾁ)の施工(3号機)	①高圧引込柱の区分開閉器(1993年製)が更新推奨年10年以上経過 ②受電設備の機器が更新推奨時期15年以上又は20年以上経過 ③非常用照明(バッテリーの確認 ④ｷｭｰﾋﾞｸﾙ低圧非常動力盤の電源切替器不具合	①ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ設備のﾊﾞﾙﾌﾞ等漏水 ②煙感知器7個不作動有り ③防排煙垂れ壁作動不良、ｼｬｯﾀｰ作動不良有り ④誘導灯予備電池不良12個、器具不良1台
修繕工事履歴	①特別ﾎｰﾙ改修 ②ｼﾞｭｰﾀﾝ・ｸﾛｽ張替 ③レストラン改装 ④和宴会室バリアフリー化 ⑤談話室・居酒屋の一体化 ⑥玄関前点字ブロック設置 ⑦地下駐車場改修	①非常灯バッテリー交換（7,8階） ②地デジ放送器設置 ③館内照明LED化 ④監視ｶﾒﾗ修繕(7階) ⑤無線LAN設置	①冷温水発生機取替 ②障碍者、客室、共用トイレｳｫｼｭﾚｯﾄ化 ③厨房機器更新、空調設備設置 ④中央監視装置設備改修 ⑤浴室ﾀｲﾙ張替等 ⑥ﾊﾛﾝ貯蔵容器更新

直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	10,239		5,400	4,839	1,001		1,001		2,970			2,970
H29	5,699	5,699			30,482		30,482		35,726			35,726
H28	24,333		24,333		0				0			
H27	0				0				9,720		9,720	
計	40,271	5,699	29,733	4,839	31,483	0	31,483	0	48,416	0	9,720	38,696

【優先度評価】

建物性能	機能異常有（経過観察、要調査）、管理状態良	機能異常無、管理状態良	機能異常無、管理状態良
劣化度診断	簡易劣化度調査結果：A		
利用度	年間延べ利用者約94,000人～95,000人(直近3か年)、1日当たり利用者数約260人、宿泊利用率約47%(R元)、宴会会利用率約46%(R元)		
1次評価	該当：維持管理（建物性能⇒高～中、利用状況⇒高～中）		
重要性	地公法上の職員の福利厚生施設に位置づけられており、職員（組合員）の福祉充実や健康増進等に必要な施設である。		
見通し	利用者は、横ばい傾向と考えられるが、県としての職員及び住民への施設サービスの提供は、今後も必要と考える。		
2次評価	Ⅰ（60点以上）		

【総合判定】

総合判定／優先度	維持管理 ／ 優先度 3
評価結果 （コメント）	施設サービスの重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくもの。 また、岩手県災害時業務継続計画中、災害対策本部及び災害対策本部支援室を設置する代替施設に位置付けられている。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む。)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修（大規模含む。）や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	ﾊﾛﾝ貯蔵容器更新設計監理 ﾊﾛﾝ貯蔵容器更新工事 照明制御装置等設計監理 照明制御装置等更新工事 共用ﾄｲﾚ等改修工事	空調計装ユニット更新設計監理 空調計装ﾕﾆｯﾄ更新工事 南側屋上防水改修工事 非常灯ﾊﾞｯﾃﾘｰ交換工事	自火報設備更新設計監理 自火報設備更新工事 特別ﾎｰﾙｸﾛｽ等改修工事 給湯設備更新工事設計	給湯設備更新工事監理 給湯設備更新工事 厨房機器各種更新等工事 放送設備等更新工事設計 厨房洗浄設備更新工事設計	大ﾎｰﾙ絨毯等張替工事 放送設備等更新工事監理 放送設備等更新工事 厨房洗浄設備更新工事監理 厨房洗浄設備更新工事 厨房再熱系CB改修工事設計	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源（見込）】 （千円）	計：33,378千円 内訳 設計監理（ 4,004） 更新工事（26,580） 改修工事（ 2,794） 財源：一般財源 （地共済実施） 維持修繕（3,213）	計：28,599千円 内訳 設計監理（ 2,142） 更新工事（24,181） 改修工事（ 2,277） 財源：一般財源 （地共済実施） 維持修繕（3,213）	計：24,177千円 内訳 設計監理（ 6,281） 更新工事（11,418） 改修工事（ 6,478） 財源：一般財源 （地共済実施） 維持修繕（3,213）	計：23,526千円 内訳 設計監理（ 2,640） 更新工事（20,886） 財源：一般財源 （地共済実施） 維持修繕（3,213）	計：18,249千円 内訳 設計監理（ 1,694） 更新工事（16,555） 財源：一般財源 （地共済実施） 維持修繕（3,213）	合計：127,929千円 （地共済計） 16,065千円 総計：143,994千円